

第10期高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画策定のための意識調査
報告書

令和 8 年 ● 月

東松山市

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 調査項目	3
5. 調査結果を見る上での注意事項	4

第2章 調査結果の詳細

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	7
回答者の基本属性	7
(1) 圏域	7
(2) 年齢階級	7
(3) 性別	7
(4) 認定状況	8
(5) 調査票記入者	8
1. あて名の本人の生活状況について	9
(1) 世帯状況	9
(2) 介護・介助の有無	10
(3) 介護・介助が必要になった原因	11
(4) 主な介護者の続柄	13
(5) 現在の暮らし状況	14
(6) 居住形態	15
2. からだを動かすことについて	16
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか	16
(2) 椅子に座った状態からつかまらずに立ち上がれるか	17
(3) 15分位続けての歩行	18
(4) 過去1年間に転んだ経験	19
(5) 転倒に対する不安	20
(6) 外出状況	21
(7) 外出回数(昨年比)	22
(8) 外出の控え	24
(9) 外出を控える理由	25
(10) 外出の移動手段	27
(11) 外出の際の不便について	30
(12) 買い物の際の不便について	31
3. 食べることについて	33
(1) BMI	33
(2) 半年前と比べた固いものの食べにくさ	34

(3) お茶や汁物の飲食について	35
(4) 口の渇きについて	36
(5) 毎日の歯磨きについて	37
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況	38
(7) 入れ歯の手入れ	39
(8) 噛み合わせについて	40
(9) 体重の減少について	41
(10) とともに食事をする人の有無	42
4. 毎日の生活について	43
(1) 物忘れについて	43
(2) 電話をかけることについて	44
(3) 日付について	45
(4) バスや電車を使う1人での外出について	46
(5) 買い物について	47
(6) 食事の用意について	48
(7) 請求書支払いについて	49
(8) 自分の貯金の出し入れについて	50
(9) 年金などの書類を記入すること	51
(10) 新聞を読むこと	52
(11) 本や雑誌を読むこと	53
(12) 健康についての記事や番組への関心	54
(13) 友人の家を訪問すること	55
(14) 家族や友人の相談にのること	56
(15) 病人を見舞うこと	57
(16) 若い人に自分から話しかけること	58
(17) 趣味の有無	59
(18) 生きがいの有無	61
(19) デジタル機器の使用状況	63
5. 地域での活動について	64
(1) 会・グループへの参加頻度	64
(2) 地域住民の有志によるグループ活動で参加者としての参加意欲	69
(3) 地域住民の有志によるグループ活動で企画・運営（お世話役）としての参加意欲	70
6. 就労について	71
(1) 現在の就労状態	71
(2) 引退時期	73
(3) 働く理由	75
7. たすけあいについて	77
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	77
(2) あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	79
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	81

(4) あなたが、看病や世話をし	てあげる人	83
(5) 何かあったときの相談相手	(家族や友人・知人以外)	85
(6) 友人・知人と会う頻度		87
(7) 1 か月間で会った友人・知人の数		88
(8) よく会う友人・知人との関係		89
8. 健康について		91
(1) 現在の健康状態		91
(2) 幸福度		92
(3) この1 か月間での気分の沈み込み等について		94
(4) この1 か月間での物事に対しての興味について		95
(5) 飲酒について		96
(6) 喫煙について		97
(7) 睡眠について		98
(8) 介護予防活動への取組について		99
(9) 介護予防に取り組むための条件		101
(10) 治療中の病気、後遺症の有無		103
(11) 市の情報の収集先		105
9. 認知症に関することについて		107
(1) 本人または家族の認知症の症状の有無		107
(2) 認知症の認知状況		108
(3) 認知症の人に対する印象		109
(4) 認知症の方に必要な支援		110
(5) 認知症相談窓口の認知度		112
(6) 「認知症サポーター」の認知度		113
(7) オレンジカフェ(認知症カフェ)の認知度		114
(8) オレンジカフェの訪問意向		115
10. 今後の介護・高齢者福祉施策について		116
(1) あなたに介護が必要となった場合、介護を受けたい場所		116
(2) 介護保険料と介護サービスのあり方		118
(3) ACP(アドバンス・ケア・プランニング:人生会議)の認知状況		119
(4) 終末期医療・介護について		120
(5) 最期を迎えたい場所		122
(6) 終活の準備にあたって不安に思うこと		124
(7) 東松山市の高齢者施策や介護保険事業への満足度		126
11. 自由意見		127
12. 圏域別リスク分析結果		128
(1) 運動器機能の低下している高齢者割合		128
(2) 転倒リスクのある高齢者割合		129
(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合		129
(4) 低栄養状態の高齢者割合		130

(5) 口腔機能の低下している高齢者割合	131
(6) 認知機能の低下している高齢者割合	132
(7) うつ傾向のある高齢者割合	133
(8) IADL（手段的日常生活動作）の低下している高齢者割合	134
(9) 知的能動性の低下している高齢者割合	135
(10) 社会的役割の低下している高齢者割合	136
(11) 圏域別にみたりリスク項目別指標の比較	137
2 在宅介護実態調査	139
回答者の基本属性	139
(1) 圏域	139
(2) 年齢階級	139
(3) 性別	140
(4) 認定状況	140
1. あて名の本人のことについて	141
(1) 調査票の回答者	141
(2) 世帯類型	142
(3) 現在抱えている傷病	143
(4) 現在、訪問診療の利用の有無	145
2. 必要な介護やサービスの利用などについて	146
(1) 現在の介護保険サービスの利用状況（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）	146
(2) 介護保険サービスを利用していない理由	147
(3) 今後、受たい介護	148
(4) 施設等への入所・入居の検討状況	150
(5) 高齢者に関する市の情報収集	152
(6) 現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービス	154
(7) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	156
(8) 介護保険料と介護サービスのあり方	158
(9) ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知状況	159
(10) 終末期医療・介護について	160
(11) ご家族やご親族からの介護	162
3. 主な介護者の方について	163
(1) 主な介護者	163
(2) 主な介護者の性別	164
(3) 主な介護者の年齢	165
(4) 主な介護者が行っている介護等	166
(5) 主な介護者が不安に感じる介護等	168
(6) 主な介護者の精神的介護負担感	170
(7) 主な介護者の身体的介護負担感	171
4. 主な介護者の就労について	172

(1) 主な介護者の現在の勤務形態	172
(2) 主な介護者が介護する際の働き方の調整等の状況	173
(3) 主な介護者が思う仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援	175
(4) 働きながらの介護の継続可能性	177
(5) 家族や親族の中で介護を理由に過去1年間で仕事を辞めた人の状況	178
(6) 仕事を辞めたり、転職したりしなければならなかった最大の理由	180
(7) 仕事を辞めた後の再就職・復職	182
5. 自由意見	183

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

令和9年度から令和11年度を計画期間とする「第10期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（※認知症施策推進計画を包含）」の策定にあたり、高齢者や介護を必要としている方々の日常生活の様子や健康状態などを把握するため、各種アンケート調査を実施した。

2. 調査の種類

調査名	調査対象
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	市内にお住まいで、要介護1以上の認定を受けていない65歳以上の方（2,000人を無作為に抽出）
2. 在宅介護実態調査	市内にお住まいで、要支援又は要介護の認定を受けている方（1,200人を無作為に抽出）

3. 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：令和7年12月18日（木）～令和8年1月23日（金） ※お礼兼督促はがき1回発送

<回収状況>

調査名	発送数	有効回収数	有効回収率
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000件	1,524件	76.2%
2. 在宅介護実態調査	1,200件	710件	59.2%
合計	3,200件	2,234件	69.8%

4. 調査項目

調査名	調査項目
1. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	1. 本人の生活状況について 2. からだを動かすことについて 3. 食べることについて 4. 毎日の生活について 5. 地域での活動について 6. 就労について 7. たすけあいについて 8. 健康について 9. 認知症に関することについて 10. 今後の介護・高齢者福祉施策について 11. 自由意見
2. 在宅介護実態調査	1. 本人のことについて 2. 必要な介護やサービスの利用などについて 3. 主な介護者の方について 4. 主な介護者の就労について 5. 自由意見

5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・ 百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合がある。
- ・ 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100％を超える場合がある。
- ・ 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・ 表は、表側（縦軸）で、「その他」等を除き、最も高い割合について着色している。
- ・ 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

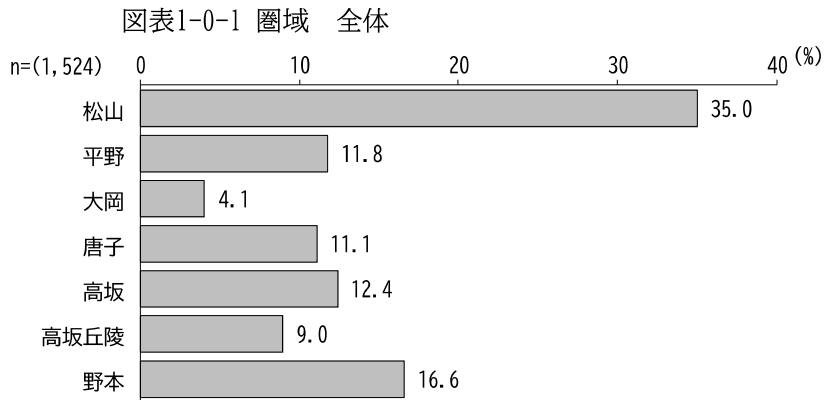
第2章 調査結果の詳細

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者の基本属性

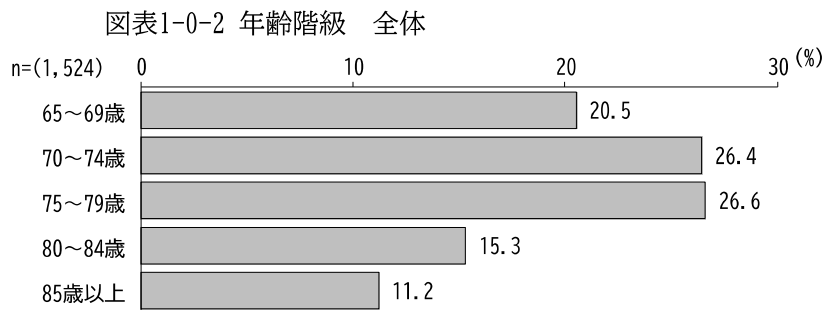
(1) 圏域

圏域は、「松山」が35.0%で最も多く、次いで「野本」が16.6%、「高坂」が12.4%となっている。



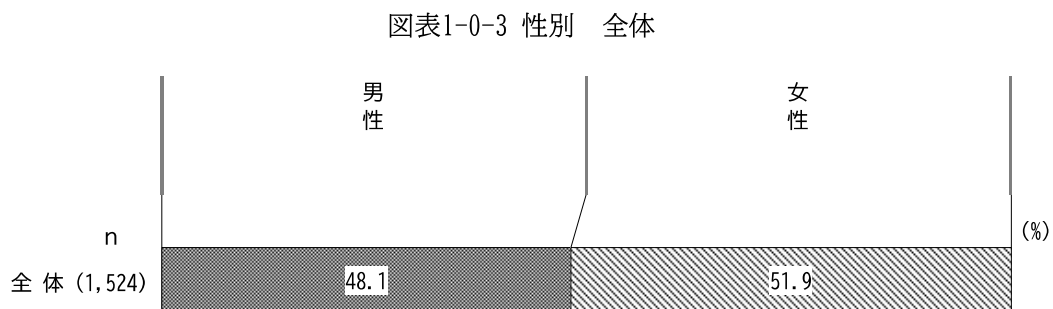
(2) 年齢階級

年齢階級は、「75～79歳」26.6%で最も多く、次いで「70～74歳」が26.4%、「65～69歳」が20.5%となっている。



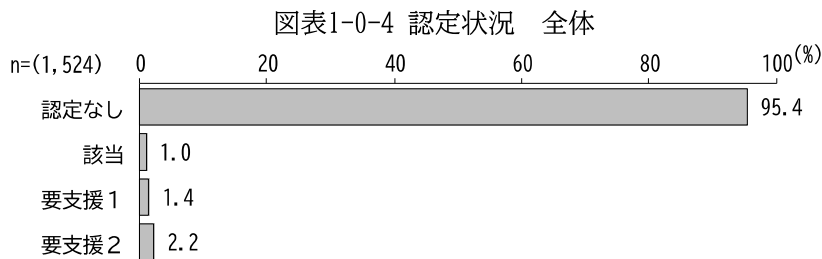
(3) 性別

性別は、「男性」が48.1%、「女性」が51.9%となっている。



(4) 認定状況

認定状況は、「認定なし」（非該当の方）が95.4%、「該当」（基本チェックリストに該当した「事業対象者」）が1.0%、「要支援1」が1.4%、「要支援2」が2.2%となっている。

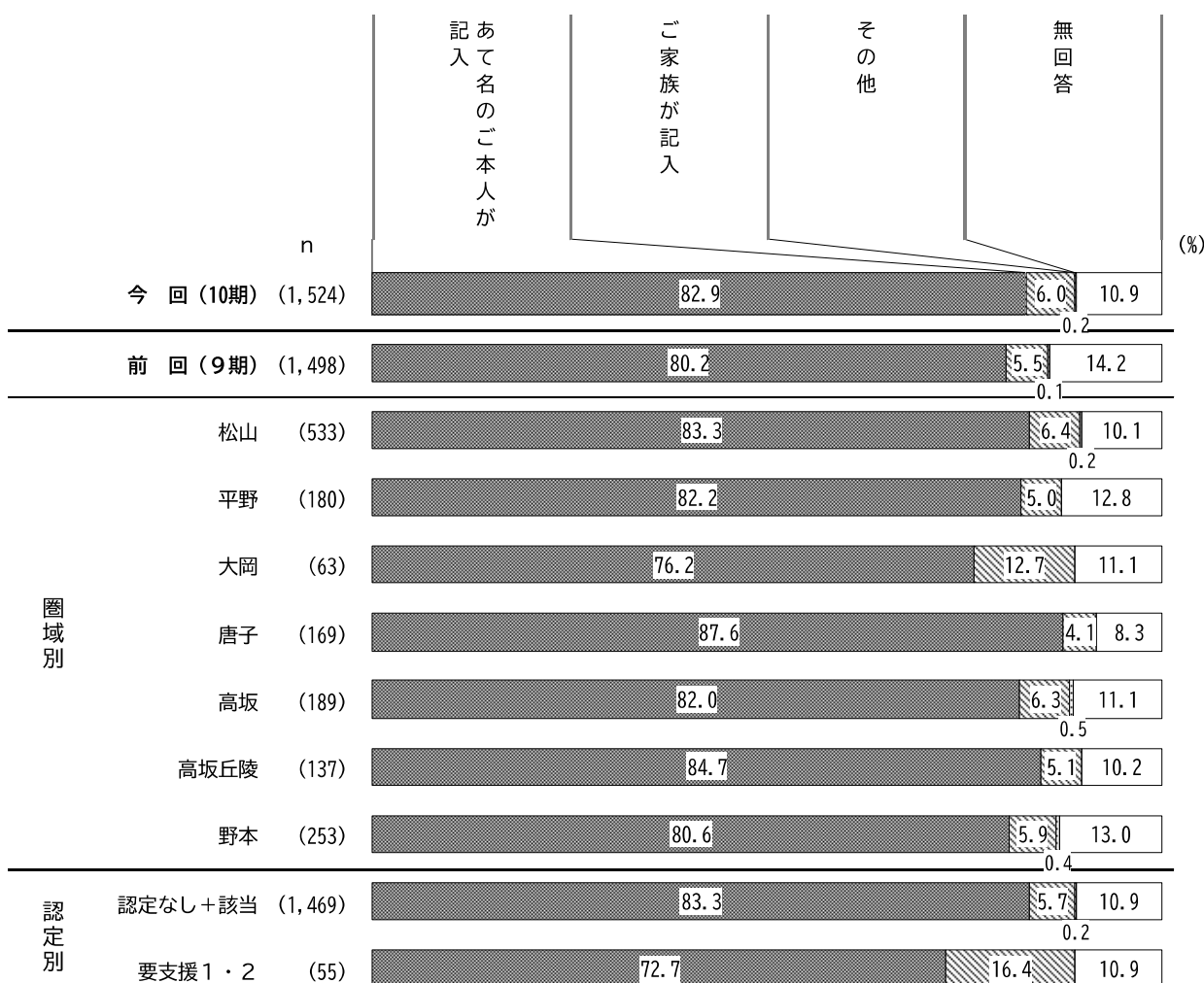


(5) 調査票記入者

調査票を記入されたのはどなたですか。(○は1つ)

調査票記入者は、「あて名のご本人が記入」が82.9%、「ご家族が記入」が6.0%、「その他」が0.2%となっている。

図表1-0-5 調査票記入者 全体／前回比較／圏域別／認定状況別



1. あて名の本人の生活状況について

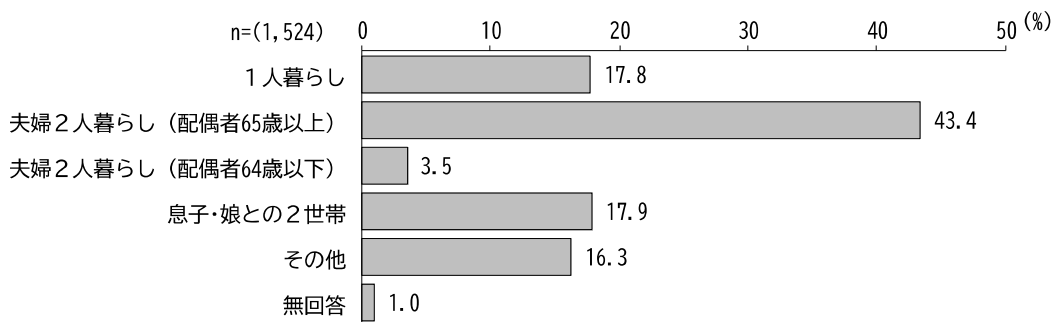
(1) 世帯状況

問1 (1) 世帯の状況をお教えてください。(○は1つ)

世帯の状況は、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が43.4%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.9%、「1人暮らし」が17.8%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-1-1 世帯状況 全体



図表1-1-2 世帯状況 前回比較/圏域別/認定状況別 (%)

	n	世帯状況 (%)						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
今回(10期)	1,524	17.8	43.4	3.5	17.9	16.3	1.0	
前回(9期)	1,498	15.2	42.1	4.1	19.0	18.2	1.5	
圏域別	松山	533	21.4	40.7	3.8	16.9	16.3	0.9
	平野	180	16.7	50.6	2.8	15.0	14.4	0.6
	大岡	63	9.5	42.9	4.8	22.2	20.6	-
	唐子	169	17.2	39.6	4.1	20.7	18.3	-
	高坂	189	12.7	41.8	4.2	21.2	18.5	1.6
	高坂丘陵	137	12.4	61.3	0.7	16.1	7.3	2.2
	野本	253	20.2	38.3	4.0	17.8	18.2	1.6
認定別	認定なし+該当	1,469	17.0	44.0	3.7	17.7	16.7	0.9
	要支援1・2	55	38.2	27.3	-	23.6	5.5	5.5

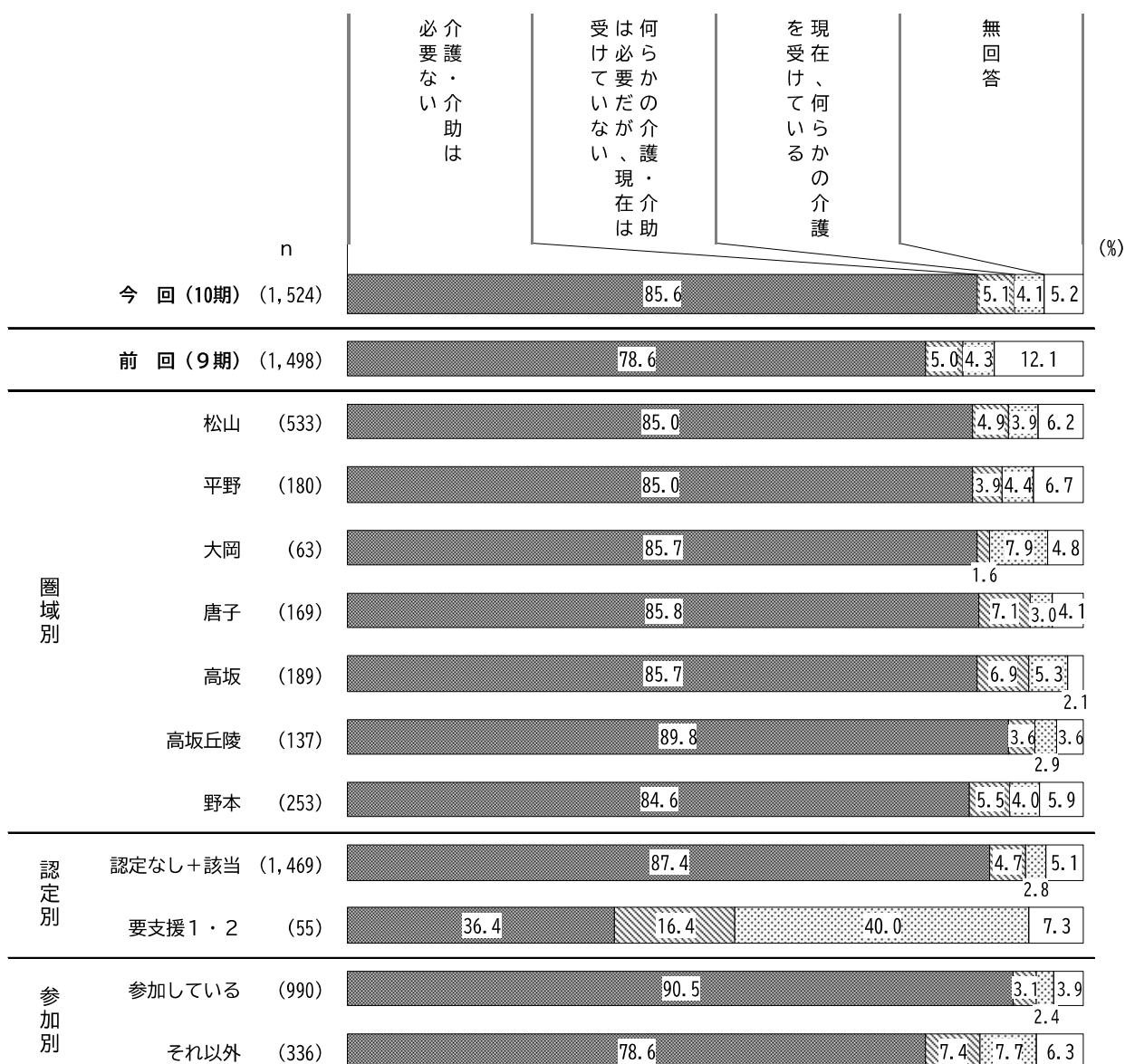
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2) 介護・介助の有無

問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

普段の生活における介護・介助は、「介護・介助は必要ない」が85.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.1%、「現在何らかの介護を受けている」が4.1%となっている。前回調査と比較すると、「介護・介助は必要ない」が7.0ポイント高くなっている。

図表1-1-3 介護・介助の有無 全体／前回比較／圏域別／認定状況別／地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

(3) 介護・介助が必要になった原因

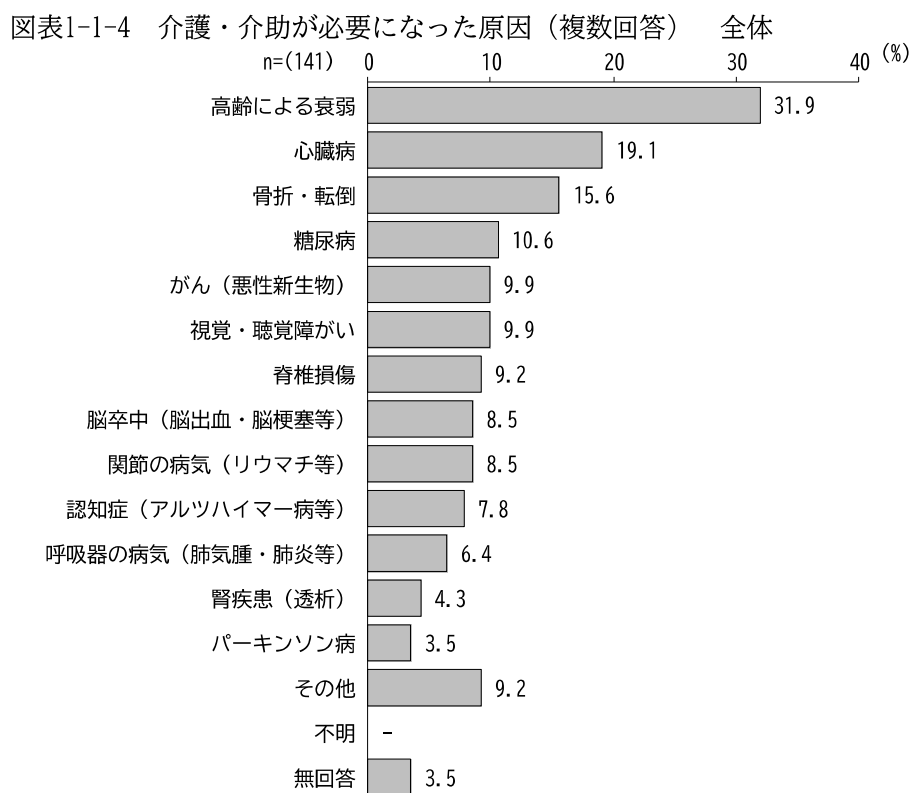
【問1(2)において「2」または「3」を選んだ方におうかがいします。】

問1(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在何らかの介護を受けている」と回答した人のうち介助・介護が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が31.9%で最も多く、次いで「心臓病」が19.1%、「骨折・転倒」が15.6%となっている。

前回調査と比較すると、「高齢による衰弱」が7.6ポイント、「心臓病」が7.0ポイント高くなっている。

地域活動参加状況別にみると、「高齢による衰弱」では「参加している」、「脊椎損傷」では「それ以外」が全体より高くなっている。



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-1-5 介護・介助が必要になった原因（複数回答）

前回比較／圏域別／認定状況別／地域活動参加状況別*

		n	高齢による衰弱	心臓病	骨折・転倒	糖尿病	がん（悪性新生物）	視覚・聴覚障がい	脊椎損傷	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	(%)
今回（10期）		141	31.9	19.1	15.6	10.6	9.9	9.9	9.2	8.5	8.5	7.8	
前回（9期）		140	24.3	12.1	19.3	7.1	5.0	7.9	5.0	8.6	7.9	6.4	
圏域別	松山	47	34.0	12.8	10.6	8.5	6.4	12.8	12.8	6.4	10.6	10.6	
	平野	15	26.7	20.0	20.0	20.0	-	6.7	-	-	6.7	6.7	
	大岡	6	66.7	33.3	-	16.7	-	16.7	-	-	33.3	16.7	
	唐子	17	35.3	11.8	29.4	11.8	11.8	-	11.8	11.8	-	5.9	
	高坂	23	30.4	26.1	8.7	13.0	4.3	13.0	8.7	8.7	8.7	4.3	
	高坂丘陵	9	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	11.1	-	
	野本	24	29.2	16.7	25.0	4.2	25.0	12.5	8.3	16.7	4.2	8.3	
認定別	認定なし+該当	110	29.1	20.0	15.5	11.8	10.0	9.1	5.5	9.1	9.1	10.0	
	要支援1・2	31	41.9	16.1	16.1	6.5	9.7	12.9	22.6	6.5	6.5	-	
活動別	参加している	55	25.5	20.0	18.2	14.5	10.9	10.9	5.5	12.7	12.7	3.6	
	それ以外	51	33.3	15.7	15.7	9.8	11.8	9.8	15.7	3.9	2.0	11.8	

		肺炎等（呼吸器の病気（肺気腫・腎疾患（透析）	パーキンソン病	その他	不明	無回答	
今回（10期）		6.4	4.3	3.5	9.2	-	3.5
前回（9期）		5.0	4.3	4.3	17.9	1.4	9.3
圏域別	松山	6.4	8.5	2.1	8.5	-	2.1
	平野	-	6.7	-	13.3	-	6.7
	大岡	-	-	-	16.7	-	-
	唐子	-	-	5.9	5.9	-	-
	高坂	8.7	-	8.7	13.0	-	4.3
	高坂丘陵	11.1	-	11.1	11.1	-	-
	野本	12.5	4.2	-	4.2	-	8.3
認定別	認定なし+該当	8.2	3.6	2.7	9.1	-	3.6
	要支援1・2	-	6.5	6.5	9.7	-	3.2
活動別	参加している	5.5	7.3	3.6	9.1	-	5.5
	それ以外	9.8	-	2.0	13.7	-	-

※問5（1）で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

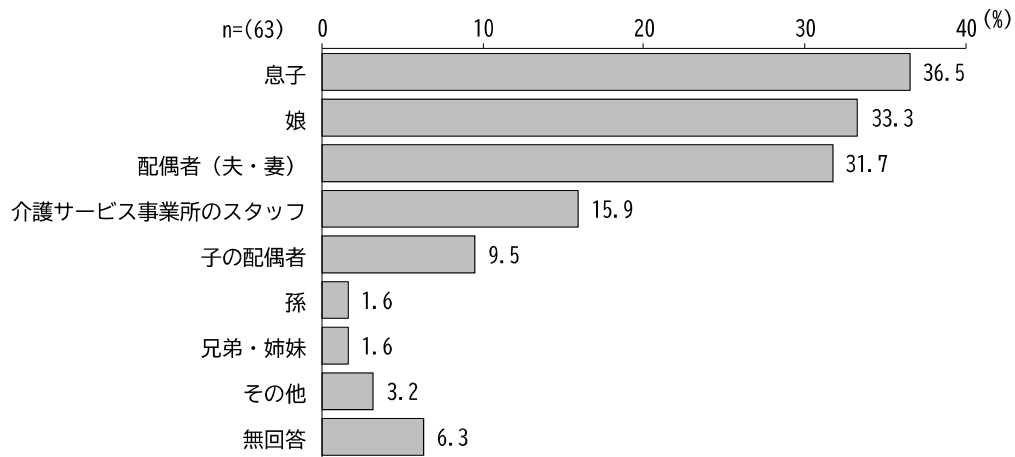
(4) 主な介護者の続柄

【問1 (2) において「3」を選んだ方におうかがいします。】
 問1 (2) -② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在何らかの介護を受けている」と回答した人の主な介護者の続柄は、「息子」が36.5%で最も多く、次いで「娘」が33.3%、「配偶者(夫・妻)」が31.7%となっている。

前回調査と比較すると、「息子」が8.8ポイント、「娘」が10.2ポイント高く、「配偶者(夫・妻)」が6.8ポイント低くなっている。

図表1-1-6 主な介護者の続柄(複数回答) 全体



図表1-1-7 主な介護者の続柄(複数回答) 前回比較/圏域別/認定状況別

		息子	娘	配偶者(夫・妻)	介護サービス事業所のスタッフ	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	
		(%)									
		n									
今回(10期)		63	36.5	33.3	31.7	15.9	9.5	1.6	1.6	3.2	6.3
前回(9期)		65	27.7	23.1	38.5	12.3	3.1	4.6	7.7	15.4	-
圏域別	松山	21	23.8	38.1	33.3	28.6	14.3	4.8	-	-	9.5
	平野	8	-	37.5	50.0	25.0	-	-	-	-	-
	大岡	5	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	唐子	5	100.0	40.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-
	高坂	10	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	-	10.0	10.0	-
	高坂丘陵	4	25.0	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-
	野本	10	50.0	40.0	40.0	-	-	-	-	-	10.0
認定別	認定なし+該当	41	34.1	34.1	41.5	7.3	4.9	2.4	2.4	4.9	2.4
	要支援1・2	22	40.9	31.8	13.6	31.8	18.2	-	-	-	13.6

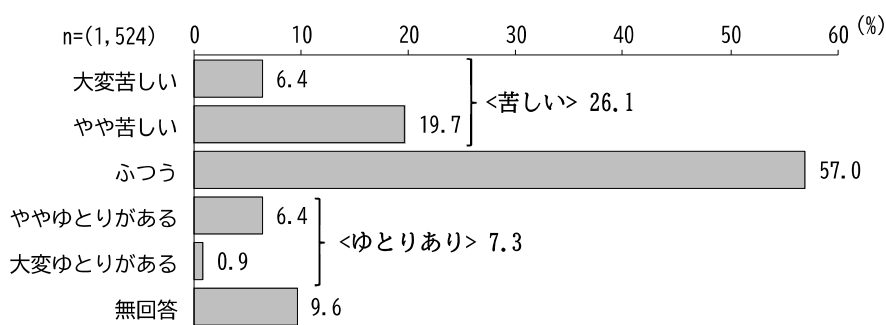
(5) 現在の暮らし状況

問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況を経済的にみると、「ふつう」が57.0%で最も多くなっている。また「大変苦しい」6.4%と「やや苦しい」19.7%の合計が26.1%、「ややゆとりがある」6.4%と「大変ゆとりがある」0.9%の合計が7.3%となっている。

前回調査と比較すると、「ふつう」が10.5ポイント高くなっている。

図表1-1-8 現在の暮らし状況 全体



図表1-1-9 現在の暮らし状況 前回比較/圏域別/認定状況別

		n	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
今回 (10期)		1,524	6.4	19.7	57.0	6.4	0.9	9.6
前回 (9期)		1,498	6.7	20.1	46.5	6.3	1.4	19.0
圏域別	松山	533	5.4	19.7	59.5	6.6	0.6	8.3
	平野	180	6.7	19.4	58.9	5.6	1.1	8.3
	大岡	63	6.3	17.5	63.5	1.6	-	11.1
	唐子	169	10.1	19.5	55.0	3.6	1.8	10.1
	高坂	189	7.4	20.6	50.3	11.1	1.1	9.5
	高坂丘陵	137	2.9	13.9	59.1	8.8	-	15.3
	野本	253	7.1	22.9	54.2	5.1	1.2	9.5
認定別	認定なし+該当	1,469	6.3	19.6	57.2	6.5	0.8	9.5
	要支援1・2	55	9.1	21.8	52.7	3.6	1.8	10.9

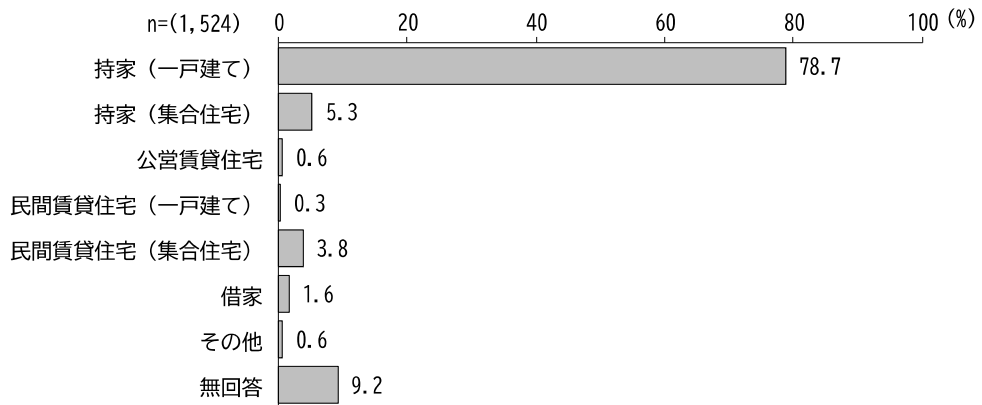
(6) 居住形態

問1 (4) お住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

居住形態は、「持家(一戸建て)」が78.7%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が5.3%、「民間賃貸住宅(集合住宅)」が3.8%となっている。

前回調査と比較すると、「持家(一戸建て)」が6.8ポイント高くなっている。

図表1-1-10 居住形態 全体



図表1-1-11 居住形態 前回比較/圏域別/認定状況別

		n	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
今回(10期)		1,524	78.7	5.3	0.6	0.3	3.8	1.6	0.6	9.2
前回(9期)		1,498	71.9	4.3	0.7	0.5	2.1	1.1	0.7	18.7
圏域別	松山	533	73.7	9.8	0.9	0.4	5.6	1.1	0.6	7.9
	平野	180	81.7	5.6	-	0.6	2.2	1.1	0.6	8.3
	大岡	63	77.8	1.6	-	-	-	6.3	3.2	11.1
	唐子	169	84.6	-	1.8	-	0.6	1.8	0.6	10.7
	高坂	189	84.1	0.5	-	0.5	4.2	2.1	-	8.5
	高坂丘陵	137	75.9	8.8	-	-	-	-	0.7	14.6
	野本	253	80.6	2.0	0.4	-	5.9	2.0	0.4	8.7
認定別	認定なし+該当	1,469	78.9	5.4	0.4	0.3	3.7	1.5	0.6	9.2
	要支援1・2	55	72.7	3.6	5.5	-	5.5	3.6	-	9.1

2. からだを動かすことについて

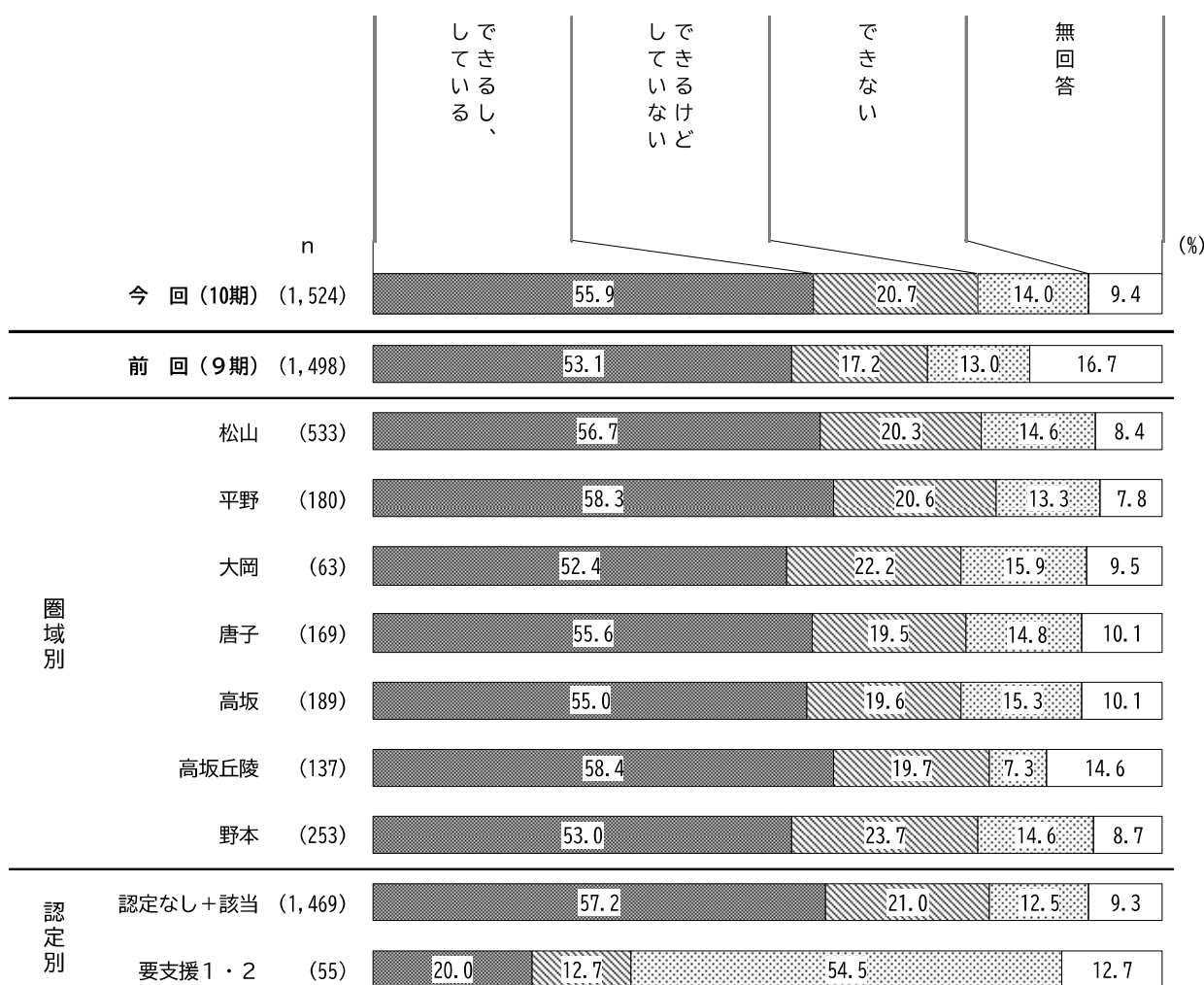
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについては、「できるし、している」が55.9%、「できるけどしていない」が20.7%、「できない」が14.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか 全体／前回比較／圏域別／認定状況別



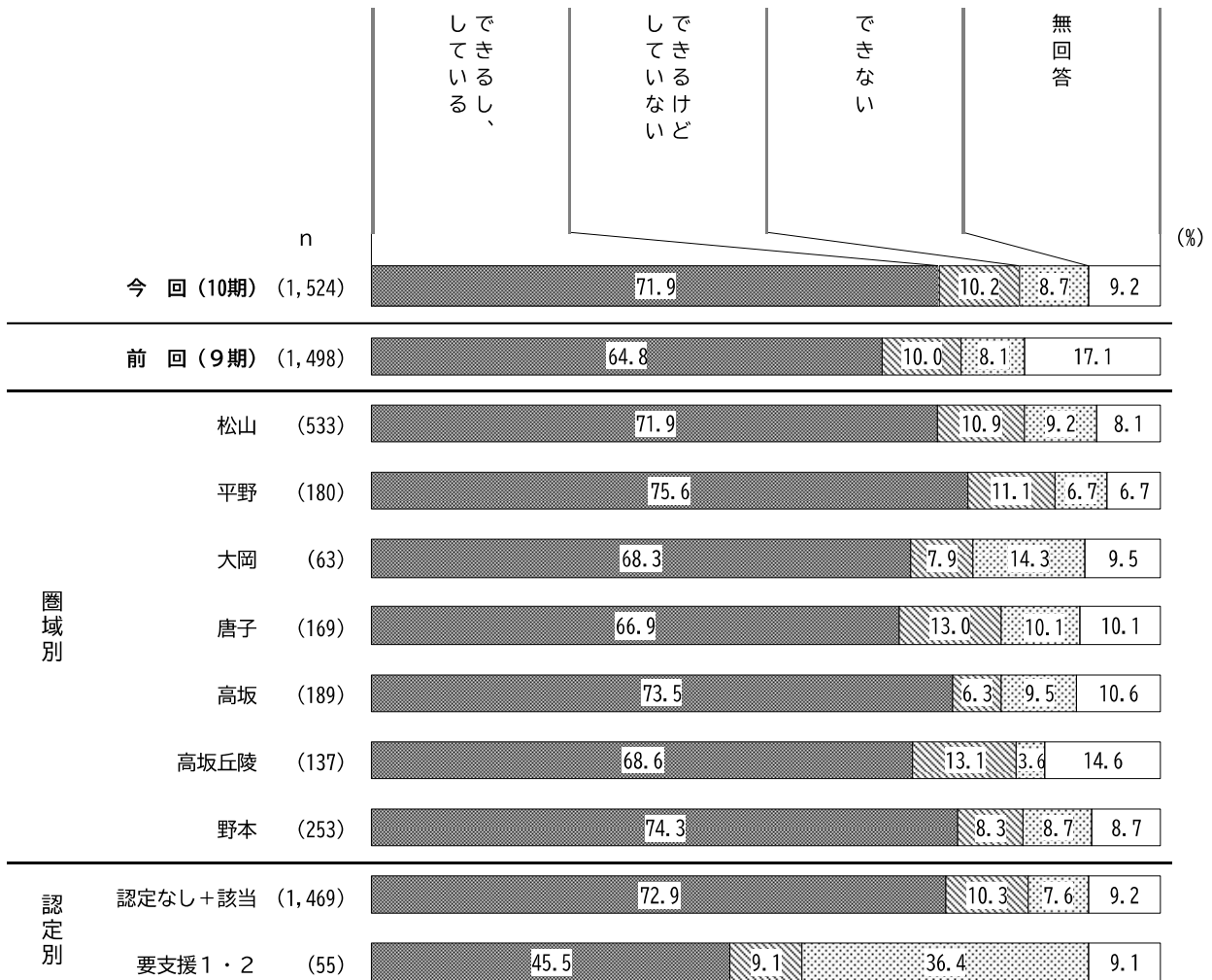
(2) 椅子に座った状態からつかまらずに立ち上がれるか

問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることについては、「できるし、している」が71.9%、「できるけどしていない」が10.2%、「できない」が8.7%となっている。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が7.1ポイント高くなっている。

図表1-2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



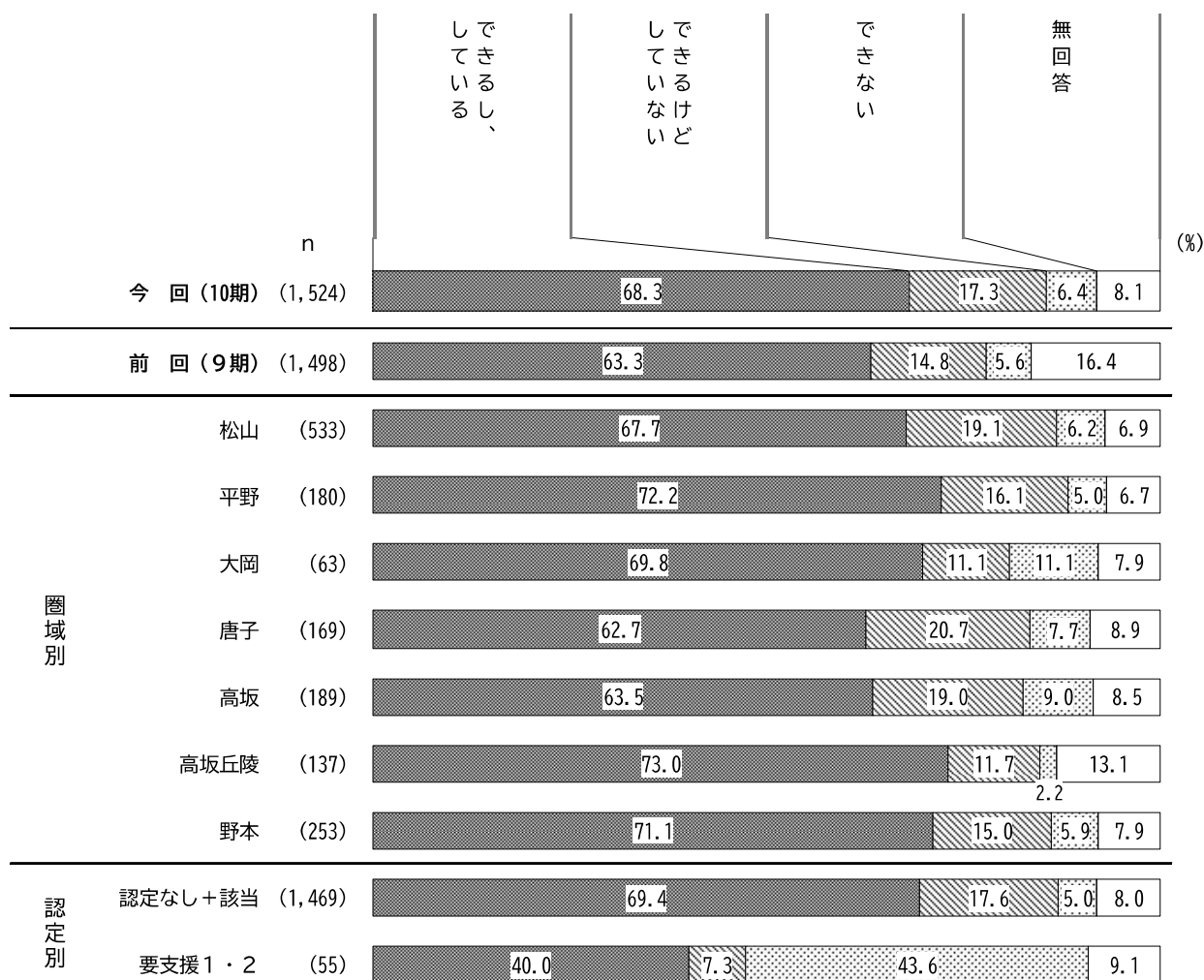
(3) 15分位続けての歩行

問2 (3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

15分位続けて歩くことについては、「できるし、している」が68.3%、「できるけどしていない」が17.3%、「できない」が6.4%となっている。

前回調査と比較すると、「できるし、している」が5.0ポイント高くなっている。

図表1-2-3 15分位続けての歩行 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



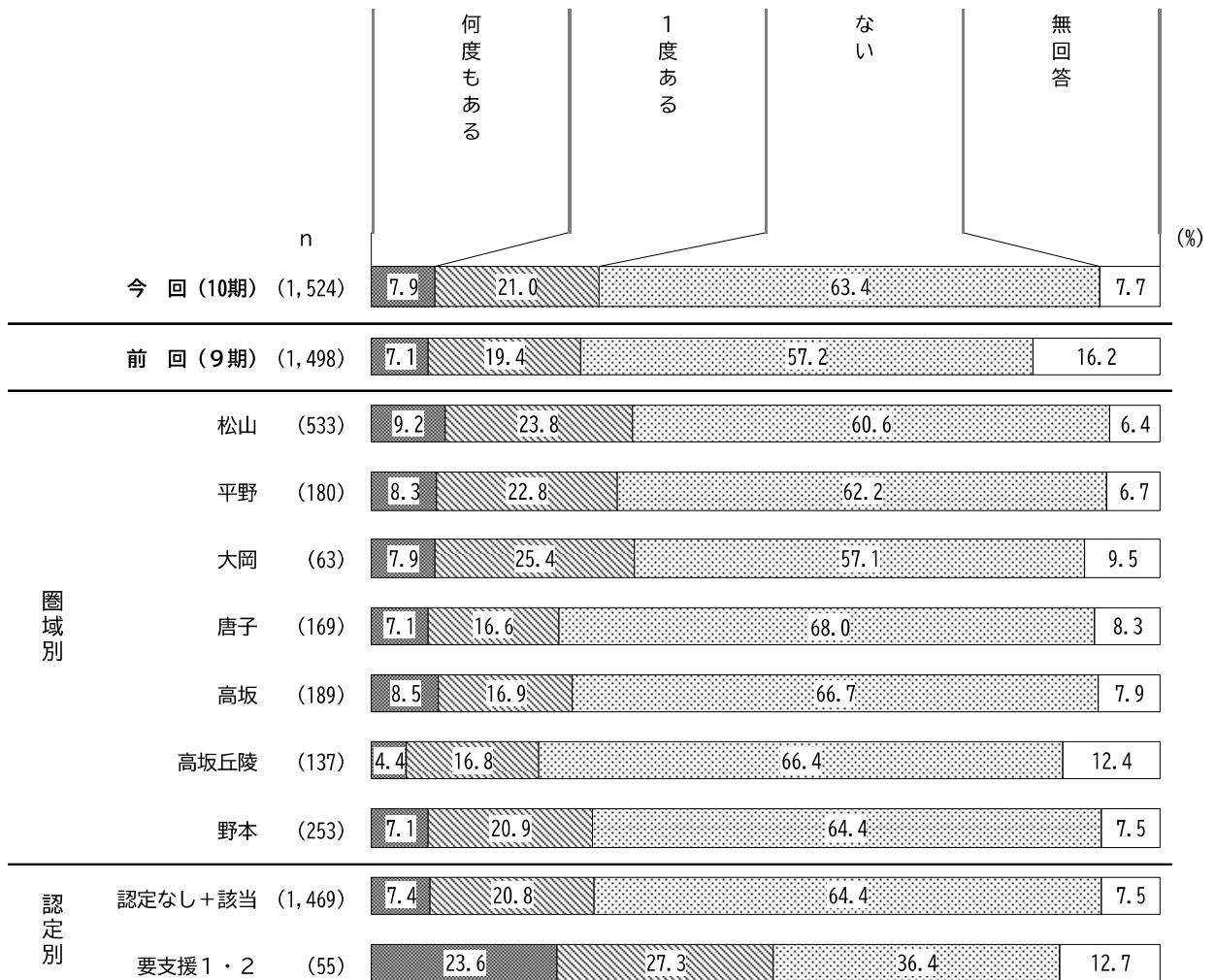
(4) 過去1年間に転んだ経験

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

過去1年間に転んだ経験については、「何度かある」が7.9%、「1度ある」が21.0%、「ない」が63.4%となっている。

前回調査と比較すると、「ない」が6.2ポイント高くなっている。

図表1-2-4 過去1年間に転んだ経験 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



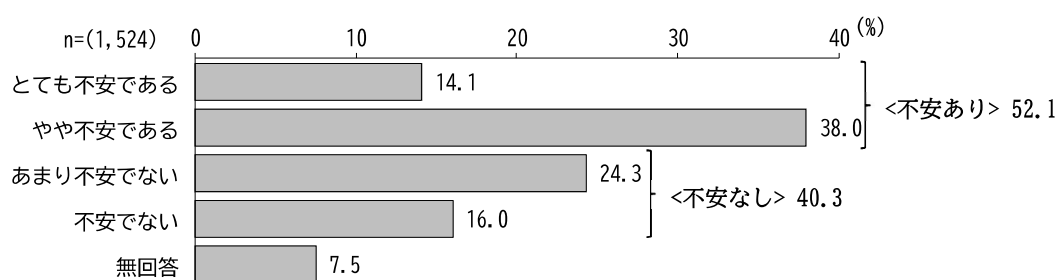
(5) 転倒に対する不安

問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安については、「やや不安である」が38.0%で最も多く、「とても不安である」14.1%と合わせると合計52.1%となっている。また「あまり不安でない」24.3%と「不安でない」16.0%の合計は40.3%となっている。

前回調査と比較すると、〈不安あり〉が5.7ポイント低くなっている。

図表1-2-5 転倒に対する不安 全体



図表1-2-6 転倒に対する不安 前回比較/圏域別/認定状況別

		n	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
今回 (10期)		1,524	14.1	38.0	24.3	16.0	7.5
前回 (9期)		1,498	12.0	34.4	21.8	15.4	16.3
圏域別	松山	533	16.3	38.1	23.3	15.6	6.8
	平野	180	6.7	40.6	30.6	15.6	6.7
	大岡	63	17.5	31.7	34.9	7.9	7.9
	唐子	169	13.6	33.7	24.3	20.1	8.3
	高坂	189	15.3	38.1	24.3	14.3	7.9
	高坂丘陵	137	13.1	43.1	16.8	15.3	11.7
	野本	253	13.8	37.5	23.7	18.2	6.7
認定別	認定なし+該当	1,469	13.1	37.8	25.0	16.5	7.5
	要支援1・2	55	40.0	41.8	7.3	1.8	9.1

(6) 外出状況

問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

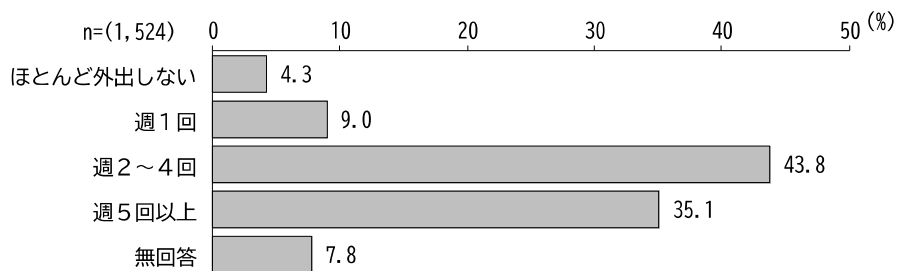
外出については、「週2～4回」が43.8%で最も多く、次いで「週5回以上」が35.1%、「週1回」が9.0%となっている。

前回調査と比較すると、「週2～4回」が5.5ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、ほとんど外出しないが高くなっている。

性別にみると、「週5回以上」では男性、「週2～4回」では女性が全体より高くなっている。

図表1-2-7 外出状況 全体



図表1-2-8 外出状況 前回比較/圏域別/年齢階級別/性別/認定状況別 (%)

	n	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
今回 (10期)	1,524	4.3	9.0	43.8	35.1	7.8	
前回 (9期)	1,498	4.0	8.2	38.3	33.4	16.2	
圏域別	松山	533	3.4	9.0	43.7	37.1	6.8
	平野	180	5.6	8.9	44.4	34.4	6.7
	大岡	63	7.9	11.1	44.4	25.4	11.1
	唐子	169	4.1	11.8	42.0	33.7	8.3
	高坂	189	5.8	7.9	42.9	34.9	8.5
	高坂丘陵	137	2.2	4.4	38.7	42.3	12.4
	野本	253	4.3	9.9	48.2	30.8	6.7
年齢階級別	65～69歳	312	1.0	5.1	34.9	51.3	7.7
	70～74歳	403	3.0	6.9	46.7	38.0	5.5
	75～79歳	406	2.2	6.7	49.0	32.0	10.1
	80～84歳	233	8.2	12.0	42.9	26.6	10.3
	85歳以上	170	12.9	22.4	42.4	17.6	4.7
性別	男性	733	4.9	8.3	38.9	40.5	7.4
	女性	791	3.7	9.6	48.4	30.1	8.2
認定別	認定なし+該当	1,469	3.6	8.5	44.1	36.0	7.8
	要支援1・2	55	21.8	21.8	36.4	10.9	9.1

(7) 外出回数 (昨年比)

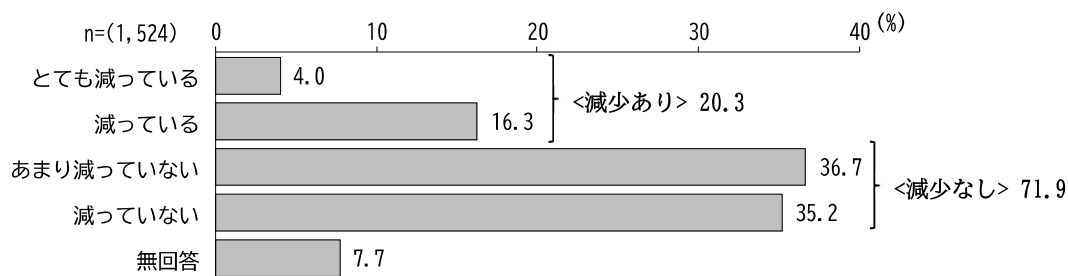
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

昨年と比べた外出回数については、「あまり減っていない」が36.7%で最も多く、「減っていない」35.2%と合わせると合計が71.9%となっている。また「とても減っている」4.0%と「減っている」16.3%の合計は20.3%となっている。

前回調査と比較すると、〈減少あり〉が5.4ポイント低く、〈減少なし〉が5.0ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、外出回数の減少ありが高くなっている。

図表1-2-9 外出回数 (昨年比) 全体



図表1-2-10 外出回数（昨年比） 前回比較／圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

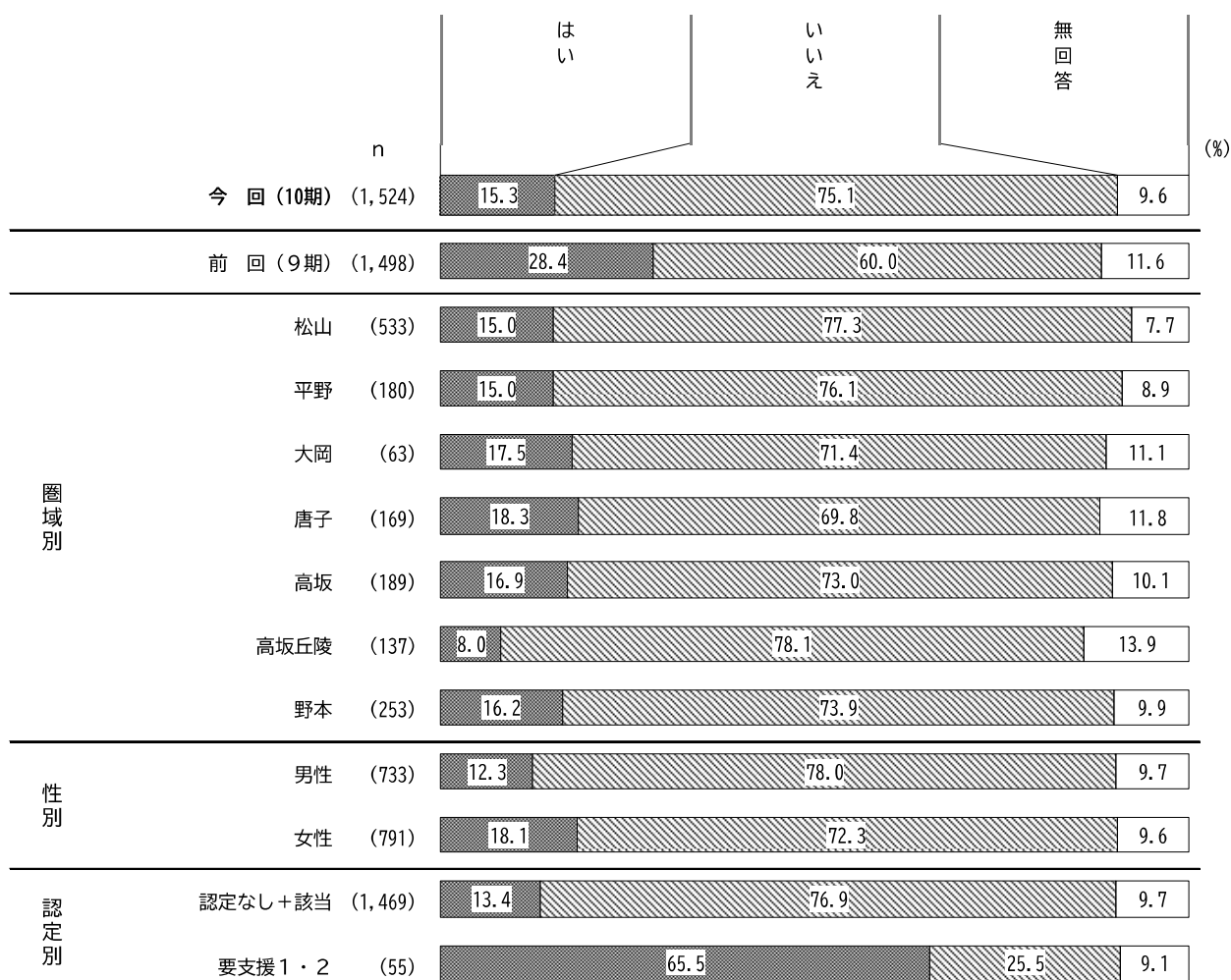
			(%)				
		n	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
今回（10期）		1,524	4.0	16.3	36.7	35.2	7.7
前回（9期）		1,498	5.7	20.0	35.8	31.1	7.3
圏域別	松山	533	4.3	14.8	40.2	34.3	6.4
	平野	180	5.0	15.0	35.6	37.2	7.2
	大岡	63	4.8	15.9	34.9	34.9	9.5
	唐子	169	3.0	18.3	34.9	34.9	8.9
	高坂	189	3.2	21.2	31.2	36.0	8.5
	高坂丘陵	137	2.2	16.1	33.6	36.5	11.7
	野本	253	4.7	15.8	37.5	34.8	7.1
年齢階級別	65～69歳	312	1.3	12.8	30.1	48.1	7.7
	70～74歳	403	2.5	12.2	40.0	39.5	6.0
	75～79歳	406	3.2	11.3	41.6	34.5	9.4
	80～84歳	233	6.0	24.9	33.9	24.5	10.7
	85歳以上	170	11.8	32.9	32.9	18.2	4.1
性別	男性	733	3.3	13.2	37.2	38.5	7.8
	女性	791	4.7	19.2	36.2	32.2	7.7
認定別	認定なし+該当	1,469	3.6	15.2	37.2	36.2	7.7
	要支援1・2	55	14.5	45.5	21.8	9.1	9.1

(8) 外出の控え

問2 (8) 外出を控えていますか。(〇は1つ)

外出の控えについては、「はい」が15.3%、「いいえ」が75.1%となっている。
 前回調査と比較すると、「はい」が13.1ポイント低くなっている。

図表1-2-11 外出の控え 全体／前回比較／圏域別／性別／認定状況別



(9) 外出を控える理由

【問2(8)で「1」を選んだ方におうかがいします。】

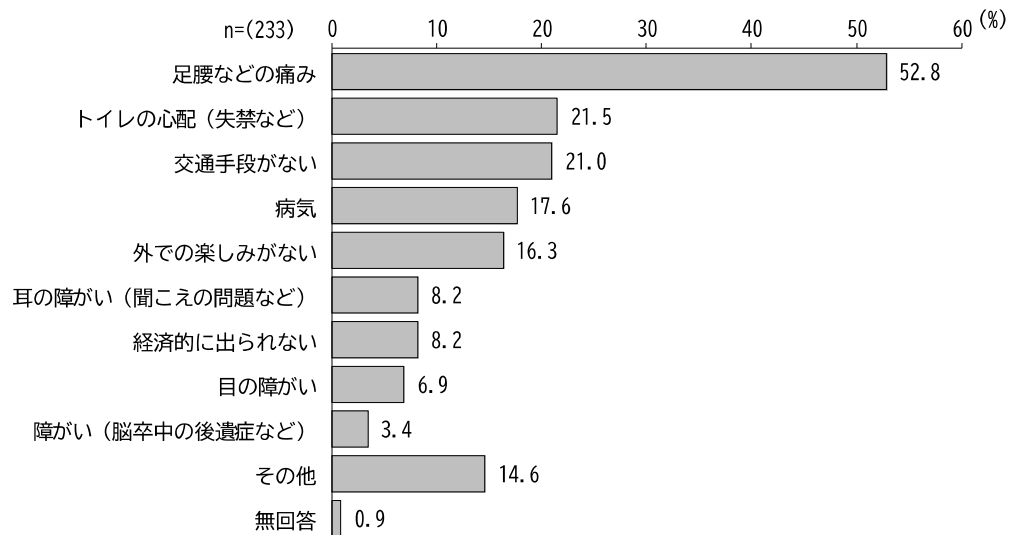
問2(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

外出を控えている人の理由は、「足腰などの痛み」が52.8%で最も多く、次いで「トイレの心配(失禁など)」が21.5%、「交通手段がない」が21.0%となっている。

前回調査と比較すると、「その他」除き、「足腰などの痛み」が18.9ポイント、「トイレの心配(失禁など)」が10.2ポイント、「交通手段がない」が9.7ポイント、「病気」が8.9ポイント高くなっている。

性別にみると、「交通手段がない」では女性が全体より高くなっている。

図表1-2-12 外出を控える理由(複数回答) 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-2-13 外出を控える理由（複数回答） 前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	足腰などの痛み	トイレの心配 (失禁など)	交通手段がない	病気	外での楽しみがない	耳の障がい (聞こえの問題など)	経済的に出られない	目の障がい	障がい (脳卒中の後遺症など)	その他	無回答
今 回 (10期)		233	52.8	21.5	21.0	17.6	16.3	8.2	8.2	6.9	3.4	14.6	0.9
前 回 (9期)		425	33.9	11.3	11.3	8.7	14.8	5.6	10.8	4.0	0.9	51.5	1.9
圏域別	松山	80	55.0	25.0	17.5	16.3	18.8	11.3	6.3	8.8	3.8	15.0	2.5
	平野	27	44.4	7.4	33.3	11.1	25.9	18.5	11.1	7.4	-	14.8	-
	大岡	11	54.5	45.5	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	27.3	-
	唐子	31	58.1	19.4	22.6	6.5	12.9	-	9.7	6.5	6.5	6.5	-
	高坂	32	53.1	18.8	15.6	18.8	9.4	9.4	9.4	9.4	3.1	18.8	-
	高坂丘陵	11	63.6	18.2	18.2	36.4	18.2	9.1	18.2	-	9.1	-	-
	野本	41	46.3	22.0	24.4	26.8	14.6	-	4.9	4.9	2.4	17.1	-
性別	男性	90	51.1	22.2	12.2	22.2	16.7	6.7	7.8	10.0	4.4	11.1	1.1
	女性	143	53.8	21.0	26.6	14.7	16.1	9.1	8.4	4.9	2.8	16.8	0.7
認定別	認定なし+該当	197	50.3	19.8	17.3	16.8	17.3	7.1	9.1	7.6	3.6	15.2	1.0
	要支援1・2	36	66.7	30.6	41.7	22.2	11.1	13.9	2.8	2.8	2.8	11.1	-

(10) 外出の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

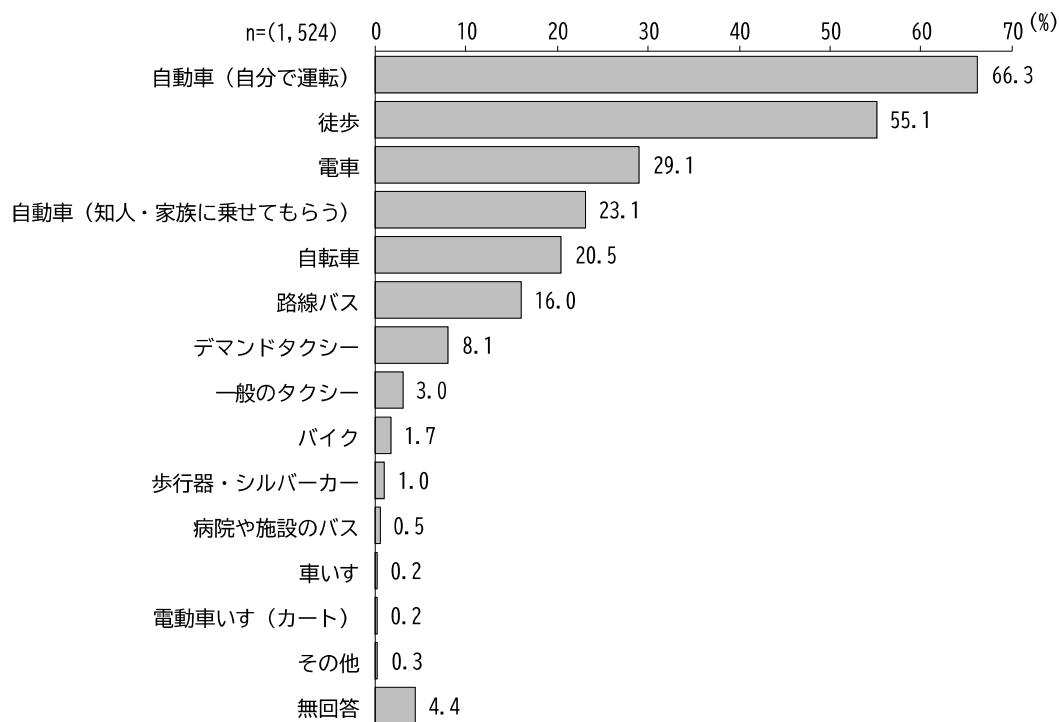
外出する際の移動手段は、「自動車(自分で運転)」が66.3%で最も多く、次いで「徒歩」が55.1%、「電車」が29.1%となっている。

前回調査と比較すると、「自動車(自分で運転)」が5.3ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「自動車(自分で運転)」・「徒歩」・「電車」の割合が減少傾向にあり、「自動車(知人・家族に乗せてもらう)」・「デマンドタクシー」の割合が増加傾向となっている。

性別にみると、「自動車(自分で運転)」では男性、「自動車(知人・家族に乗せてもらう)」では女性が全体より高くなっている。

図表1-2-14 外出の移動手段(複数回答) 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-2-15 外出の移動手段（複数回答） 前回比較／圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別 (%)

		n	自動車 (自分で運転)	徒歩	電車	自動車 (知人・家族に 乗せてもらう)	自転車	路線バス	デマンドタクシー	一般のタクシー	バイク	歩行器・ シルバーカー
今 回 (10期)		1,524	66.3	55.1	29.1	23.1	20.5	16.0	8.1	3.0	1.7	1.0
前 回 (9期)		1,498	61.0	54.1	24.3	23.0	22.3	13.5	9.4	3.1	2.1	0.7
圏域別	松山	533	62.7	62.5	32.5	24.0	24.6	18.2	8.6	5.1	1.7	0.9
	平野	180	66.1	58.3	25.0	25.0	12.8	26.7	12.2	2.8	1.1	0.6
	大岡	63	73.0	36.5	15.9	27.0	12.7	11.1	3.2	1.6	1.6	-
	唐子	169	67.5	37.3	16.6	15.4	18.9	4.1	4.1	0.6	2.4	2.4
	高坂	189	63.5	54.5	36.5	25.9	23.3	10.1	8.5	0.5	1.6	2.6
	高坂丘陵	137	75.2	67.9	50.4	27.7	6.6	33.6	6.6	3.6	1.5	-
	野本	253	68.8	47.0	19.4	19.4	25.7	7.9	8.7	2.0	2.0	0.4
年齢階級別	65～69歳	312	78.8	59.9	38.5	17.6	19.2	14.1	2.9	2.9	2.2	-
	70～74歳	403	78.2	57.8	34.0	18.6	20.6	19.1	3.7	1.5	3.7	0.2
	75～79歳	406	69.7	54.9	28.3	23.2	19.7	17.0	7.1	3.7	0.7	0.7
	80～84歳	233	51.1	51.5	22.7	25.3	24.9	15.9	12.9	3.0	0.4	1.7
	85歳以上	170	27.6	44.7	10.6	40.6	18.2	10.0	24.1	4.7	-	4.7
性別	男性	733	77.6	57.4	29.7	11.3	22.8	14.1	4.4	2.5	3.0	-
	女性	791	55.8	52.8	28.4	34.0	18.3	17.8	11.6	3.4	0.5	2.0
認定別	認定なし+該当	1,469	68.1	55.8	29.9	22.5	20.9	16.1	7.4	2.9	1.8	0.7
	要支援1・2	55	18.2	36.4	7.3	38.2	9.1	12.7	29.1	3.6	-	9.1

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

		(%)					
		n	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	その他	無回答
今回(10期)		1,524	0.5	0.2	0.2	0.3	4.4
前回(9期)		1,498	0.7	0.3	0.1	0.9	7.6
圏域別	松山	533	0.8	0.2	-	0.2	3.6
	平野	180	0.6	0.6	-	1.1	3.3
	大岡	63	-	-	-	1.6	3.2
	唐子	169	0.6	0.6	0.6	-	8.9
	高坂	189	-	-	-	-	3.7
	高坂丘陵	137	0.7	-	0.7	-	5.8
	野本	253	-	-	0.4	-	4.0
年齢階級別	65～69歳	312	-	0.3	-	-	4.8
	70～74歳	403	-	0.2	-	0.2	4.2
	75～79歳	406	0.2	-	-	0.5	3.9
	80～84歳	233	1.3	0.4	0.4	-	5.2
	85歳以上	170	1.8	-	1.2	0.6	4.1
性別	男性	733	0.5	0.4	0.3	0.4	4.2
	女性	791	0.4	-	0.1	0.1	4.6
認定別	認定なし+該当	1,469	0.4	0.2	0.1	0.3	4.2
	要支援1・2	55	1.8	-	1.8	-	10.9

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(11) 外出の際の不便について

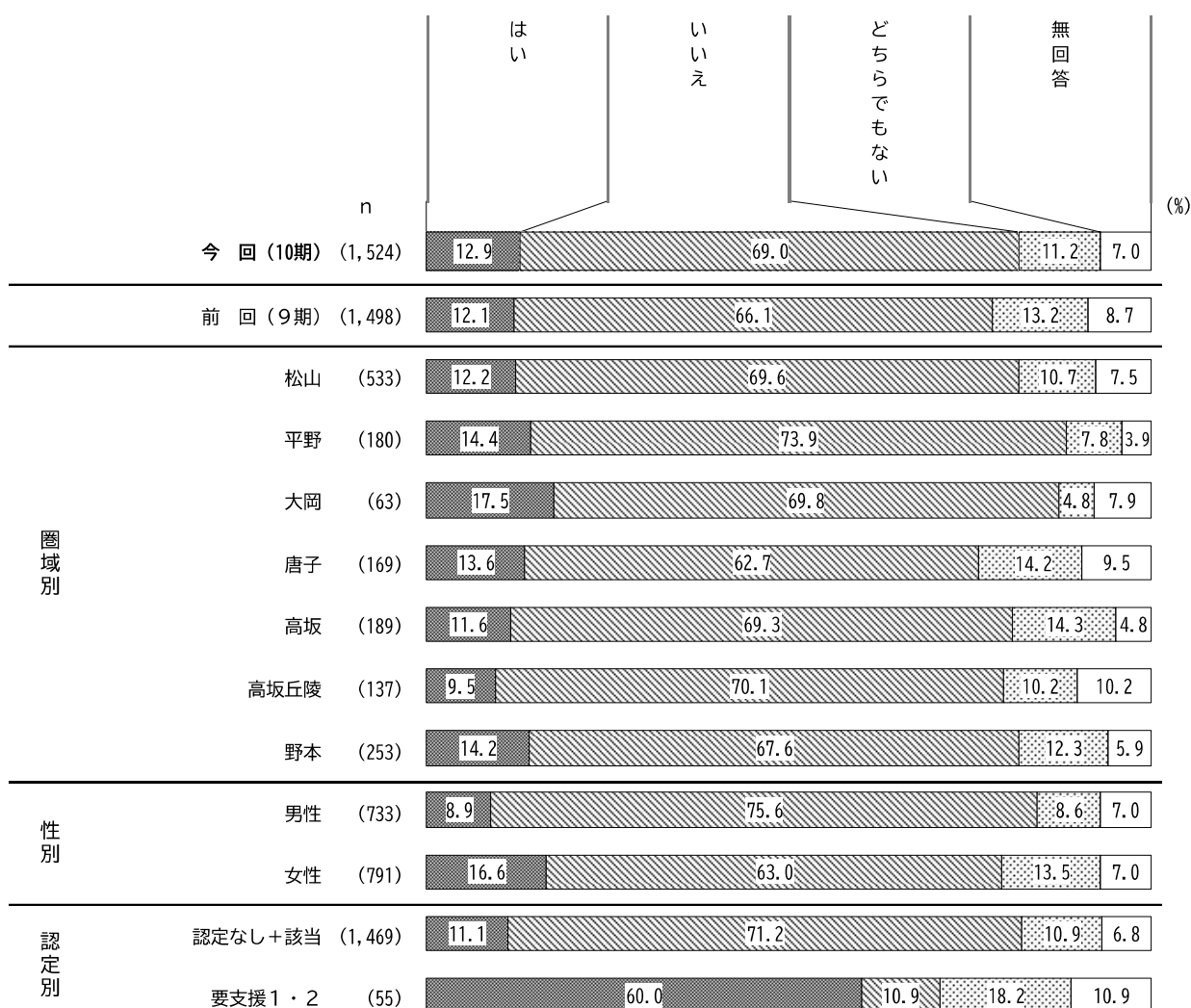
問2 (10) 日常生活で、外出する際に不便を感じていますか。(○は1つ)

日常生活で外出する際に不便を感じているかについては、「はい」が12.9%、「いいえ」が69.0%、「どちらでもない」が11.2%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「いいえ」では男性が全体より高くなっている。

図表1-2-16 外出の際の不便について 全体/前回比較/圏域別/性別/認定状況別



(12) 買い物の際の不便について

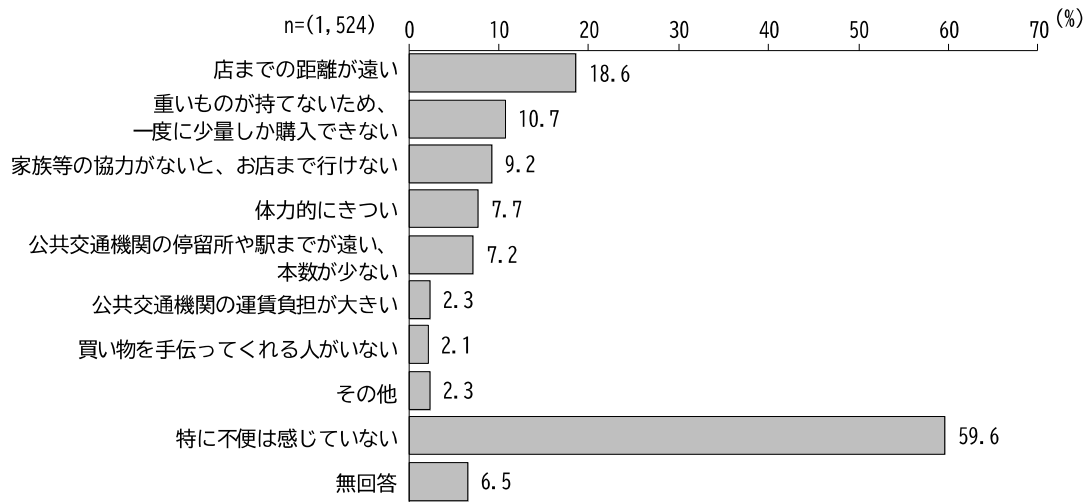
問2 (11) 買い物をする際に不便を感じていますか。(〇はいくつでも)

買い物をする際に不便を感じている人は33.9%(=100% - 「特に不便は感じていない」 - 無回答)で、その要因としては「店までの距離が遠い」が18.6%で最も多く、次いで「重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない」が10.7%、「家族等の協力がないと、お店まで行けない」が9.2%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「特に不便は感じていない」では男性が全体より高くなっている。

図表1-2-17 買い物の際の不便について (複数回答) 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-2-18 買い物の際の不便について（複数回答） 前回比較／圏域／性別／認定状況別

		n	店までの距離が遠い	重いものが持てないため、一度に少量しか購入できない	家族等の協力がないと、お店まで行けない	体力的にきつい	公共交通機関の停留所や駅までが遠い、本数が少ない	公共交通機関の運賃負担が大きい	買い物を手伝ってくれる人がいない	その他	特に不便は感じていない	無回答
今 回（10期）		1,524	18.6	10.7	9.2	7.7	7.2	2.3	2.1	2.3	59.6	6.5
前 回（9期）		1,498	16.8	9.9	8.7	7.6	7.7	2.5	2.9	2.3	60.4	8.3
圏域別	松山	533	17.1	12.9	7.5	8.8	5.3	2.4	2.8	3.2	60.6	5.8
	平野	180	17.2	10.0	10.0	7.2	9.4	6.7	2.2	2.8	63.9	4.4
	大岡	63	27.0	9.5	14.3	12.7	3.2	1.6	-	-	49.2	7.9
	唐子	169	23.1	9.5	9.5	5.9	8.3	1.2	1.8	1.8	56.8	9.5
	高坂	189	12.7	8.5	10.1	9.0	3.7	1.1	3.2	1.6	65.6	4.8
	高坂丘陵	137	17.5	8.0	9.5	4.4	13.1	2.2	1.5	1.5	56.2	10.2
	野本	253	22.5	10.7	9.9	6.3	9.5	0.8	0.8	2.0	56.5	6.3
性別	男性	733	15.3	6.7	5.0	6.1	5.6	1.8	1.5	2.2	67.5	6.1
	女性	791	21.6	14.4	13.0	9.1	8.7	2.8	2.7	2.4	52.3	6.8
認定別	認定なし+該当	1,469	18.2	9.7	7.8	6.7	7.0	2.2	2.1	2.3	61.3	6.5
	要支援1・2	55	27.3	38.2	47.3	34.5	12.7	3.6	1.8	1.8	16.4	7.3

3. 食べることについて

(1) BMI

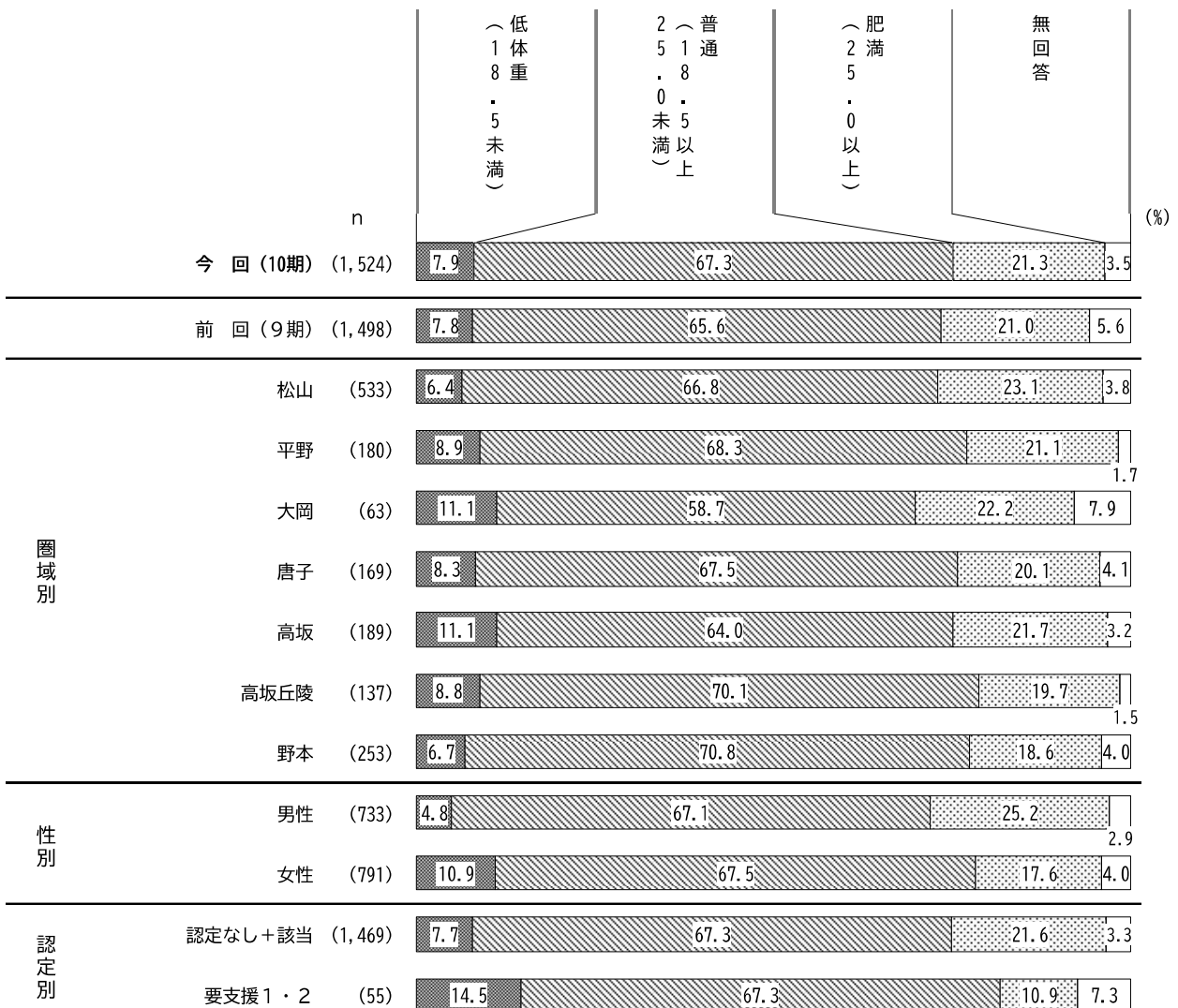
問3 (1) 身長・体重について、数字を右詰でご記入ください。

BMI (Body Mass Index) は、「低体重 (18.5未満)」が7.9%、「普通 (18.5以上25.0未満)」が67.3%、「肥満 (25.0以上)」が21.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

※BMIは体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数。BMI = 体重kg ÷ (身長m)²

図表1-3-1 BMI 全体/前回比較/圏域別/性別/認定状況別



(2) 半年前と比べた固いものの食べにくさ

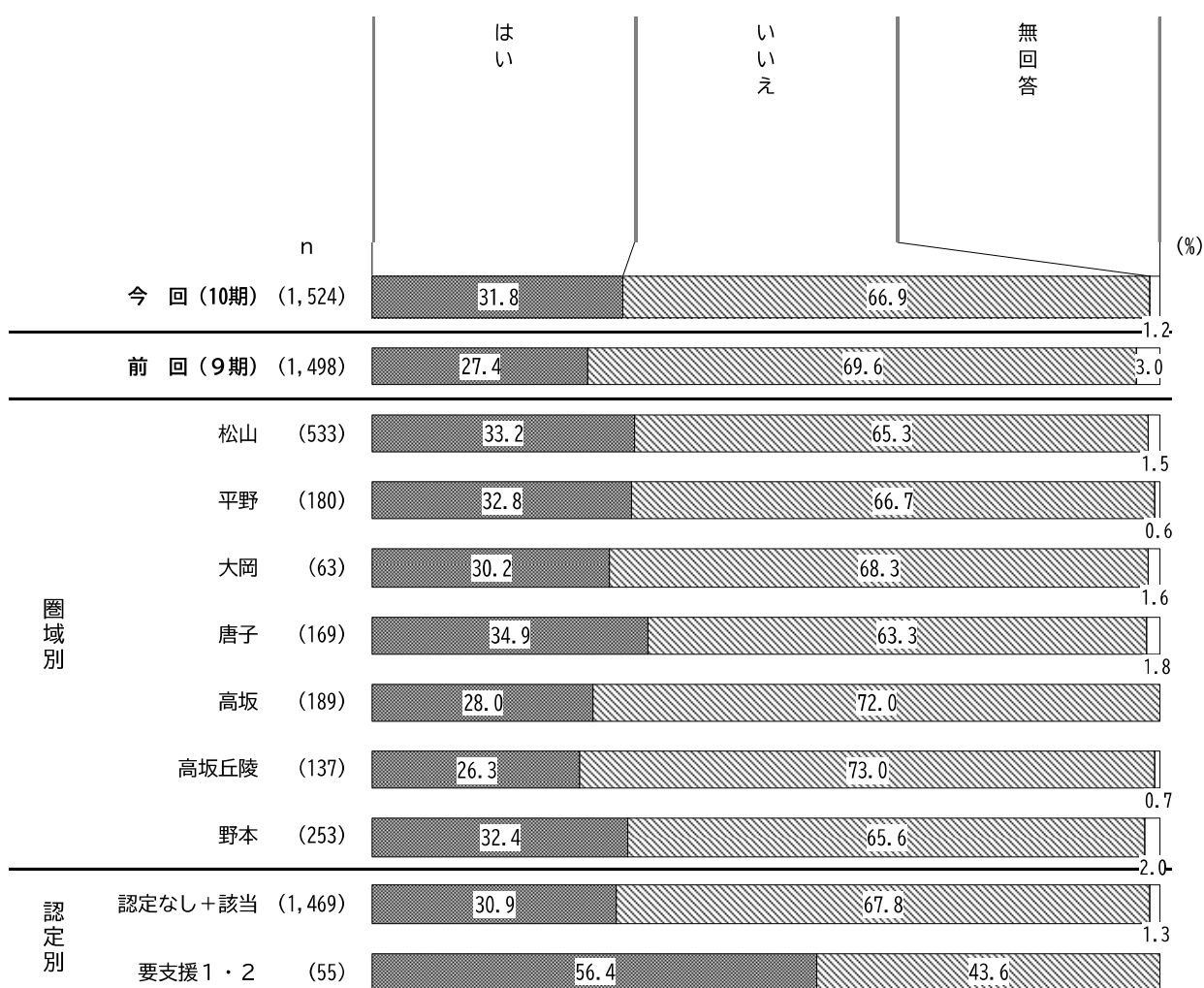
問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が31.8%、「いいえ」が66.9%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

認定状況別にみると、「はい」では「要支援1・2」、「いいえ」では「認定なし・該当」が全体より高くなっている。

図表1-3-2 半年前と比べた固いものの食べにくさ 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



(3) お茶や汁物の飲食について

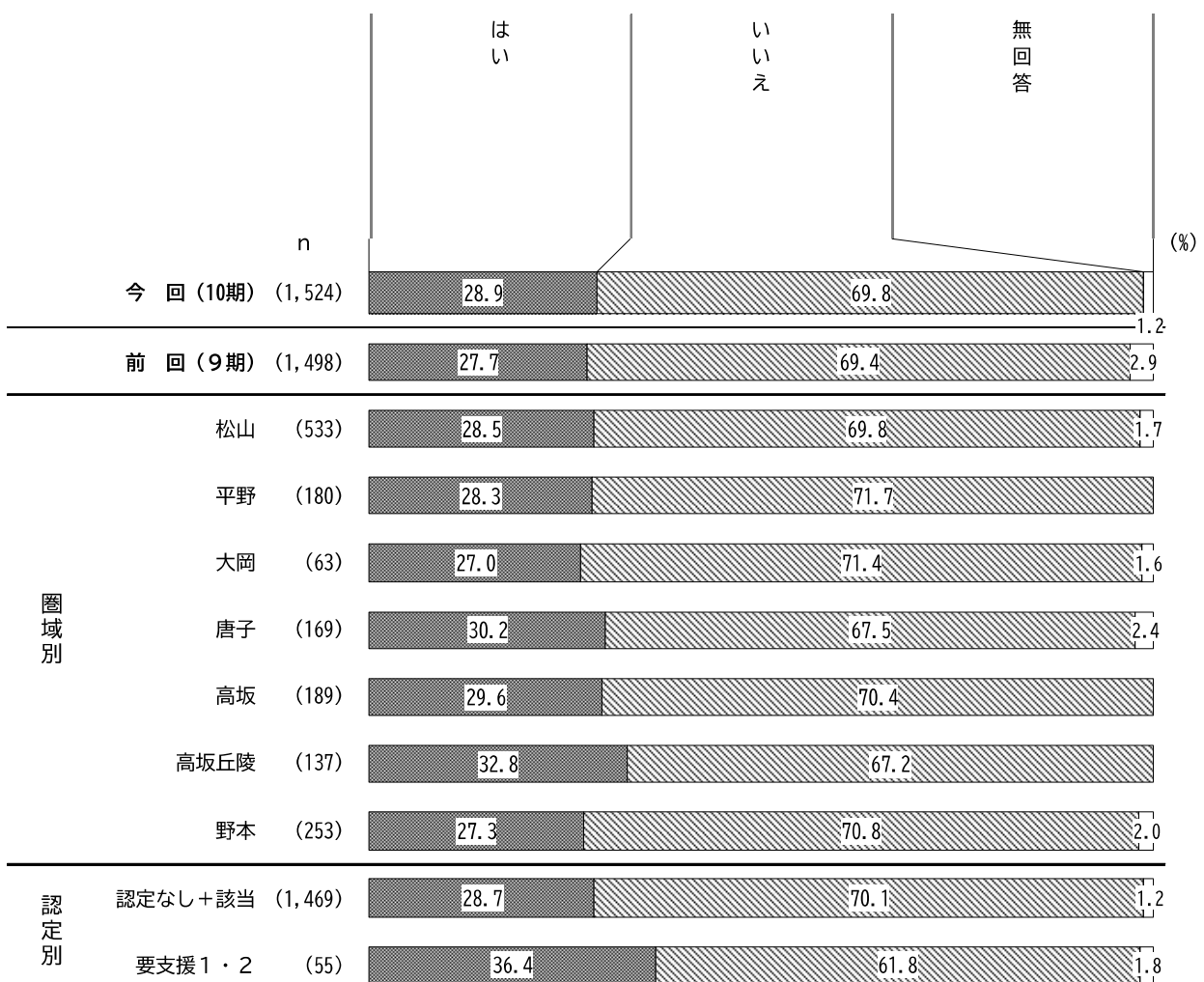
問3 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が28.9%、「いいえ」が69.8%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

認定状況別にみると、「はい」では「要支援1・2」が全体より高くなっている。

図表1-3-3 お茶や汁物の飲食について 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

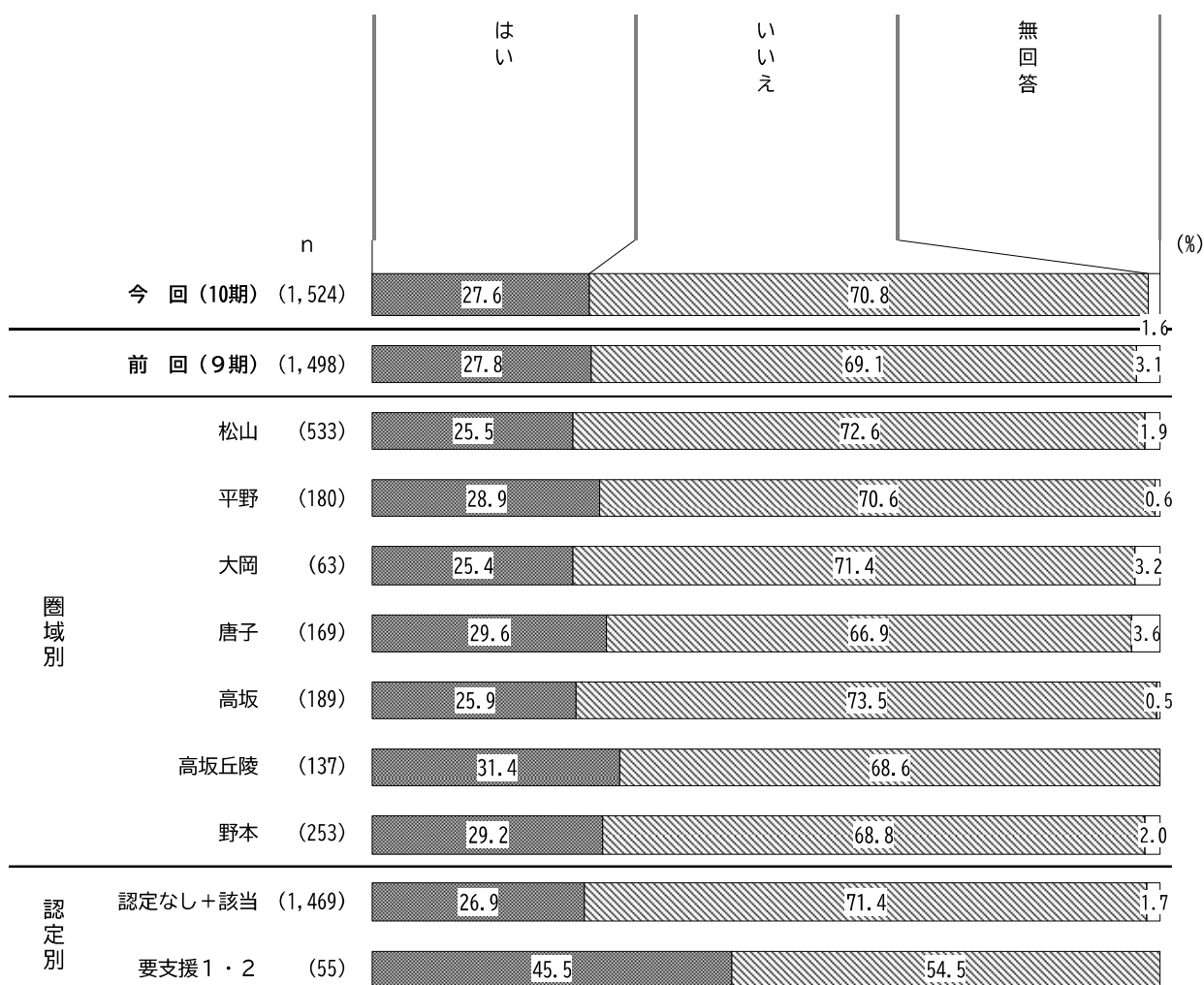


(4) 口の渇きについて

問3 (4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

口の渇きが気になるかについては、「はい」が27.6%、「いいえ」が70.8%となっている。
 前回調査と比較すると、大きな差はみられない。
 認定状況別にみると、「はい」では「要支援1・2」が全体より高くなっている。

図表1-3-4 口の渇きについて 全体／前回比較／圏域別／認定状況別



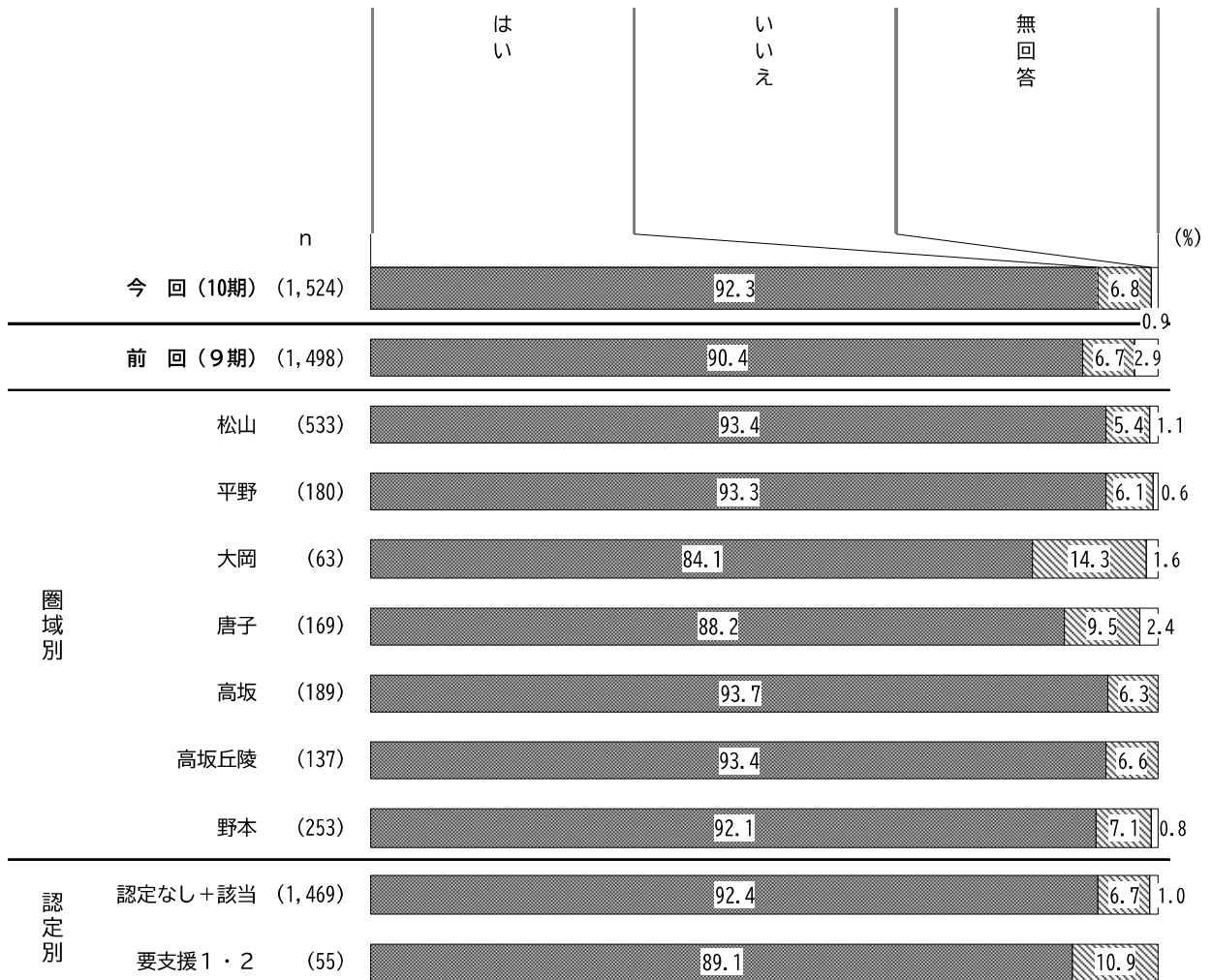
(5) 毎日の歯磨きについて

問3 (5) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（○は1つ）

歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日しているかについては、「はい」が92.3%、「いいえ」が6.8%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-3-5 毎日の歯磨きについて 全体／前回比較／圏域別／認定状況別



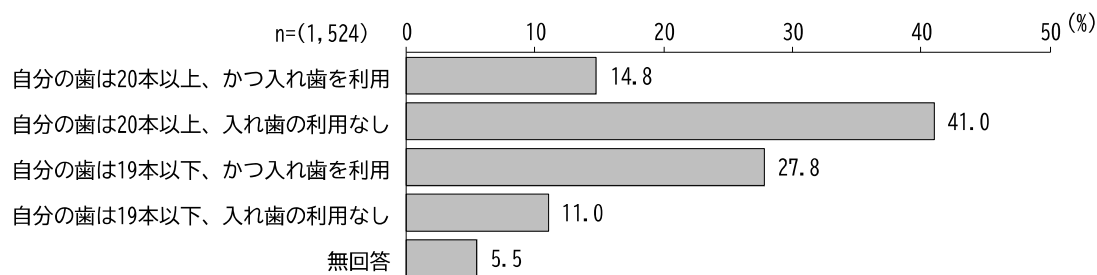
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)。(○は1つ)

歯の数と入れ歯の利用状況は、「自分の歯は20本以上、入れ歯利用なし」が41.0%で最も多くなっている。また、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」14.8%と、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」27.8%の合計(入れ歯の利用率)は42.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-3-6 歯の数と入れ歯の利用状況 全体



図表1-3-7 歯の数と入れ歯の利用状況 前回比較/圏域別/認定状況別

	n	割合 (%)				無回答	
		自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし		
今回(10期)	1,524	14.8	41.0	27.8	11.0	5.5	
前回(9期)	1,498	14.9	38.3	25.9	10.7	10.2	
圏域別	松山	533	14.3	40.9	28.3	10.9	5.6
	平野	180	11.7	34.4	32.2	12.2	9.4
	大岡	63	17.5	36.5	38.1	1.6	6.3
	唐子	169	14.2	40.2	26.6	13.0	5.9
	高坂	189	13.2	45.0	23.8	14.3	3.7
	高坂丘陵	137	19.0	46.7	20.4	9.5	4.4
	野本	253	16.6	41.5	28.5	9.5	4.0
認定別	認定なし+該当	1,469	14.8	41.7	27.2	10.9	5.4
	要支援1・2	55	12.7	23.6	43.6	12.7	7.3

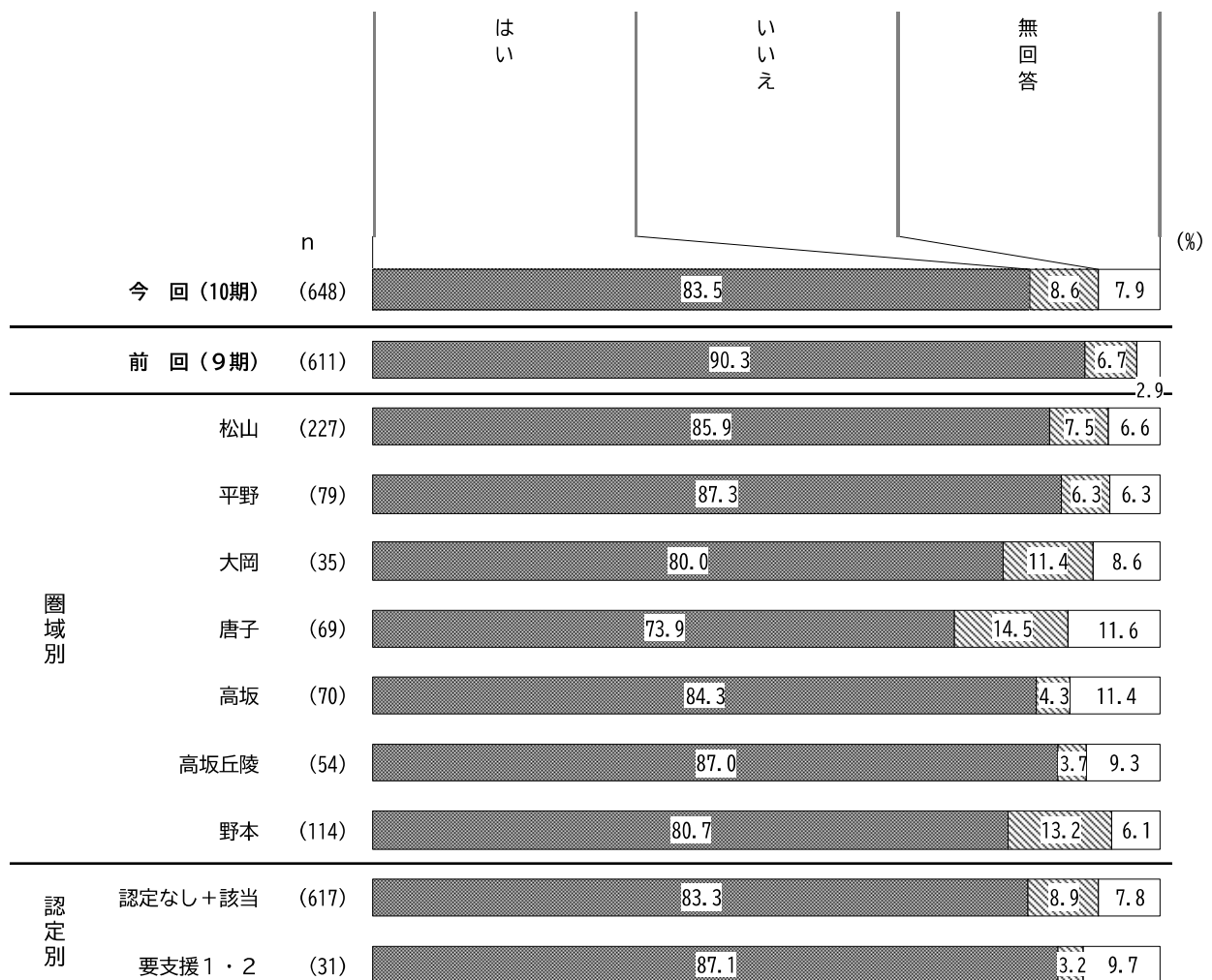
(7) 入れ歯の手入れ

【問3(6)で「1」または「3」を選んだ方におうかがいします。】
 問3(6)-① 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)

入れ歯を利用している人のうち、毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が83.5%、「いいえ」が8.6%となっている。

前回調査と比較すると、「はい」が6.8ポイント低くなっている。

図表1-3-8 入れ歯の手入れ 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

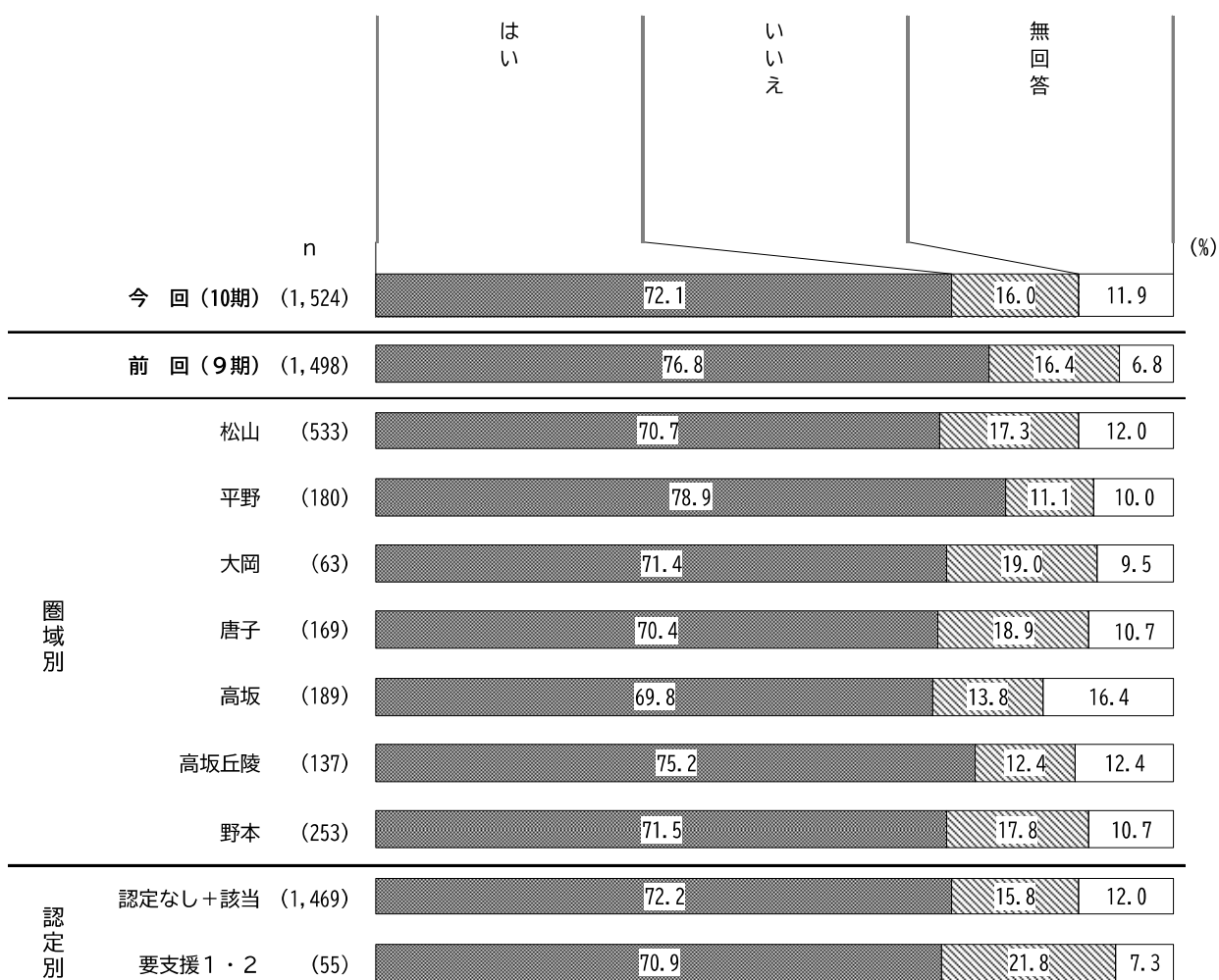


(8) 噛み合わせについて

問3 (7) 噛み合わせは良いですか。(○は1つ)

噛み合わせが良いかについては、「はい」が72.1%、「いいえ」が16.0%となっている。
前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-3-9 噛み合わせについて 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



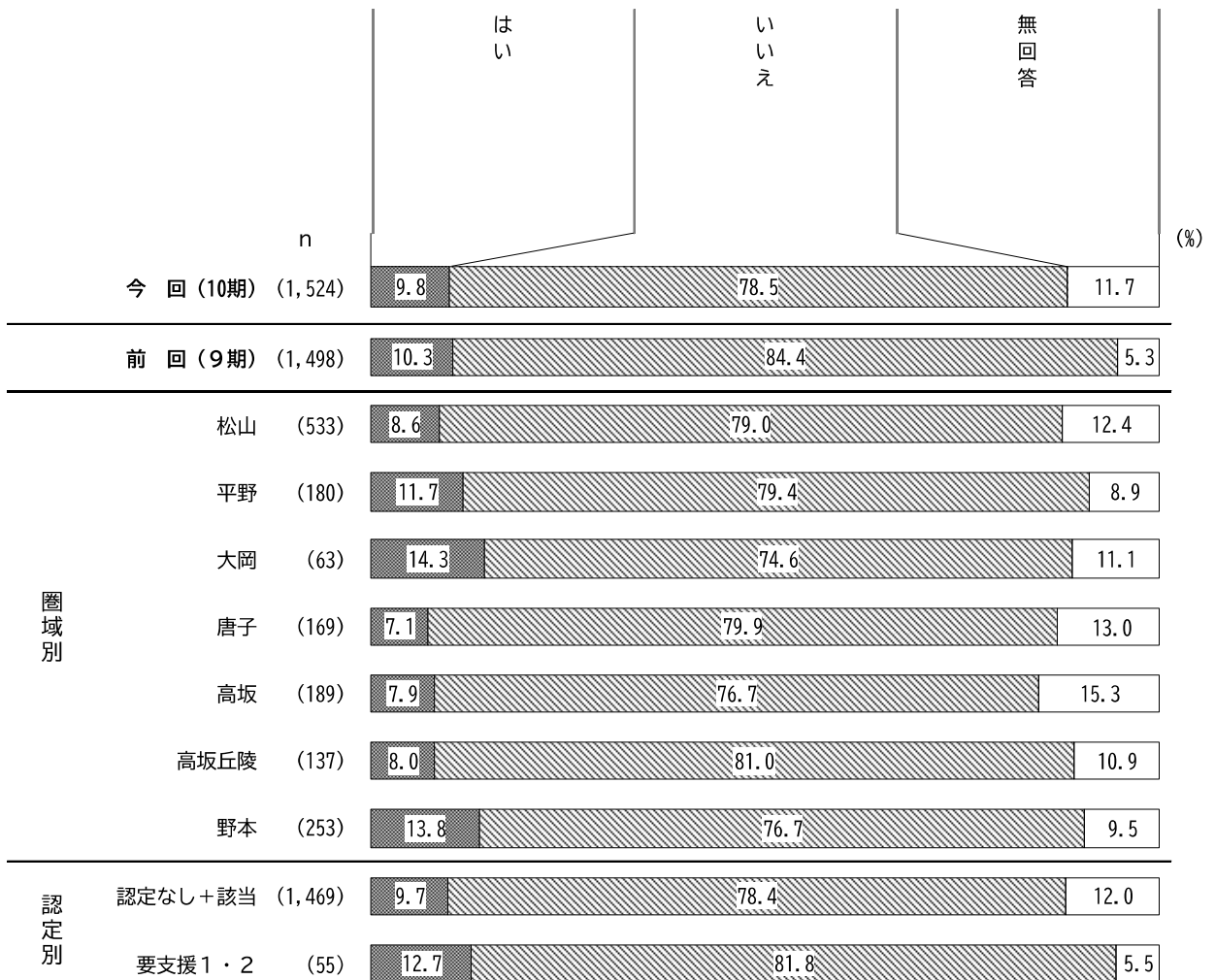
(9) 体重の減少について

問3 (8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6か月で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が9.8%、「いいえ」が78.5%となっている。

前回調査と比較すると、「いいえ」が5.9ポイント低くなっている。

図表1-3-10 体重の減少について 全体／前回比較／圏域別／認定状況別



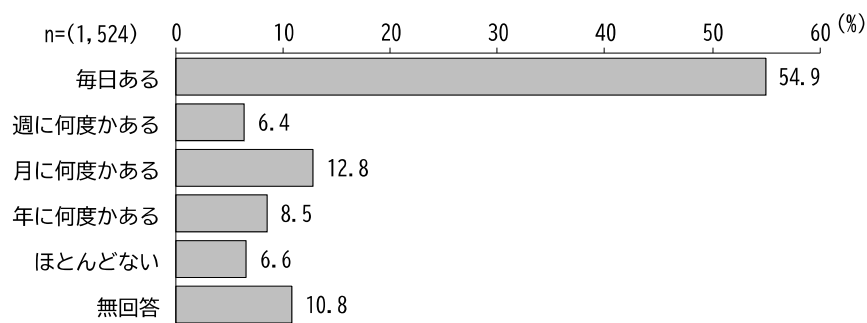
(10) とともに食事をする人の有無

問3 (9) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

とともに食事をする機会のある人は82.6%(=100% - 「ほとんどない」 - 無回答)で、その頻度は「毎日ある」が54.9%で最も多く、次いで「月に何度かある」が12.8%、「年に何度かある」が8.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-3-11 とともに食事をする人の有無 全体



図表1-3-12 とともに食事をする人の有無 前回比較/圏域別/認定状況別

		n	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
今回 (10期)		1,524	54.9	6.4	12.8	8.5	6.6	10.8
前回 (9期)		1,498	59.2	6.1	14.0	8.0	8.2	4.4
圏域別	松山	533	49.9	8.3	15.2	8.6	6.4	11.6
	平野	180	61.7	3.9	10.6	7.8	8.3	7.8
	大岡	63	57.1	6.3	9.5	6.3	11.1	9.5
	唐子	169	56.8	6.5	10.7	8.9	5.9	11.2
	高坂	189	56.6	6.3	8.5	6.9	6.3	15.3
	高坂丘陵	137	59.1	3.6	15.3	6.6	4.4	10.9
	野本	253	55.3	5.9	13.4	11.1	6.7	7.5
認定別	認定なし+該当	1,469	55.5	6.3	12.7	8.2	6.4	11.0
	要支援1・2	55	40.0	10.9	14.5	16.4	12.7	5.5

4. 毎日の生活について

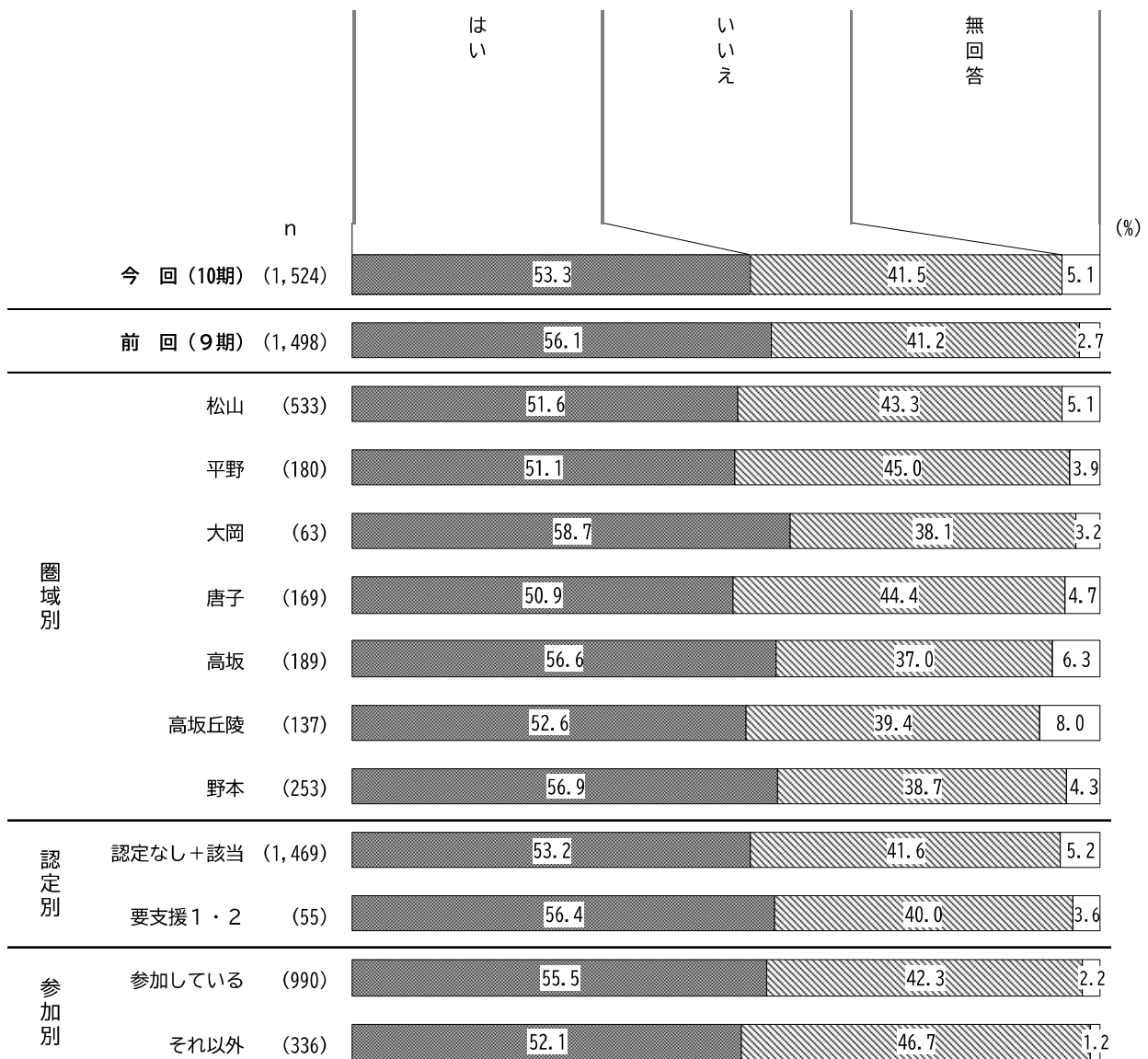
(1) 物忘れについて

問4 (1) 物忘れ(物の名前が出てこないこと、置き忘れ等)が多いと感じますか。
(○は1つ)

物忘れ(物の名前が出てこないこと、置き忘れ等)が多いと感じるかについては、「はい」が53.3%、「いいえ」が41.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-1 物忘れについて 全体/前回比較/圏域別/認定状況別/地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

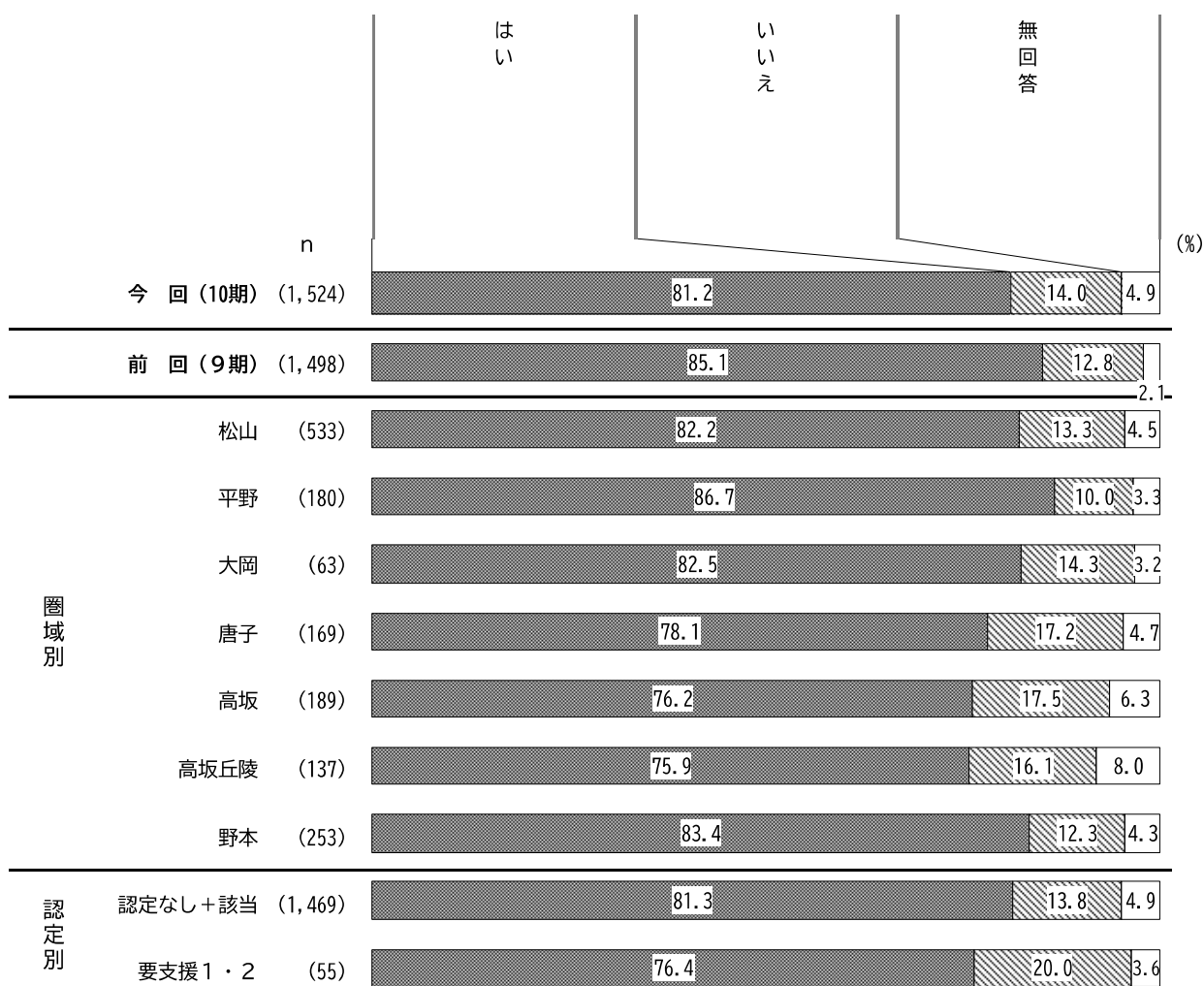
(2) 電話をかけることについて

問4 (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(〇は1つ)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」が81.2%、「いいえ」が14.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-2 電話をかけることについて 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



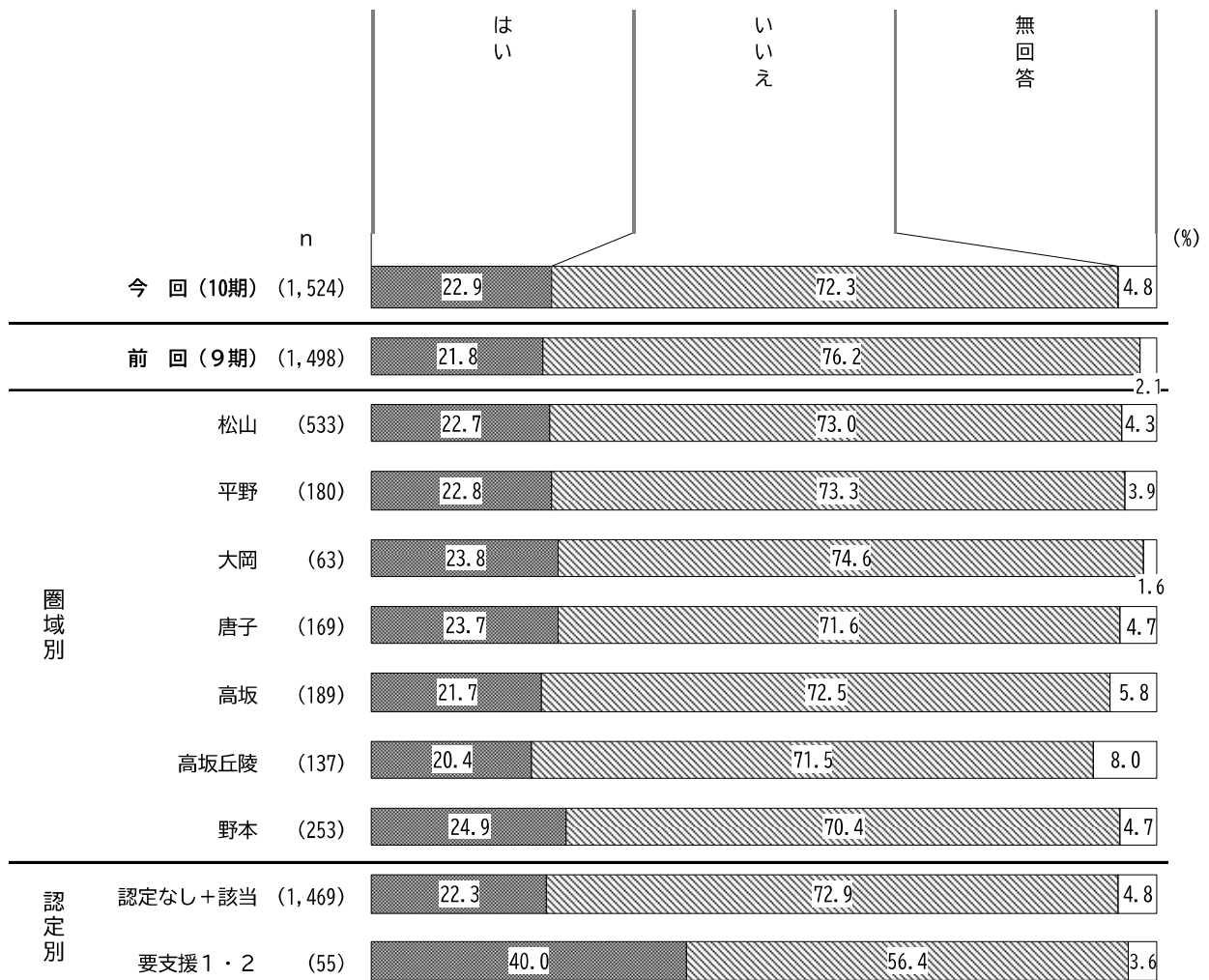
(3) 日付について

問4 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

今日が何月何日かわからない時があるかについては、「はい」が22.9%、「いいえ」が72.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-3 日付について 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



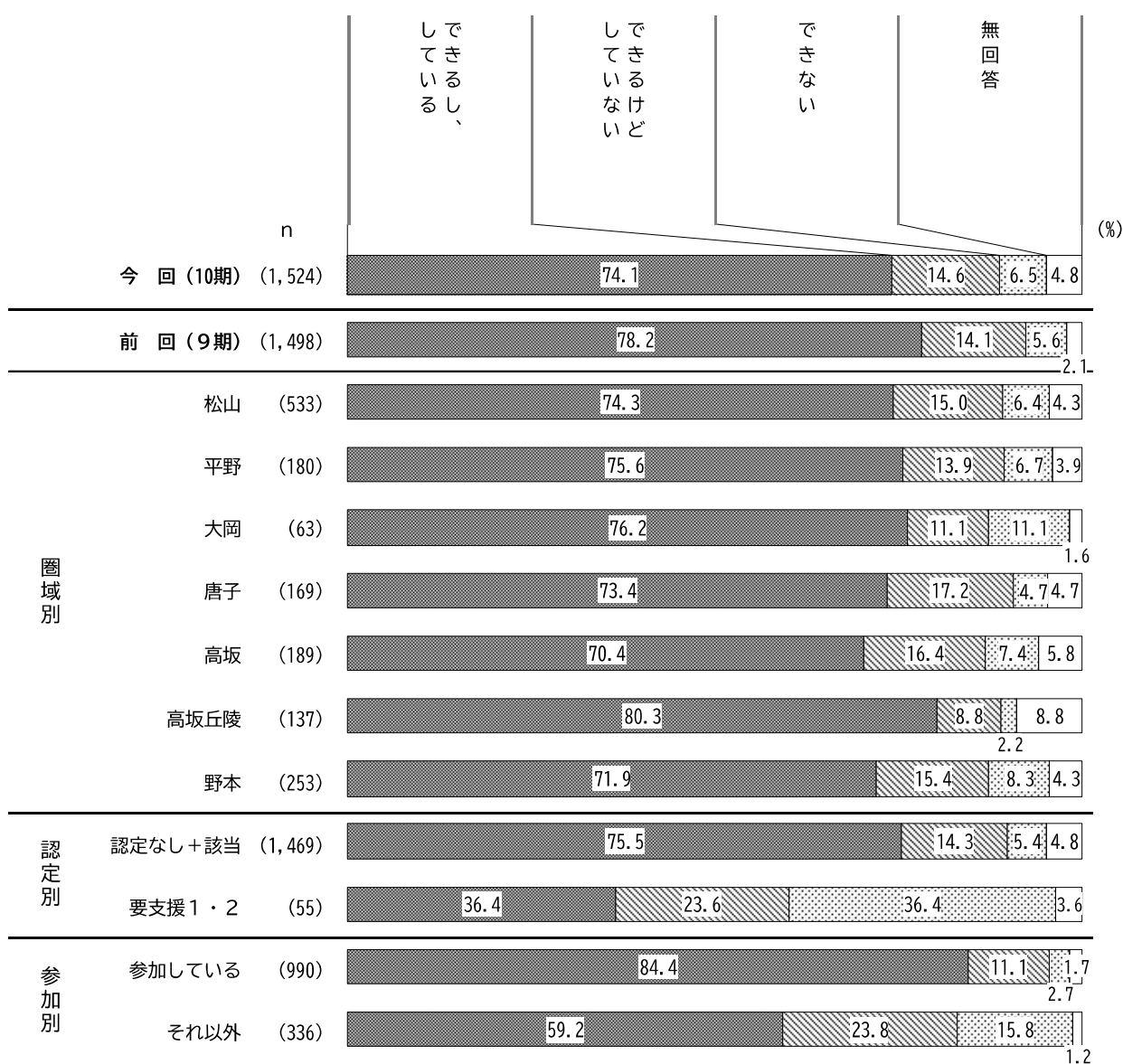
(4) バスや電車を使う1人での外出について

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出すること(自家用車でも可)については、「できるし、している」が74.1%、「できるけどしていない」が14.6%、「できない」が6.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-4 バスや電車を使う1人での外出について
全体/前回比較/圏域別/認定状況別/地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

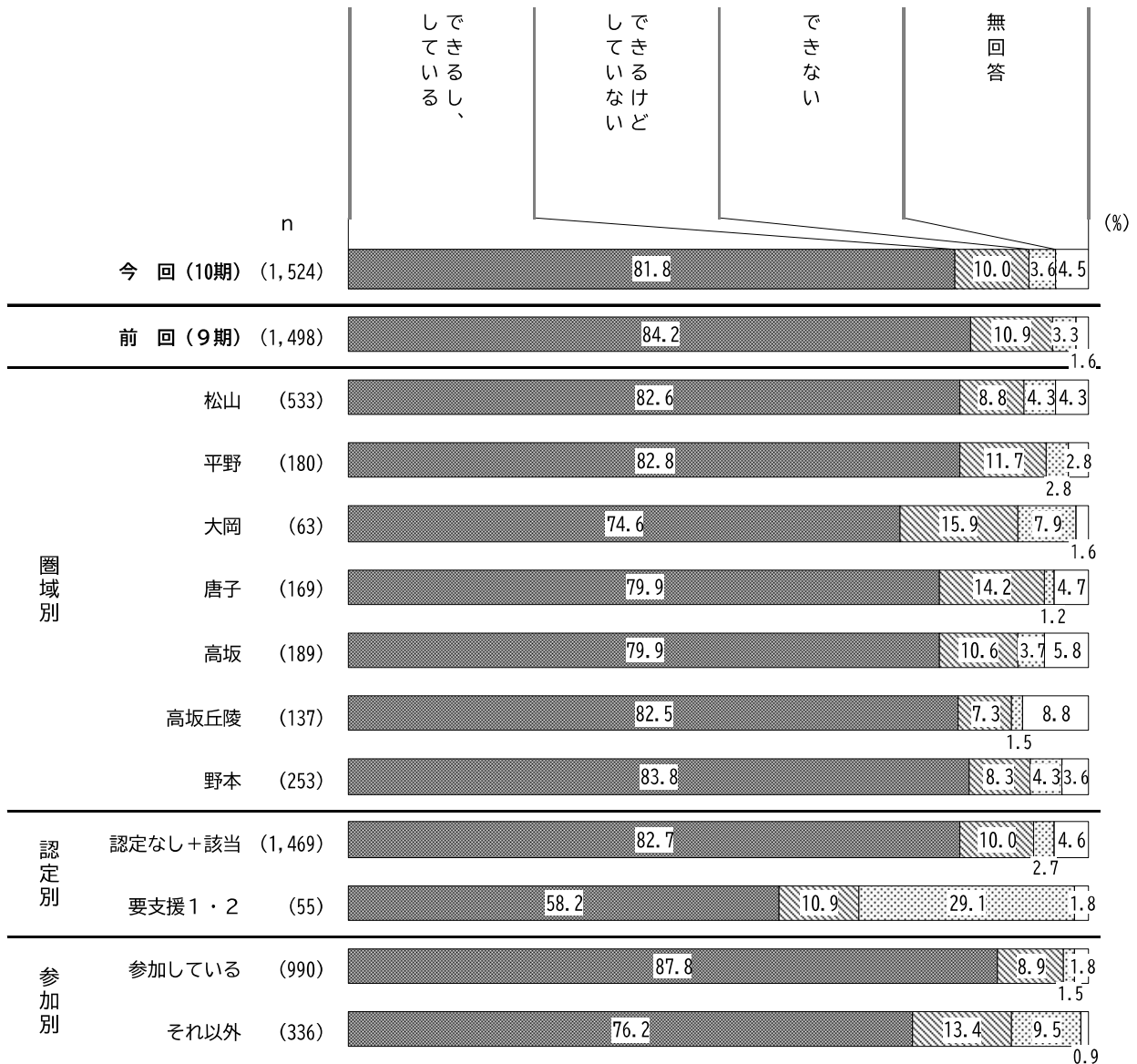
(5) 買い物について

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

自分で食品・日用品の買物をするということについては、「できるし、している」が81.8%、「できるけどしていない」が10.0%、「できない」が3.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-5 買い物について 全体／前回比較／圏域別／認定状況別／地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

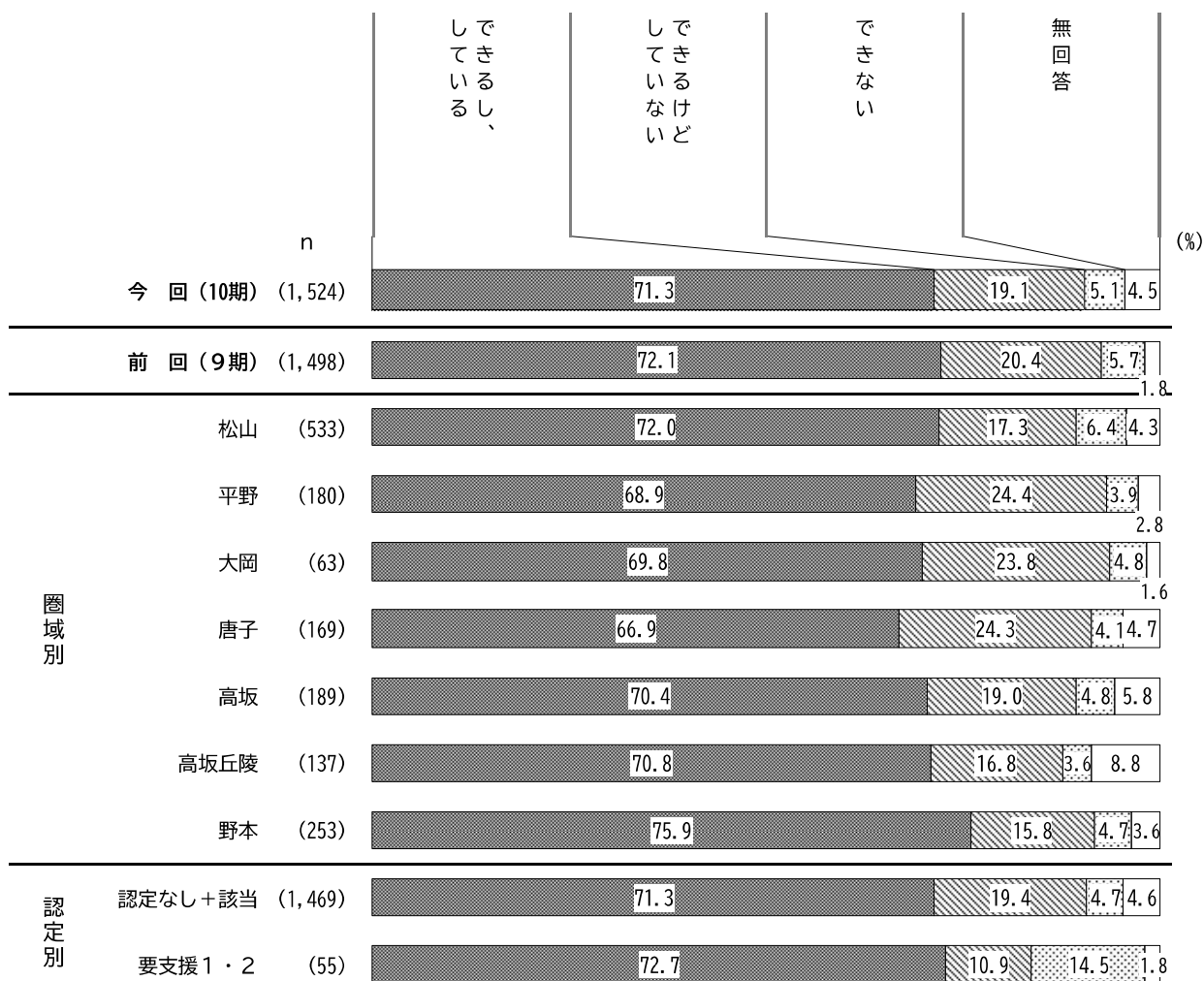
(6) 食事の用意について

問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

自分で食事の用意をすることについては、「できるし、している」が71.3%、「できるけどしていない」が19.1%、「できない」が5.1%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-6 食事の用意について 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



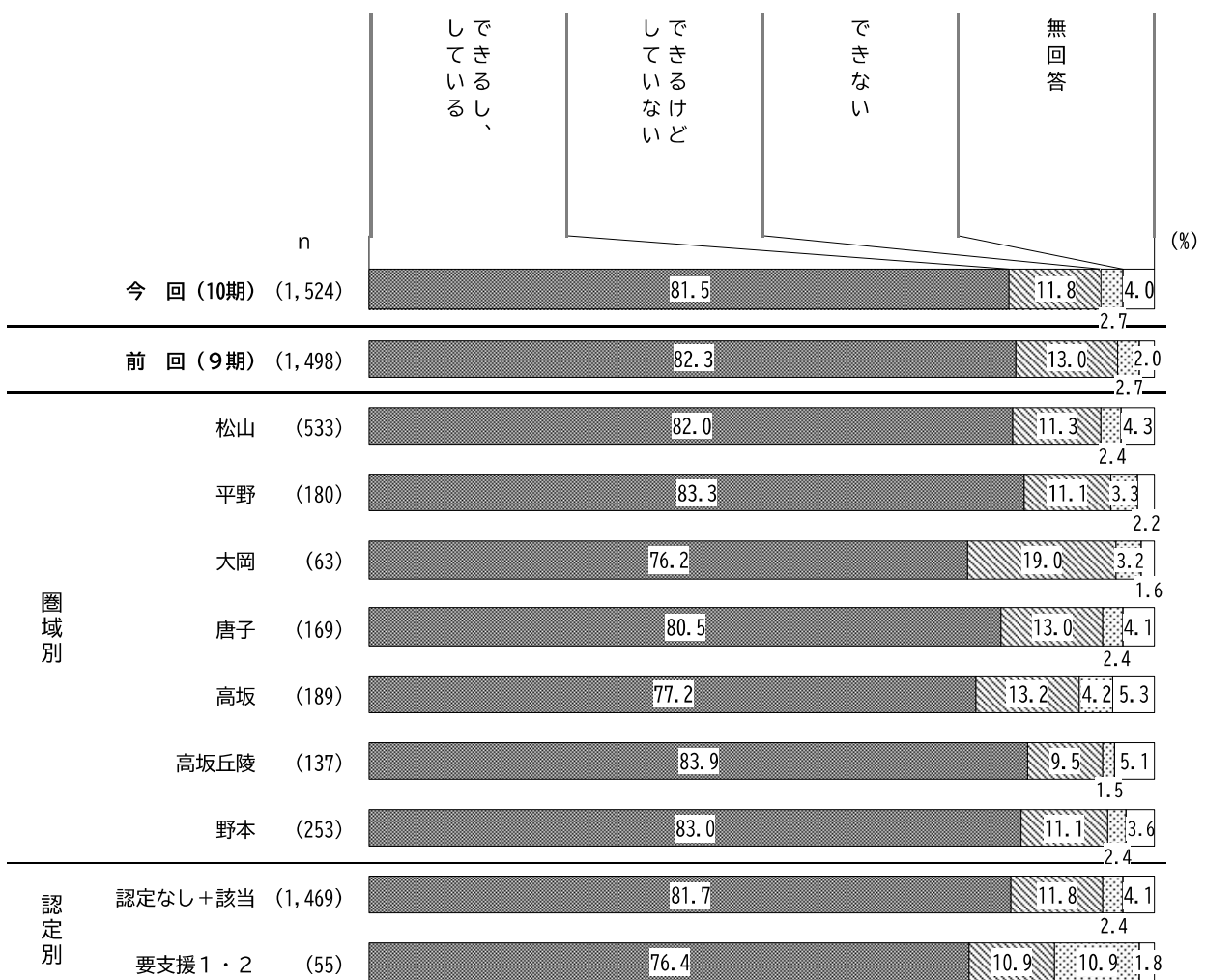
(7) 請求書支払いについて

問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

自分で請求書の支払いすることについては、「できるし、している」が81.5%、「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が2.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-7 請求書支払いについて 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



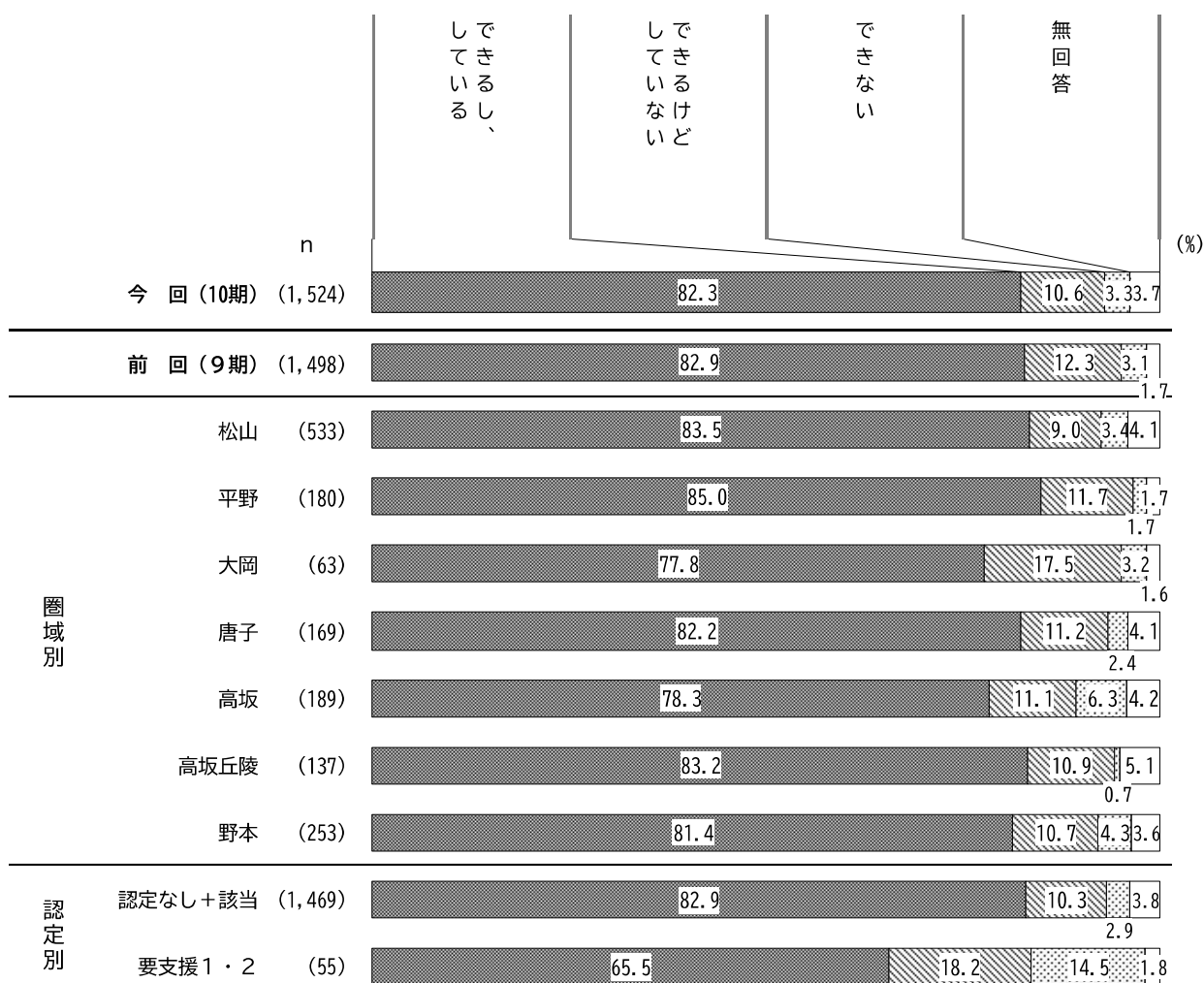
(8) 自分の貯金の出し入れについて

問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れをすることについては、「できるし、している」が82.3%、「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が3.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-8 自分の貯金の出し入れについて 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



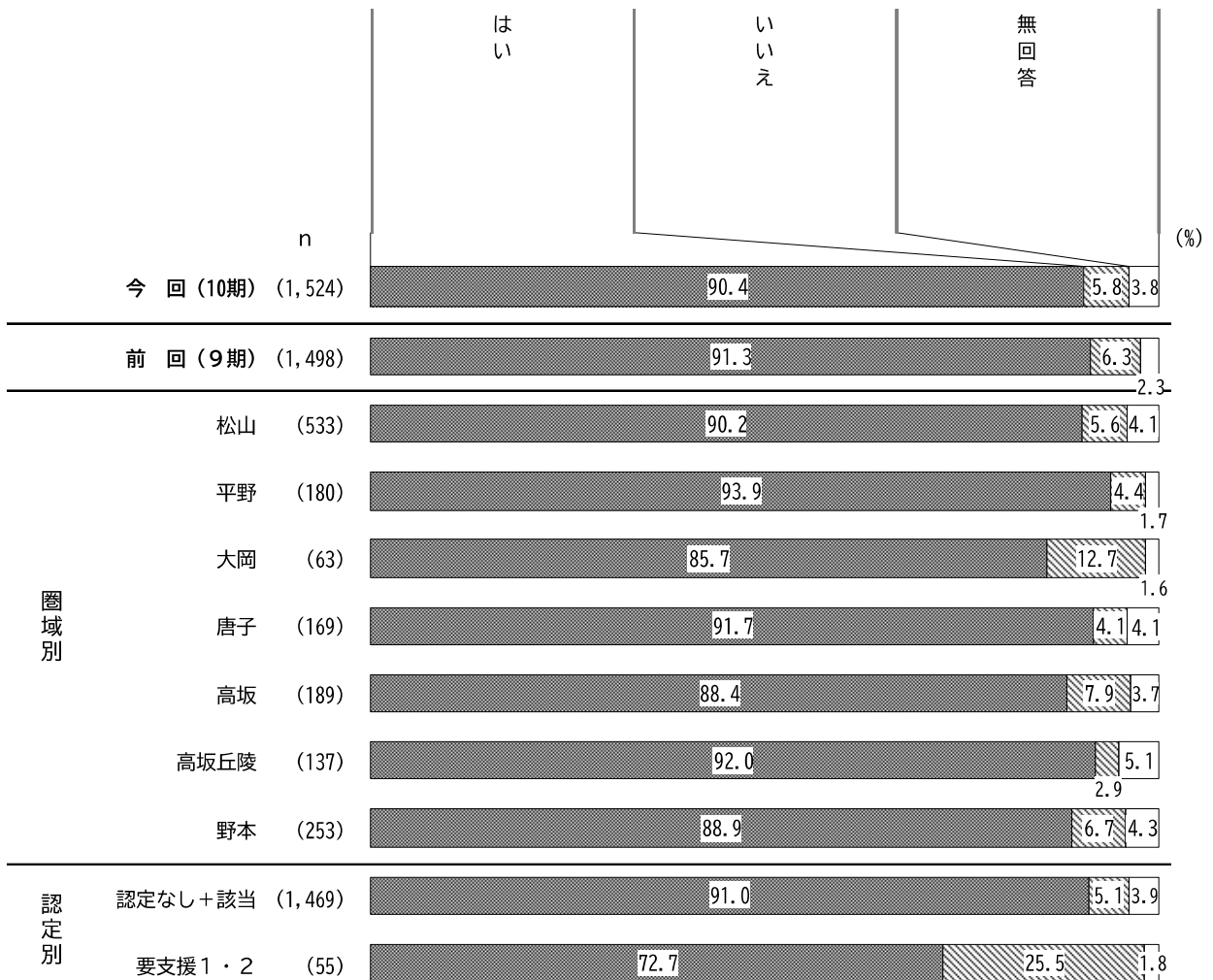
(9) 年金などの書類を記入すること

問4 (9) 年金などの書類(役所などに出す書類)が書けますか。(○は1つ)

年金などの書類(役所などに出す書類)が書けるかについては、「はい」が90.4%、「いいえ」が5.8%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-9 年金などの書類を記入すること 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

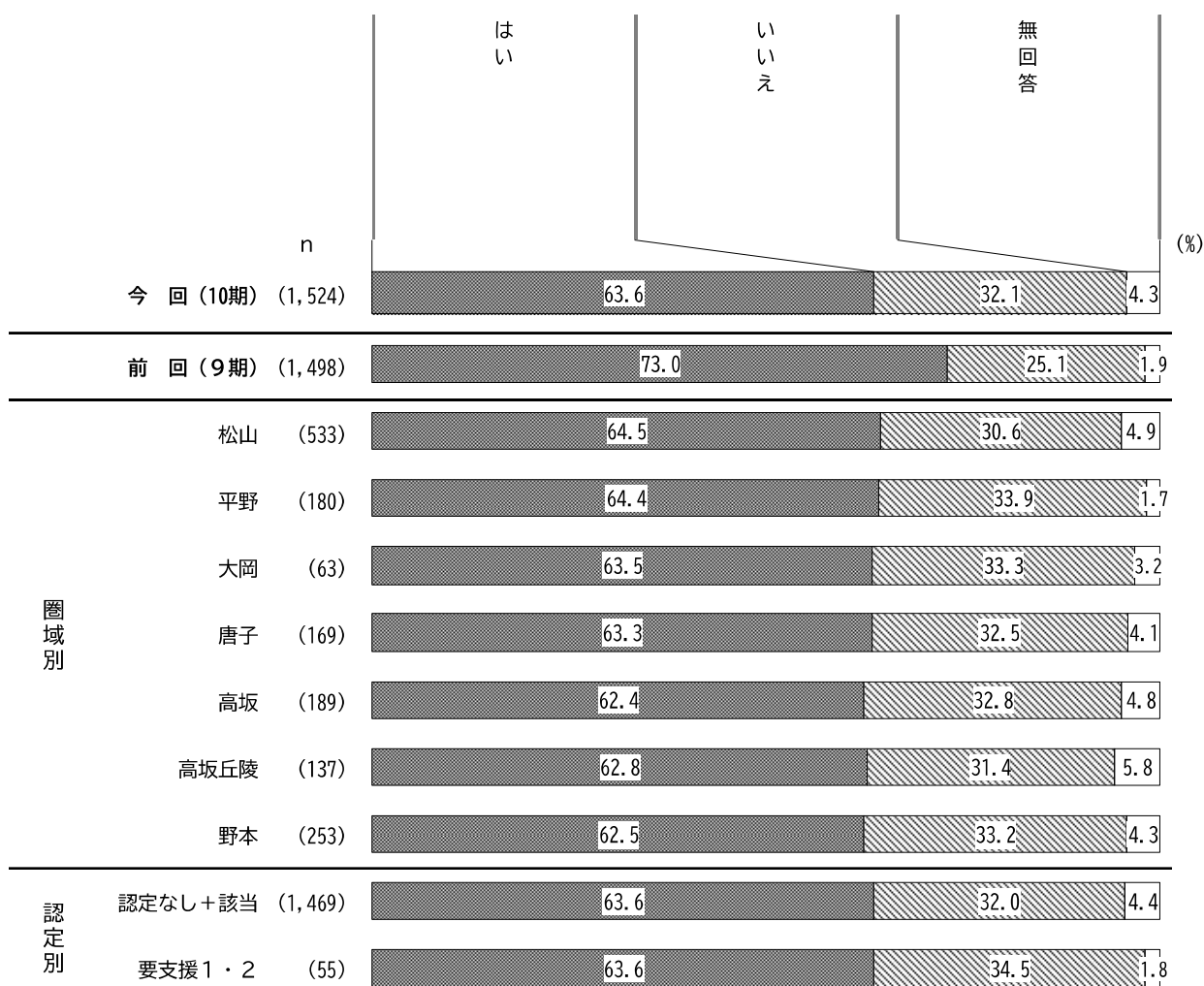


(10) 新聞を読むこと

問4 (10) 新聞を読んでいますか。(○は1つ)

新聞を読んでいるかについては、「はい」が63.6%、「いいえ」が32.1%となっている。
 前回調査と比較すると、「はい」が9.4ポイント低くなっている。

図表1-4-10 新聞を読むこと 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

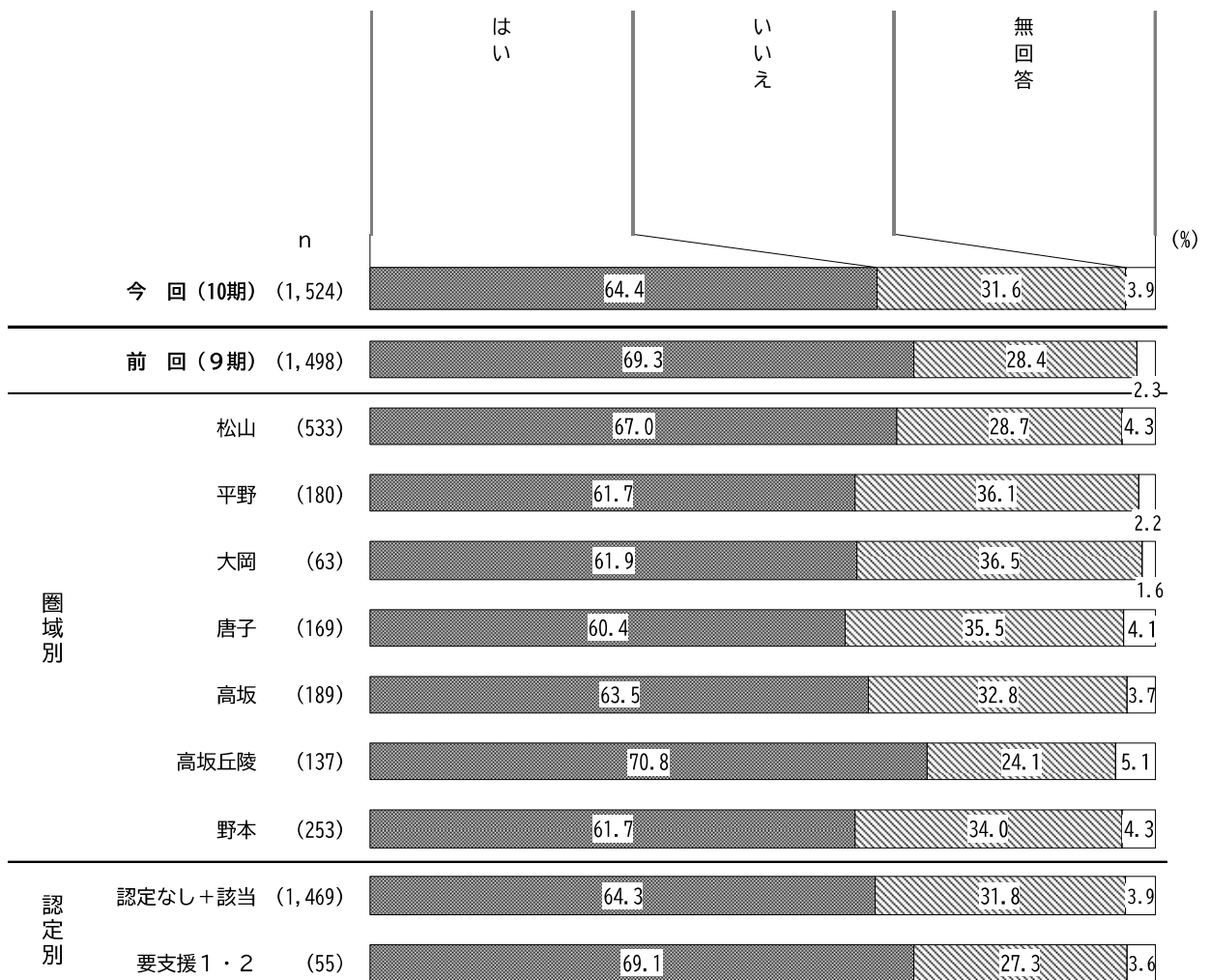


(11) 本や雑誌を読むこと

問4 (11) 本や雑誌を読んでいますか。(○は1つ)

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が64.4%、「いいえ」が31.6%となっている。
 前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-11 本や雑誌を読むこと 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

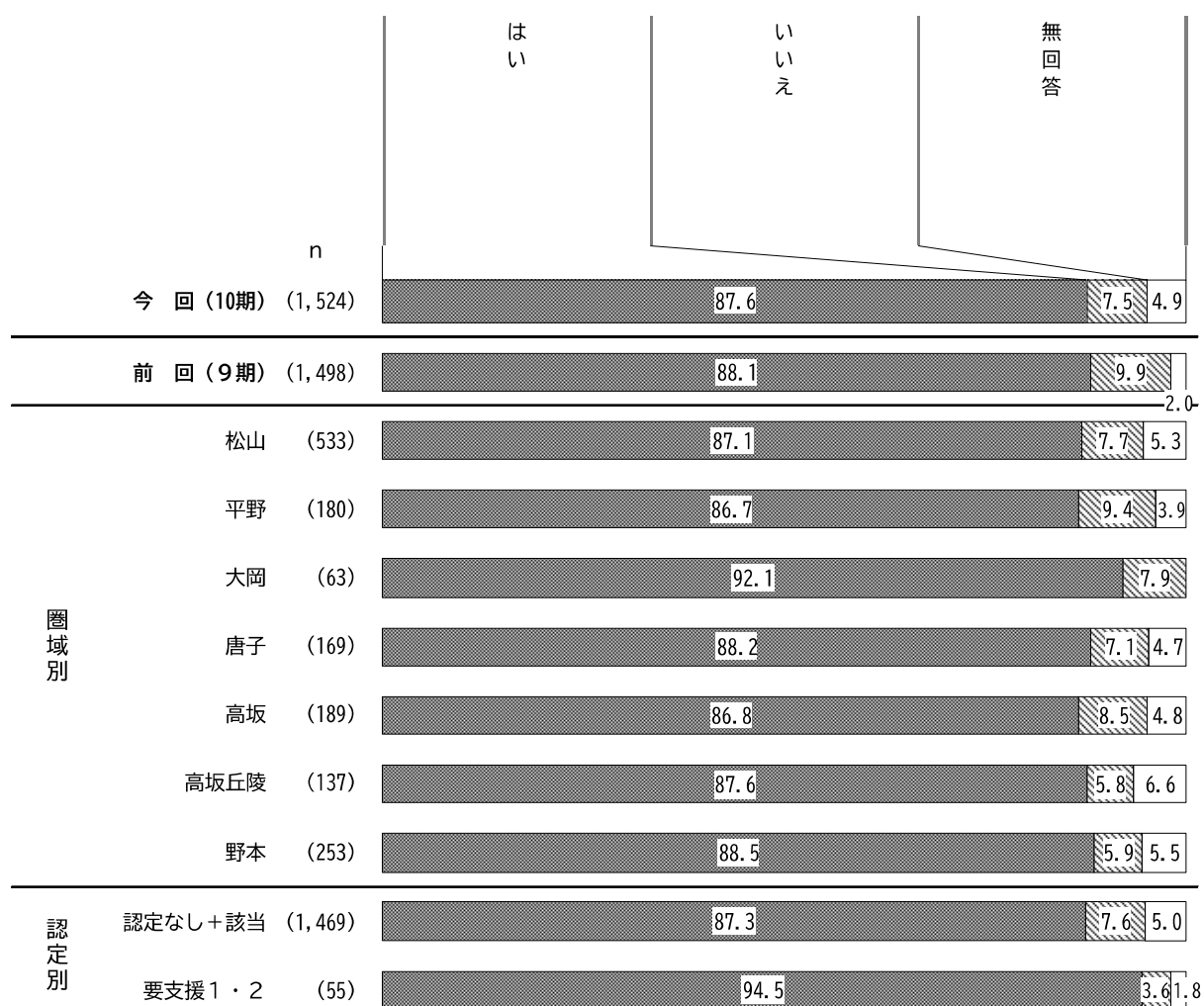
(12) 健康についての記事や番組への関心

問4 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が87.6%、「いいえ」が7.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-12 健康についての記事や番組への関心 全体／前回比較／圏域別／認定状況別

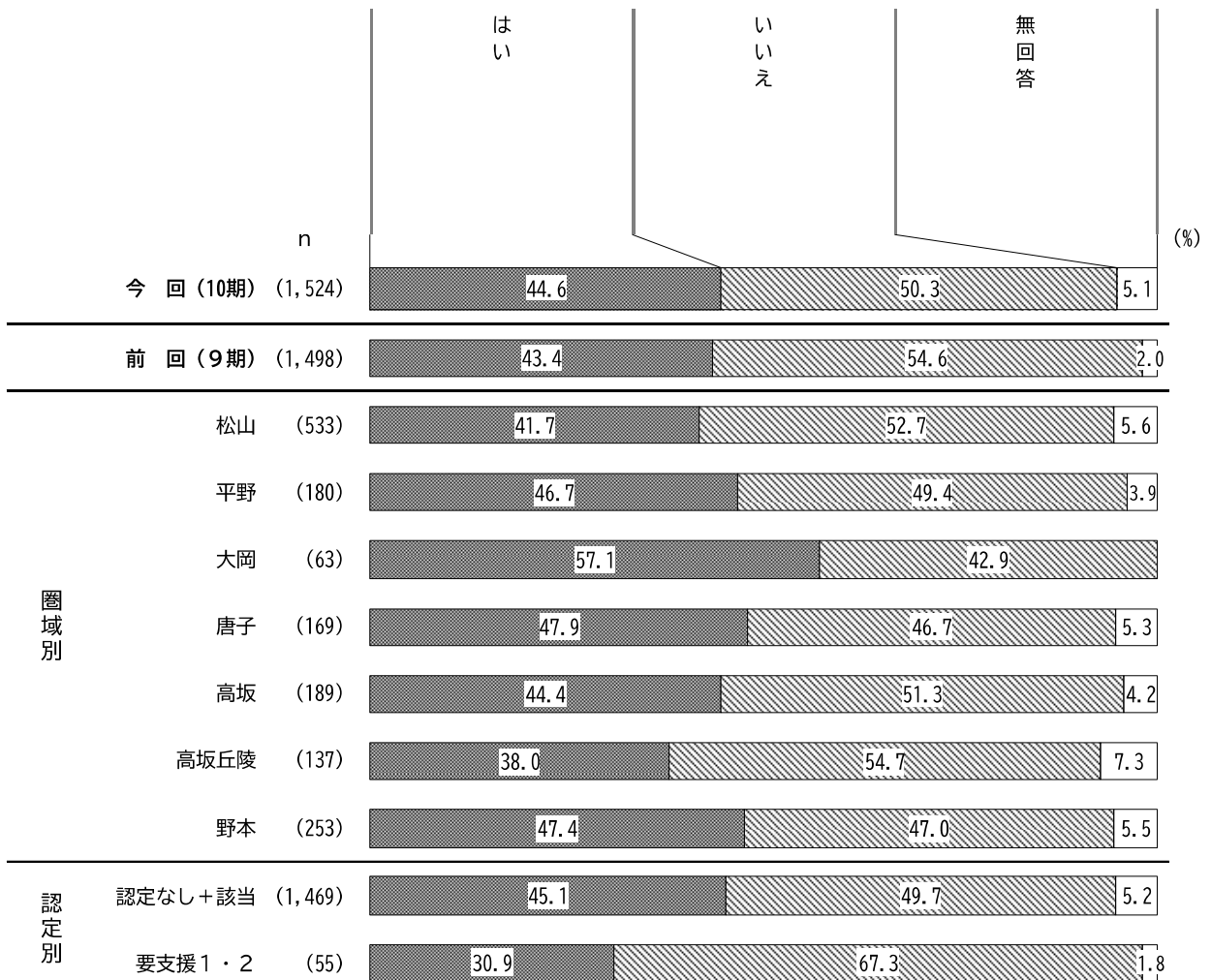


(13) 友人の家を訪問すること

問4 (13) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が44.6%、「いいえ」が50.3%となっている。
 前回調査と比較すると、大きな差はみられない。
 圏域別にみると、「はい」では大岡地区が全体より高くなっている。

図表1-4-13 友人の家を訪問すること 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

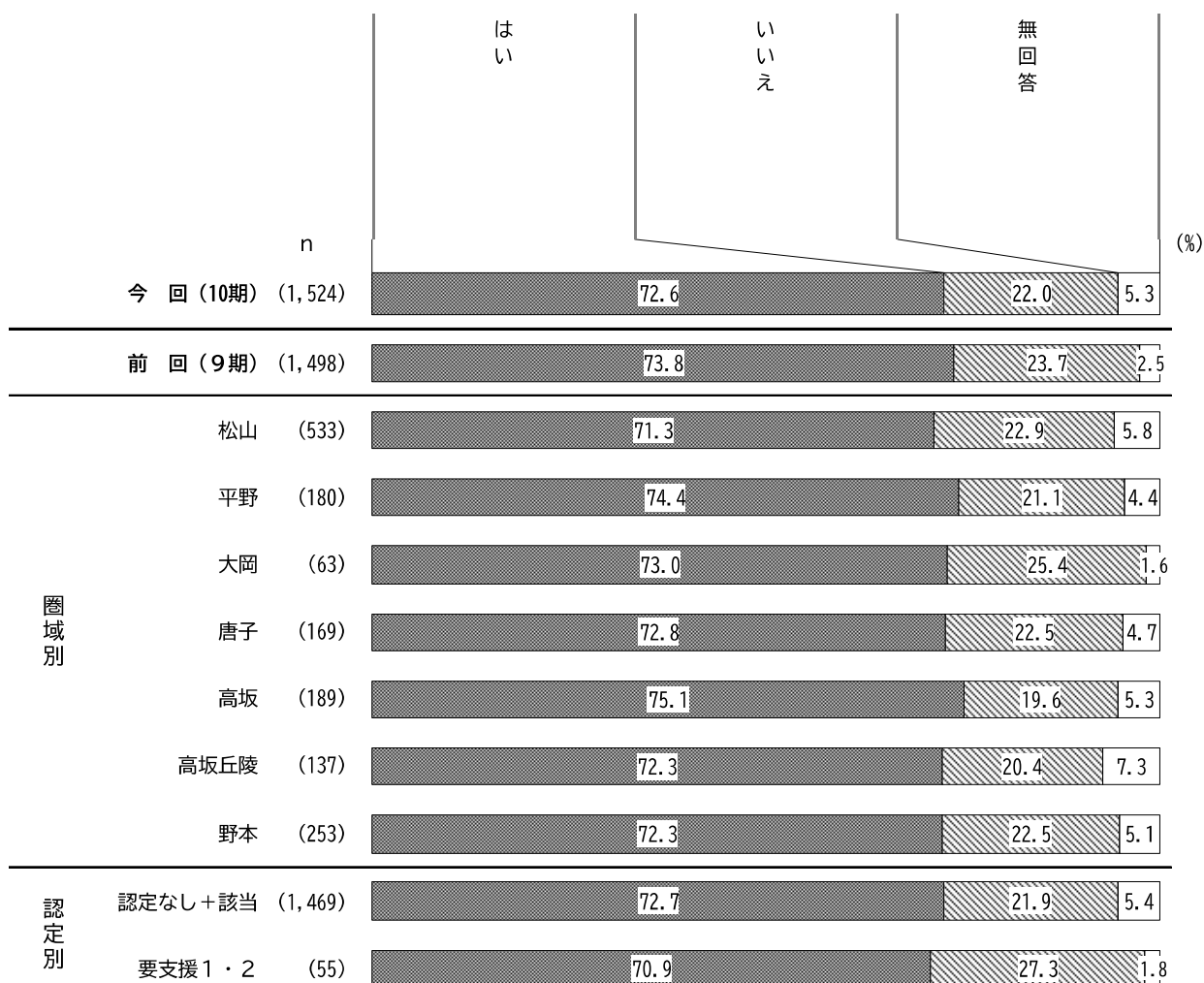
(14) 家族や友人の相談にのること

問4 (14) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が72.6%、「いいえ」が22.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-14 家族や友人の相談にのること 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

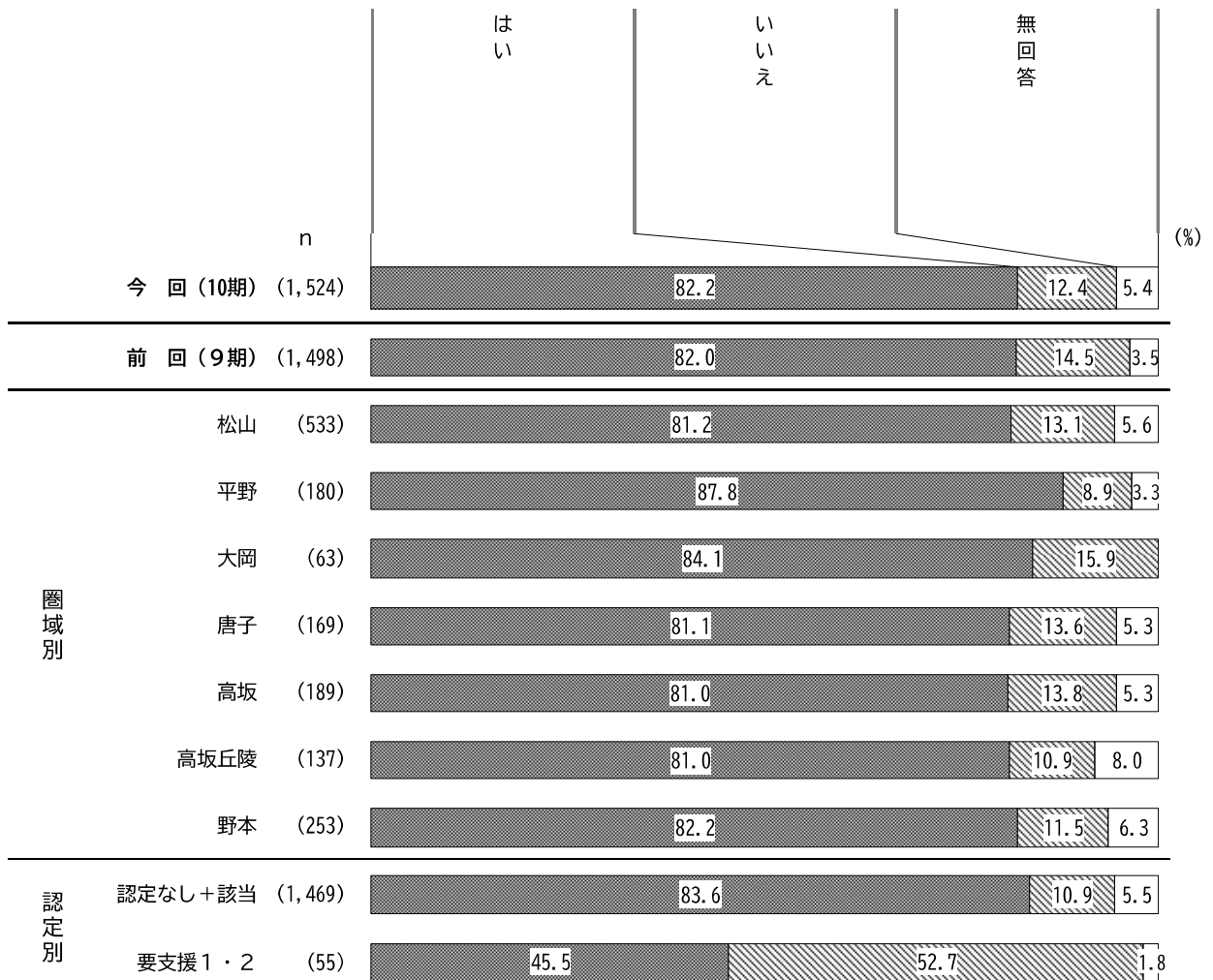


(15) 病人を見舞うこと

問4 (15) 病人を見舞うことができますか。(○は1つ)

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が82.2%、「いいえ」が12.4%となっている。前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-15 病人を見舞うこと 全体/前回比較/圏域別/認定状況別



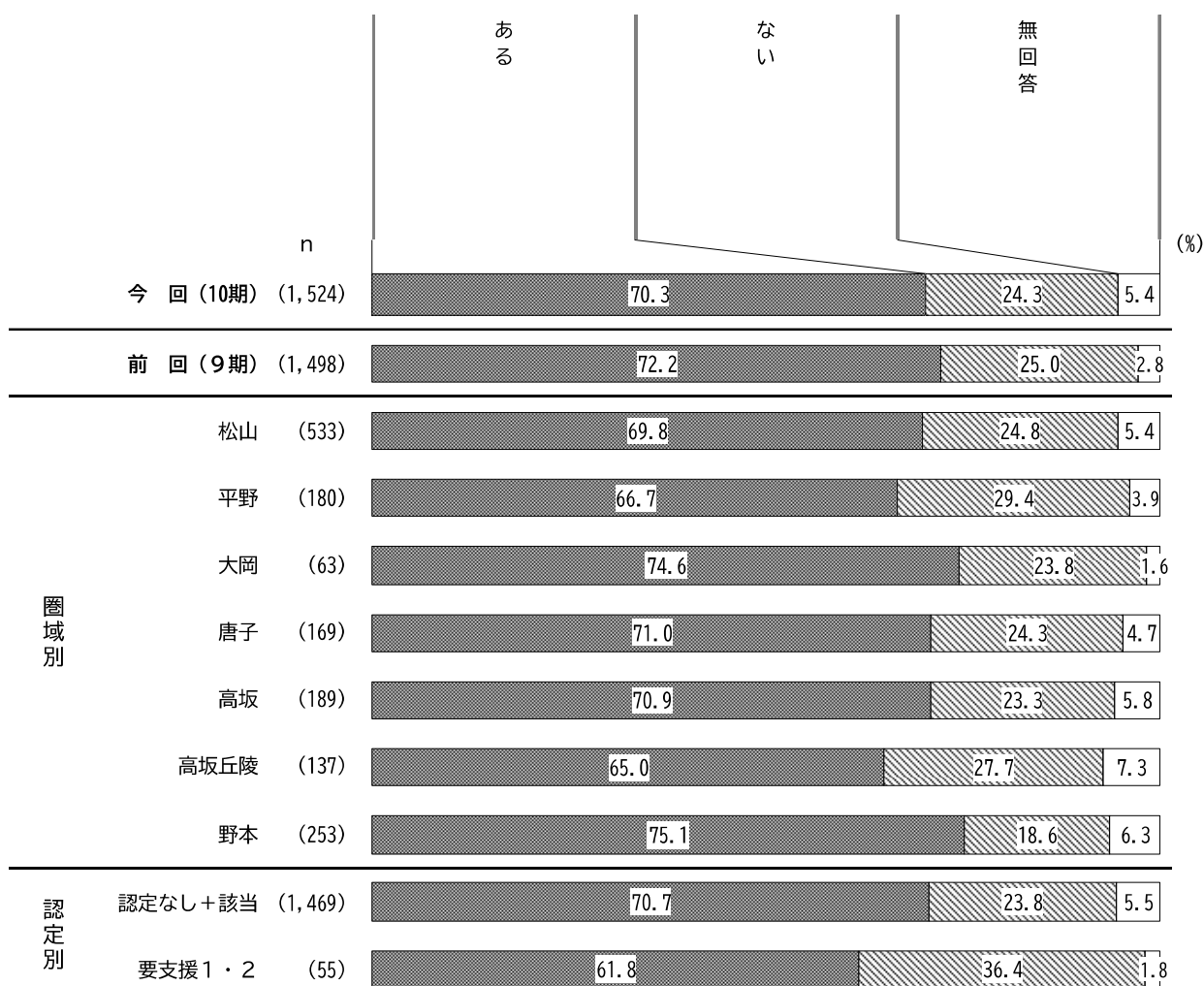
(16) 若い人に自分から話しかけること

問4 (16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(○は1つ)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が70.3%、「いいえ」が24.3%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-16 若い人に自分から話しかけること 全体/前回比較/圏域別/認定状況別

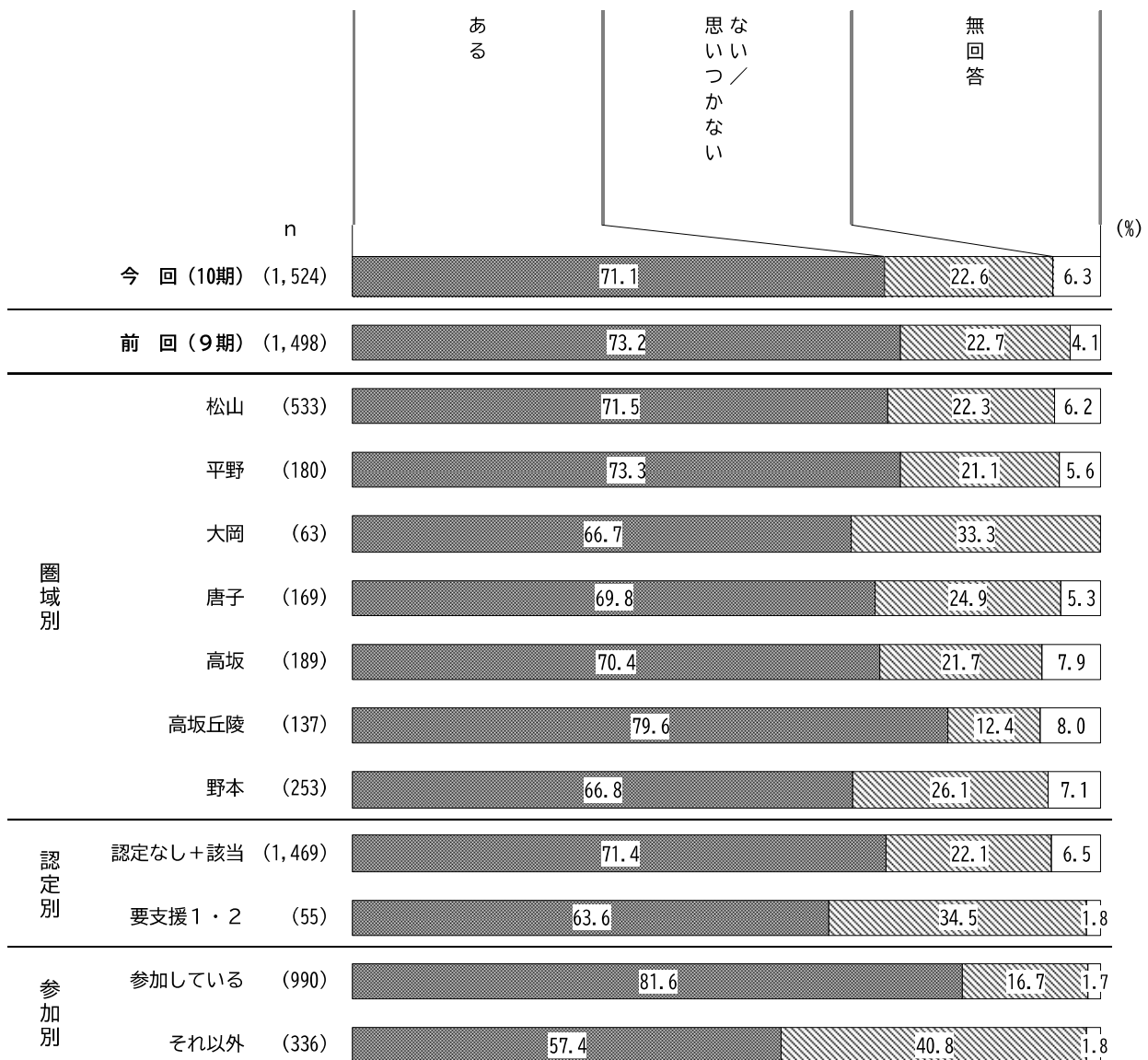


(17) 趣味の有無

問4 (17) 趣味はありますか。(○は1つ)

趣味については、「ある」が71.1%、「ない／思いつかない」が22.6%となっている。趣味があると回答した人の回答の多かった内容は、「スポーツ（ゴルフ、ジョギング、運動全般）」、「園芸（ガーデニング、盆栽、農作業等）等」、「音楽（音楽演奏、カラオケ、合唱等）」の順であった。前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-17 趣味の有無 全体／前回比較／圏域別／認定状況別／地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-4-18 趣味の内容

回答者数=1,048件

区分	件数	区分	件数
スポーツ（ゴルフ、ジョギング、運動全般）	317	機械類（パソコン、カメラ、無線等）	40
園芸（ガーデニング、盆栽、農作業等）等	210	芸道（茶道、生け花、書道等）	33
音楽（音楽演奏、カラオケ、合唱等）	131	仕事、学習、語学、株、投資等	29
手芸、工作、模型、DIY等	125	家事（料理、掃除、洗濯等）	28
鑑賞（テレビ、映画、演劇、スポーツ観戦等）	117	舞踊（ダンス、日本舞踊等）	23
読書	114	ギャンブル（パチンコ、競馬等）	15
行楽・散策（旅行、温泉、散歩、山登り等）	104	動物・ペット	13
ゲーム（将棋、囲碁、麻雀、パズル、クイズ等）	72	ボランティア、地域活動	7
車、バイク、自転車	52	食事、グルメ、食べ歩き	5
文芸（絵画、絵手紙、俳句等）	46	その他	13

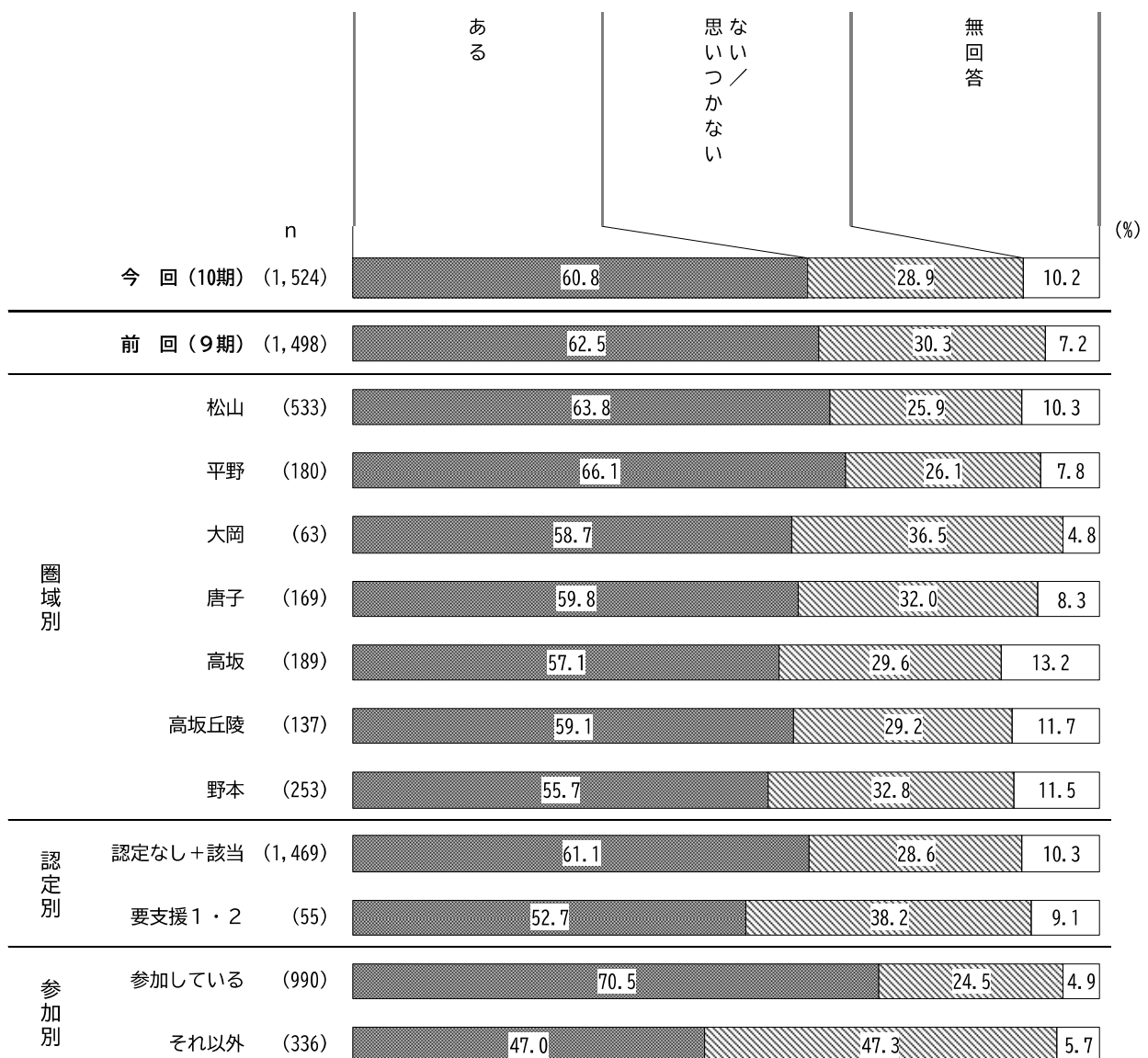
(18) 生きがいの有無

問4 (18) 生きがいはありますか。(〇は1つ)

生きがいについては、「ある」が60.8%、「ない/思いつかない」が28.9%となっている。生きがいがあると回答した人の回答の多かった内容は、「家庭・家族(ペット含む)」、「趣味」、「家事・農作業・園芸」の順であった。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-4-19 生きがいの有無 全体/前回比較/圏域別/認定状況別/地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-4-20 生きがいの内容

回答者数=849件

区分	件数	区分	件数
家庭・家族（ペット含む）	318	日々の充実・楽しく生きる	48
趣味	173	食事	43
家事・農作業・園芸	90	他者への貢献・地域活動・ボランティア	38
仕事・投資・政治・社会動向への関心	81	創作・制作・執筆・発表	24
健康・元気・長生き	76	学び・自己研鑽	9
運動・体を動かすこと	57	その他	18
友人と過ごす時間	50		

(19) デジタル機器の使用状況

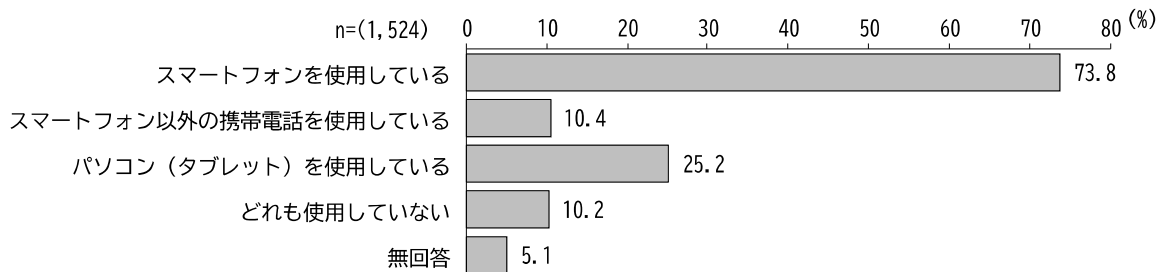
問4 (19) あなたは普段、スマートフォンなどのデジタル機器を使用していますか。
(○はいくつでも)

デジタル機器の使用状況は、「スマートフォンを使用している」が73.8%、「スマートフォン以外の携帯電話を使用している」が10.4%、「パソコン(タブレット)を使用している」が25.2%、「どれも使用していない」が10.2%となっている。

圏域別にみると、「スマートフォンを使用している」・「パソコン(タブレット)を使用している」では高坂丘陵、「どれも使用していない」では大岡・野本が全体より高くなっている。

性別にみると、「パソコン(タブレット)を使用している」では男性が全体より高くなっている。

図表1-4-21 デジタル機器の使用状況(複数回答) 全体



図表1-4-22 デジタル機器の使用状況(複数回答) 圏域別/性別/認定状況別 (%)

		n	スマートフォンを使用している	スマートフォン以外の携帯電話を使用している	パソコン(タブレット)を使用している	どれも使用していない	無回答
今回(10期)		1,524	73.8	10.4	25.2	10.2	5.1
圏域別	松山	533	73.9	11.3	25.3	8.4	5.3
	平野	180	76.1	9.4	25.0	11.1	3.3
	大岡	63	74.6	9.5	14.3	15.9	1.6
	唐子	169	69.8	12.4	26.6	9.5	5.9
	高坂	189	74.1	10.1	20.6	11.6	4.8
	高坂丘陵	137	85.4	3.6	39.4	3.6	6.6
	野本	253	67.6	11.9	22.5	15.0	5.9
性別	男性	733	72.6	11.3	35.7	9.4	5.3
	女性	791	74.8	9.5	15.4	11.0	4.9
認定別	認定なし+該当	1,469	74.5	10.2	25.6	9.7	5.2
	要支援1・2	55	54.5	14.5	14.5	25.5	1.8

5. 地域での活動について

(1) 会・グループへの参加頻度

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①～⑧それぞれに回答してください。(○は1つずつ)

会・グループへの〈参加率〉(=100%－「参加していない」－無回答)は、「町内会・自治会」が29.5%で最も多く、次いで「趣味関係のグループ」が25.6%、「収入のある仕事」が24.8%となっている。

前回調査と比較すると、参加率について「介護予防のための通いの場（ハッピー体操など）」が5.7ポイント高くなっている。

図表1-5-1 会・グループへの参加頻度 全体／前回比較

	n	参加頻度 (%)							参加率 (%)	
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	今回(10期)〈参加率〉	前回(9期)〈参加率〉
①ボランティアのグループ	1,524	1.4	0.9	1.6	3.6	3.9	58.9	29.8	11.3	10.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	1,524	2.5	6.6	5.1	4.6	2.7	52.6	25.9	21.5	22.5
③趣味関係のグループ	1,524	1.7	3.1	4.1	11.5	5.1	49.1	25.3	25.6	22.6
④学習・教養サークル	1,524	0.5	0.4	1.6	2.5	2.3	61.7	31.1	7.2	6.1
⑤介護予防のための通いの場、サロン	1,524	0.5	2.0	2.0	6.0	1.4	60.4	27.6	12.0	6.3
⑥シニアクラブ	1,524	0.1	0.3	0.6	2.3	3.9	62.2	30.6	7.2	6.4
⑦町内会・自治会	1,524	0.3	0.4	0.7	5.6	22.6	43.6	26.9	29.5	26.6
⑧収入のある仕事	1,524	11.6	8.7	1.6	1.2	1.6	47.9	27.3	24.8	23.8

図表1-5-2 会・グループへの参加頻度①ボランティアのグループ 前回比較/圏域別/認定状況別

			(%)						
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	1.4	0.9	1.6	3.6	3.9	58.9	29.8
前回(9期)		1,498	0.7	0.6	1.3	3.4	4.1	52.7	37.2
圏域別	松山	533	0.9	0.9	1.9	2.8	3.8	58.5	31.1
	平野	180	0.6	1.7	0.6	5.0	3.3	66.7	22.2
	大岡	63	-	-	1.6	7.9	6.3	41.3	42.9
	唐子	169	0.6	0.6	3.0	4.7	4.1	58.0	29.0
	高坂	189	2.1	0.5	0.5	2.6	5.3	58.2	30.7
	高坂丘陵	137	2.2	0.7	1.5	5.1	2.2	62.0	26.3
	野本	253	2.8	0.8	1.6	2.4	3.6	58.1	30.8
認定別	認定なし+該当	1,469	1.3	0.8	1.6	3.6	4.0	59.2	29.4
	要支援1・2	55	3.6	1.8	-	3.6	-	50.9	40.0

図表1-5-3 会・グループへの参加頻度②スポーツ関係のグループやクラブ 前回比較/圏域別/認定状況別

			(%)						
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	2.5	6.6	5.1	4.6	2.7	52.6	25.9
前回(9期)		1,498	2.6	7.2	4.8	4.7	3.1	45.6	31.9
圏域別	松山	533	2.3	8.6	4.3	4.5	2.6	51.2	26.5
	平野	180	1.1	4.4	3.3	5.6	3.9	61.7	20.0
	大岡	63	6.3	4.8	11.1	3.2	1.6	33.3	39.7
	唐子	169	1.8	8.3	5.3	4.7	2.4	52.7	24.9
	高坂	189	4.8	3.7	5.8	4.8	0.5	51.9	28.6
	高坂丘陵	137	4.4	5.8	2.9	3.6	4.4	58.4	20.4
	野本	253	0.8	5.9	6.7	4.7	3.2	51.4	27.3
認定別	認定なし+該当	1,469	2.5	6.6	5.2	4.6	2.8	52.7	25.5
	要支援1・2	55	1.8	7.3	-	3.6	-	50.9	36.4

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-5-4 会・グループへの参加頻度③趣味関係のグループ 前回比較／圏域別／認定状況別

		(%)							
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	1.7	3.1	4.1	11.5	5.1	49.1	25.3
前回(9期)		1,498	0.7	3.7	3.1	10.3	4.8	45.0	32.4
圏域別	松山	533	2.3	2.4	4.9	11.6	3.8	48.2	26.8
	平野	180	1.7	2.2	5.0	11.1	5.6	55.6	18.9
	大岡	63	1.6	7.9	6.3	11.1	1.6	41.3	30.2
	唐子	169	1.2	4.1	1.8	8.9	4.7	52.1	27.2
	高坂	189	1.1	4.8	2.6	10.6	6.3	46.6	28.0
	高坂丘陵	137	2.2	2.9	5.1	17.5	8.0	48.2	16.1
	野本	253	1.2	2.4	3.6	10.7	6.3	48.6	27.3
認定別	認定なし+該当	1,469	1.5	3.3	4.2	11.6	5.2	49.1	25.1
	要支援1・2	55	7.3	-	1.8	7.3	1.8	49.1	32.7

図表 1-5-5 会・グループへの参加頻度④学習・教養サークル 前回比較／圏域別／認定状況別

		(%)							
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	0.5	0.4	1.6	2.5	2.3	61.7	31.1
前回(9期)		1,498	0.1	0.3	1.4	2.2	2.1	55.3	38.6
圏域別	松山	533	1.1	0.4	1.9	2.3	2.4	60.2	31.7
	平野	180	-	1.7	0.6	2.2	3.3	67.8	24.4
	大岡	63	-	-	1.6	-	6.3	46.0	46.0
	唐子	169	-	-	1.2	0.6	0.6	63.9	33.7
	高坂	189	-	0.5	2.6	4.8	1.6	59.3	31.2
	高坂丘陵	137	-	-	1.5	4.4	2.2	66.4	25.5
	野本	253	0.4	-	1.2	2.4	2.0	62.1	32.0
認定別	認定なし+該当	1,469	0.3	0.4	1.6	2.5	2.3	62.2	30.7
	要支援1・2	55	3.6	-	1.8	1.8	1.8	49.1	41.8

図表1-5-6 会・グループへの参加頻度⑤介護予防のための通いの場、サロン
前回比較／圏域別／認定状況別

			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
		n							
今回(10期)		1,524	0.5	2.0	2.0	6.0	1.4	60.4	27.6
前回(9期)		1,498	0.3	1.3	0.9	2.5	1.3	56.7	37.0
圏域別	松山	533	0.6	2.4	2.1	5.1	2.1	59.7	28.1
	平野	180	-	2.2	1.7	3.3	-	71.1	21.7
	大岡	63	1.6	4.8	-	6.3	3.2	47.6	36.5
	唐子	169	-	1.2	1.8	5.3	0.6	60.9	30.2
	高坂	189	1.1	1.6	2.6	9.5	0.5	55.0	29.6
	高坂丘陵	137	1.5	1.5	0.7	6.6	3.6	61.3	24.8
	野本	253	-	1.6	3.2	7.5	0.8	60.5	26.5
認定別	認定なし+該当	1,469	0.3	1.6	1.8	6.1	1.5	61.1	27.5
	要支援1・2	55	5.5	12.7	7.3	3.6	-	41.8	29.1

図表1-5-7 会・グループへの参加頻度⑥シニアクラブ 前回比較／圏域別／認定状況別

			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
		n							
今回(10期)		1,524	0.1	0.3	0.6	2.3	3.9	62.2	30.6
前回(9期)		1,498	-	0.3	0.9	2.1	3.0	55.9	37.7
圏域別	松山	533	0.2	0.6	0.8	1.9	3.2	62.3	31.1
	平野	180	-	0.6	0.6	-	2.2	72.2	24.4
	大岡	63	1.6	-	-	6.3	11.1	41.3	39.7
	唐子	169	-	0.6	-	1.2	2.4	62.7	33.1
	高坂	189	-	-	0.5	3.7	4.8	58.7	32.3
	高坂丘陵	137	-	-	0.7	2.2	0.7	69.3	27.0
	野本	253	-	-	0.8	3.6	6.7	58.5	30.4
認定別	認定なし+該当	1,469	0.1	0.3	0.6	2.3	3.8	62.7	30.2
	要支援1・2	55	1.8	1.8	-	1.8	5.5	49.1	40.0

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-5-8 会・グループへの参加頻度⑦町内会・自治会 前回比較／圏域別／認定状況別

		(%)							
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	0.3	0.4	0.7	5.6	22.6	43.6	26.9
前回(9期)		1,498	0.3	0.7	0.6	4.3	20.8	39.0	34.4
圏域別	松山	533	0.6	0.6	0.4	4.9	16.1	48.8	28.7
	平野	180	-	0.6	-	5.6	26.7	45.6	21.7
	大岡	63	-	-	1.6	3.2	34.9	25.4	34.9
	唐子	169	-	-	1.2	6.5	27.8	36.7	27.8
	高坂	189	1.1	-	1.6	6.9	23.8	41.3	25.4
	高坂丘陵	137	-	0.7	-	8.0	21.2	46.7	23.4
	野本	253	-	0.4	0.8	4.7	26.5	40.3	27.3
認定別	認定なし+該当	1,469	0.3	0.4	0.7	5.7	22.9	43.6	26.4
	要支援1・2	55	1.8	-	-	1.8	12.7	43.6	40.0

図表1-5-9 会・グループへの参加頻度⑧収入のある仕事 前回比較／圏域別／認定状況別

		(%)							
		n	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
今回(10期)		1,524	11.6	8.7	1.6	1.2	1.6	47.9	27.3
前回(9期)		1,498	11.5	7.7	0.9	2.0	1.6	42.1	34.1
圏域別	松山	533	12.0	8.4	1.3	0.9	1.3	48.8	27.2
	平野	180	13.3	8.9	2.2	-	1.7	53.3	20.6
	大岡	63	4.8	9.5	3.2	4.8	-	36.5	41.3
	唐子	169	14.2	10.1	-	-	1.2	46.7	27.8
	高坂	189	11.1	7.9	2.1	1.1	2.1	48.7	27.0
	高坂丘陵	137	6.6	8.0	4.4	2.2	2.9	51.1	24.8
	野本	253	12.6	9.1	0.8	2.4	1.6	43.5	30.0
認定別	認定なし+該当	1,469	12.0	9.1	1.7	1.3	1.6	47.6	26.7
	要支援1・2	55	-	-	-	-	-	56.4	43.6

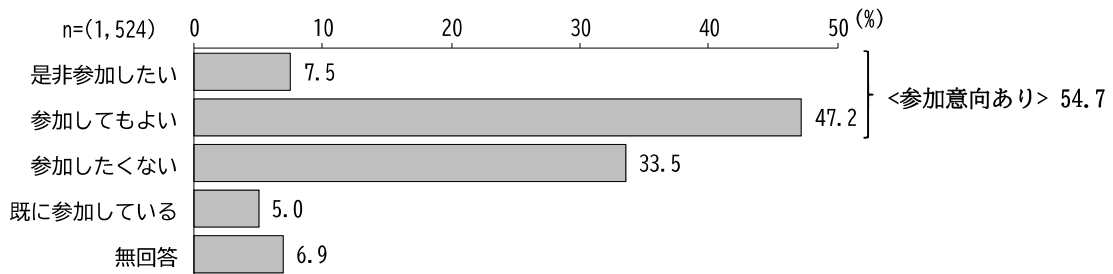
(2) 地域住民の有志によるグループ活動で参加者としての参加意欲

問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域住民の有志によるグループ活動への参加意欲は、「参加してもよい」が47.2%で最も多く、「是非参加したい」7.5%と合わせると合計が54.7%となっている。また「参加したくない」は33.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-5-10 地域住民の有志によるグループ活動で参加者としての参加意欲 全体



図表1-5-11 地域住民の有志によるグループ活動で参加者としての参加意欲
前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
今回 (10期)		1,524	7.5	47.2	33.5	5.0	6.9
前回 (9期)		1,498	7.3	49.5	32.6	5.6	5.0
圏域別	松山	533	8.1	46.7	32.3	4.9	8.1
	平野	180	7.2	50.0	36.1	3.3	3.3
	大岡	63	9.5	50.8	28.6	9.5	1.6
	唐子	169	7.1	40.2	40.2	5.3	7.1
	高坂	189	7.9	45.0	36.0	4.2	6.9
	高坂丘陵	137	8.0	54.0	27.0	3.6	7.3
	野本	253	5.5	47.8	32.4	6.3	7.9
性別	男性	733	5.6	47.3	36.2	4.5	6.4
	女性	791	9.2	47.0	31.0	5.4	7.3
認定別	認定なし+該当	1,469	7.4	47.7	33.2	4.9	6.8
	要支援1・2	55	10.9	32.7	40.0	7.3	9.1

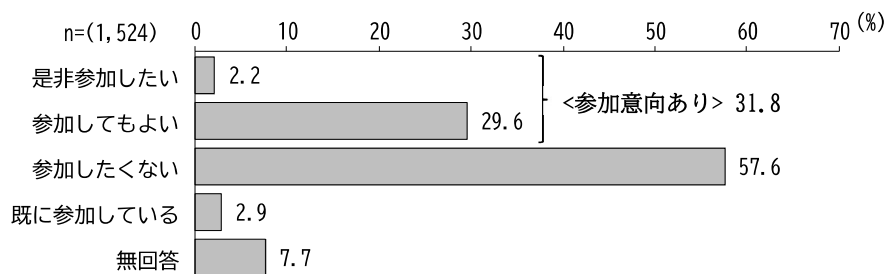
(3) 地域住民の有志によるグループ活動で企画・運営（お世話役）としての参加意欲

問5 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域住民の有志によるグループ活動における企画・運営(お世話役)としての参加意欲は、「是非参加したい」2.2%と「参加してもよい」29.6%の合計が31.8%となっている。また「参加したくない」は57.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-5-12 地域住民の有志によるグループ活動で企画・運営としての参加意欲 全体



図表1-5-13 地域住民の有志によるグループ活動で企画・運営としての参加意欲
前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
		n					
今回 (10期)		1,524	2.2	29.6	57.6	2.9	7.7
前回 (9期)		1,498	1.3	31.4	55.3	3.9	8.2
圏域別	松山	533	1.9	31.3	55.0	2.8	9.0
	平野	180	3.9	28.9	62.8	1.1	3.3
	大岡	63	4.8	34.9	47.6	4.8	7.9
	唐子	169	1.2	24.9	61.5	4.7	7.7
	高坂	189	2.1	29.1	60.3	1.6	6.9
	高坂丘陵	137	2.9	29.9	56.2	1.5	9.5
	野本	253	1.6	28.5	58.1	4.3	7.5
性別	男性	733	2.6	29.1	58.8	2.9	6.7
	女性	791	1.9	30.1	56.5	2.9	8.6
認定別	認定なし+該当	1,469	2.2	29.9	57.3	2.9	7.6
	要支援1・2	55	1.8	21.8	65.5	1.8	9.1

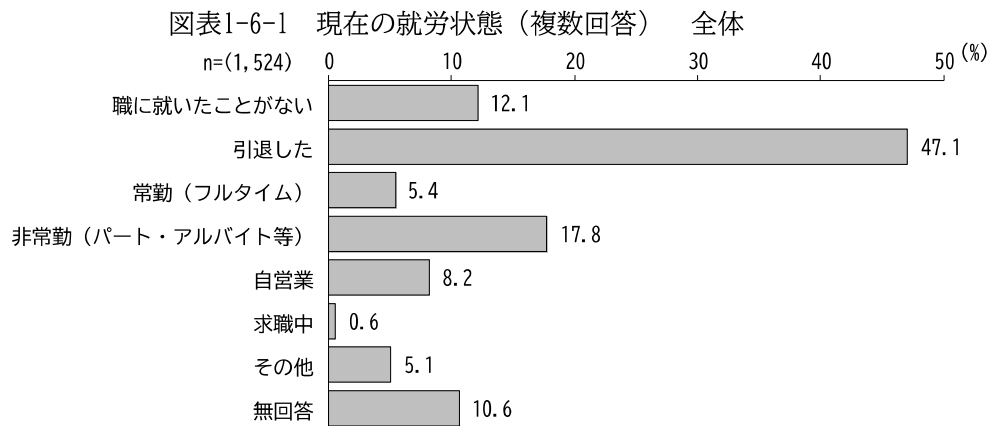
6. 就労について

(1) 現在の就労状態

問6(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(〇はいくつでも)

現在の就労状態は、「引退した」が47.1%で最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が17.8%、「職に就いたことがない」が12.1%となっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「常勤（フルタイム）」・「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が減少傾向にあり、「職に就いたことがない」・「引退した」の割合が増加傾向となっている。



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-6-2 現在の就労状態（複数回答） 圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別 (%)

		n	職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
今 回（10期）		1,524	12.1	47.1	5.4	17.8	8.2	0.6	5.1	10.6
圏域別	松山	533	12.4	46.9	4.9	17.6	9.2	-	4.3	11.8
	平野	180	13.3	51.1	5.6	20.6	2.8	-	5.6	7.8
	大岡	63	7.9	47.6	4.8	17.5	11.1	3.2	4.8	12.7
	唐子	169	11.8	43.2	6.5	20.7	4.1	3.0	5.3	8.9
	高坂	189	9.5	49.7	7.4	14.3	14.3	0.5	4.8	10.6
	高坂丘陵	137	13.1	51.8	3.6	16.8	2.9	-	8.0	10.2
	野本	253	13.0	42.7	5.5	17.4	10.3	0.4	5.1	11.1
年齢階級別	65～69歳	312	5.8	36.9	13.1	33.0	7.7	0.6	1.9	5.4
	70～74歳	403	10.4	47.4	5.5	22.8	8.4	0.7	6.0	4.7
	75～79歳	406	14.3	52.5	3.4	13.3	9.1	0.5	5.2	11.6
	80～84歳	233	14.2	49.8	1.7	6.9	8.2	0.4	7.3	18.5
	85歳以上	170	19.4	48.8	1.2	3.5	6.5	0.6	5.9	21.2
性別	男性	733	12.1	47.9	7.8	18.0	10.4	0.8	2.9	7.5
	女性	791	12.0	46.4	3.3	17.6	6.2	0.4	7.2	13.5
認定別	認定なし+該当	1,469	11.8	47.1	5.6	18.3	8.5	0.6	5.0	10.1
	要支援1・2	55	20.0	47.3	1.8	3.6	-	-	9.1	23.6

(2) 引退時期

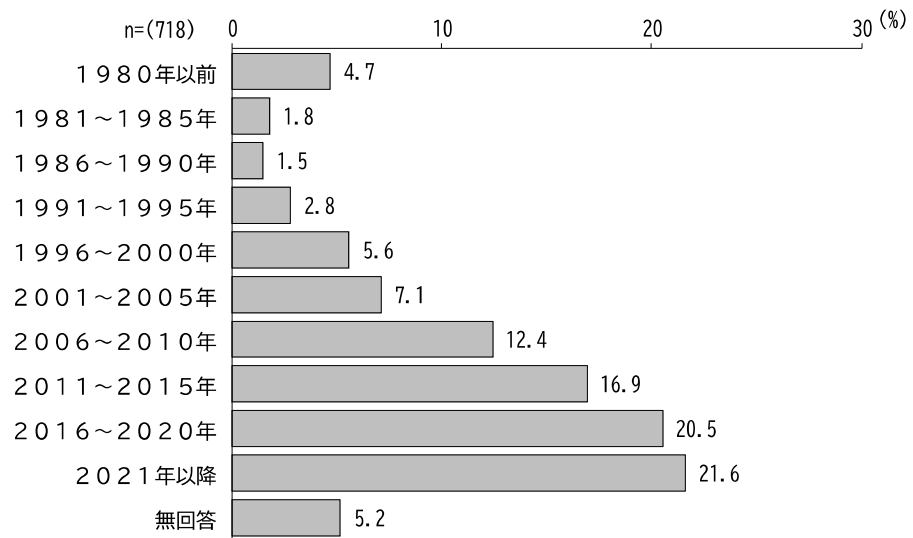
【問6(1)で「2」を選んだ方におうかがいします。】

問6(1)-① あなたはいつ仕事を引退しましたか。数字を右詰で記入ください。

現在の仕事を「引退した」と回答した人の引退時期は、「2021年以降」が21.6%で最も多く、次いで「2016～2020年」が20.5%、「2011～2015年」が16.9%となっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、引退時期が過去時点となっている。

図表1-6-3 引退時期 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-6-4 引退時期 圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

(%)

		n	1980年以前	1981～1985年	1986～1990年	1991～1995年	1996～2000年	2001～2005年	2006～2010年	2011～2015年	2016～2020年	2021年以降	無回答
今 回 (10期)		718	4.7	1.8	1.5	2.8	5.6	7.1	12.4	16.9	20.5	21.6	5.2
圏域別	松山	250	3.6	1.2	1.6	2.0	7.2	4.4	14.4	16.4	20.0	24.4	4.8
	平野	92	5.4	2.2	2.2	3.3	-	9.8	8.7	25.0	20.7	16.3	6.5
	大岡	30	3.3	3.3	-	6.7	3.3	3.3	3.3	16.7	26.7	33.3	-
	唐子	73	6.8	-	-	1.4	6.8	8.2	15.1	15.1	19.2	23.3	4.1
	高坂	94	6.4	2.1	3.2	2.1	10.6	9.6	9.6	13.8	17.0	19.1	6.4
	高坂丘陵	71	4.2	-	2.8	1.4	2.8	4.2	15.5	26.8	23.9	14.1	4.2
	野本	108	4.6	4.6	-	5.6	3.7	11.1	12.0	8.3	21.3	22.2	6.5
年齢階級別	65～69歳	115	1.7	2.6	-	0.9	0.9	5.2	2.6	6.1	30.4	46.1	3.5
	70～74歳	191	4.2	0.5	1.6	2.1	1.0	4.7	5.2	26.2	26.7	24.6	3.1
	75～79歳	213	3.8	1.4	1.4	0.9	5.6	3.8	24.4	20.7	17.8	16.0	4.2
	80～84歳	116	7.8	-	1.7	4.3	6.0	18.1	12.1	12.1	13.8	12.9	11.2
	85歳以上	83	8.4	7.2	3.6	9.6	21.7	8.4	12.0	7.2	8.4	7.2	6.0
性別	男性	351	0.9	0.6	0.9	1.7	4.3	7.4	12.3	20.5	22.8	25.4	3.4
	女性	367	8.4	3.0	2.2	3.8	6.8	6.8	12.5	13.4	18.3	18.0	6.8
認定別	認定なし+該当	692	4.6	1.6	1.4	2.7	5.2	7.1	12.6	17.2	20.8	21.7	5.1
	要支援1・2	26	7.7	7.7	3.8	3.8	15.4	7.7	7.7	7.7	11.5	19.2	7.7

(3) 働く理由

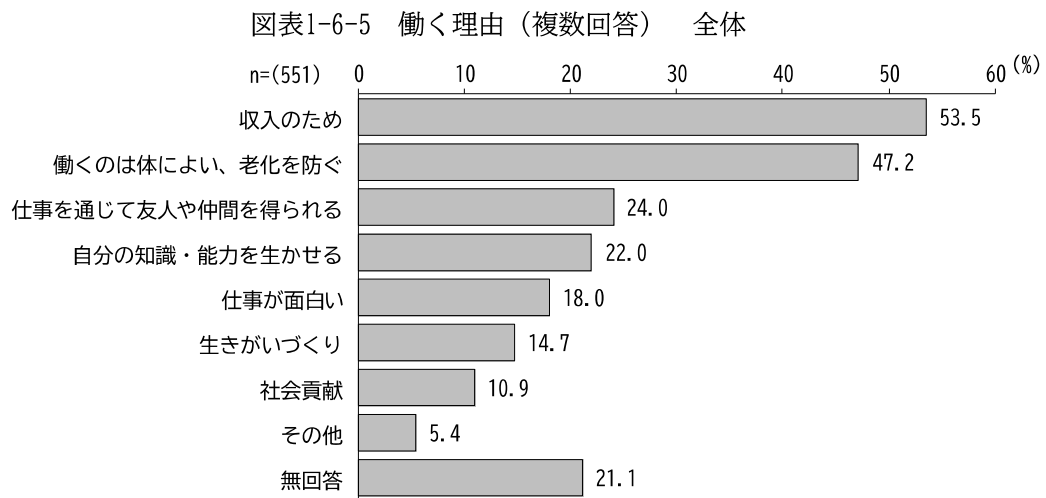
【問6(1)で「1」「2」以外を選んだ方におうかがいします。】

問6(2) あなたが働く理由は何ですか。(〇はいくつでも)

現在の何らかの仕事をしている・求職中の人の働く理由は、「収入のため」が53.5%で最も多く、次いで「働くのは体によい、老化を防ぐ」が47.2%、「仕事を通じて友人や仲間を得られる」が24.0%となっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「収入のため」の割合が減少傾向となっている。

性別にみると、「収入のため」では男性が全体より高くなっている。



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-6-6 働く理由（複数回答） 圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

		n	収入のため	働くのは体によい、 老化を防ぐ	仕事を通して 友人や仲間を得られる	自分の知識・能力を 生かせる	仕事が面白い	生きがいづくじ	社会貢献	その他	無回答
今 回（10期）		551	53.5	47.2	24.0	22.0	18.0	14.7	10.9	5.4	21.1
圏域別	松山	186	54.8	48.9	25.8	19.9	16.1	16.1	11.3	4.3	19.9
	平野	61	65.6	47.5	31.1	27.9	23.0	18.0	16.4	4.9	19.7
	大岡	23	39.1	52.2	21.7	21.7	8.7	4.3	8.7	-	26.1
	唐子	66	62.1	40.9	25.8	21.2	18.2	15.2	7.6	4.5	24.2
	高坂	76	52.6	44.7	23.7	23.7	22.4	17.1	13.2	10.5	15.8
	高坂丘陵	43	39.5	44.2	27.9	18.6	14.0	14.0	9.3	4.7	27.9
	野本	96	47.9	50.0	13.5	22.9	18.8	10.4	8.3	6.3	21.9
年齢階級別	65～69歳	172	65.7	47.7	25.0	26.2	16.3	12.8	11.0	4.7	14.0
	70～74歳	172	56.4	49.4	20.9	19.2	19.2	16.3	8.7	0.6	23.3
	75～79歳	121	45.5	48.8	30.6	24.8	19.8	14.0	14.0	11.6	21.5
	80～84歳	56	37.5	39.3	21.4	17.9	23.2	16.1	7.1	8.9	30.4
	85歳以上	30	30.0	40.0	13.3	10.0	3.3	16.7	16.7	6.7	30.0
性別	男性	287	60.6	51.6	24.0	25.1	20.6	15.3	14.6	4.2	15.7
	女性	264	45.8	42.4	23.9	18.6	15.2	14.0	6.8	6.8	26.9
認定別	認定なし+該当	543	53.6	47.5	24.1	22.1	18.2	14.5	10.9	5.3	20.8
	要支援1・2	8	50.0	25.0	12.5	12.5	-	25.0	12.5	12.5	37.5

7. たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

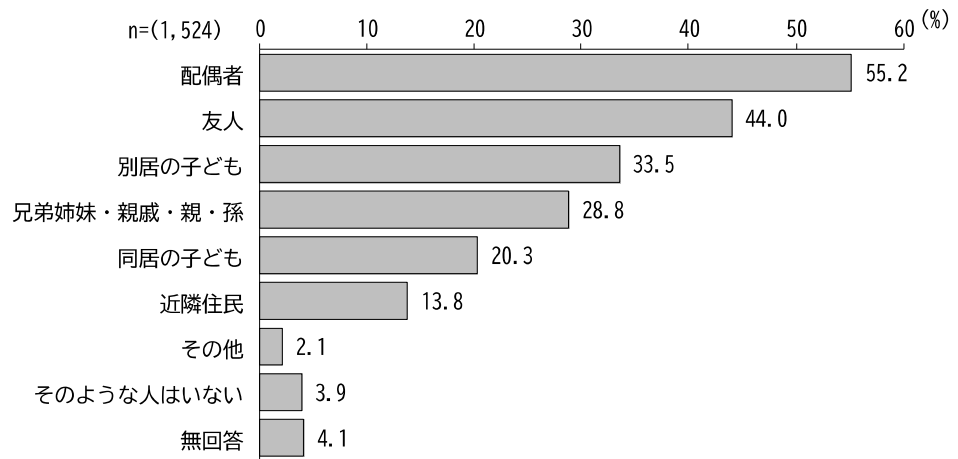
問7（1） あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は誰ですか。
（〇はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が55.2%で最も多く、次いで「友人」が44.0%、「別居の子ども」が33.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「配偶者」では男性、「友人」・「別居の子ども」・「兄弟姉妹・親戚・親・孫」・「同居の子ども」・「近隣住民」では女性が全体より高くなっている。

図表1-7-1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-7-2 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数回答）

前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	配偶者	友人	別居の子ども	戚・兄弟・姉妹・親・孫	同居の子ども	近隣住民	その他	いない そのような人は	無回答
今回（10期）		1,524	55.2	44.0	33.5	28.8	20.3	13.8	2.1	3.9	4.1
前回（9期）		1,498	57.1	41.8	32.7	29.4	21.8	12.9	2.5	4.1	3.1
圏域別	松山	533	52.0	46.0	30.2	26.5	19.1	11.6	2.8	4.5	4.5
	平野	180	61.7	46.1	39.4	34.4	22.8	14.4	1.1	2.2	3.3
	大岡	63	55.6	47.6	34.9	31.7	22.2	22.2	-	4.8	1.6
	唐子	169	50.9	43.2	33.1	32.0	18.3	13.0	0.6	3.0	4.1
	高坂	189	57.7	38.1	34.4	29.6	24.9	11.6	2.6	5.8	3.7
	高坂丘陵	137	66.4	43.1	43.8	29.2	13.9	16.8	2.9	2.2	5.1
	野本	253	52.2	42.7	29.6	26.1	22.1	16.6	2.0	4.0	4.0
性別	男性	733	65.9	29.3	22.8	18.3	14.5	8.5	1.6	6.3	4.6
	女性	791	45.3	57.5	43.4	38.6	25.8	18.8	2.5	1.8	3.5
認定別	認定なし+該当	1,469	56.2	44.4	33.1	28.7	20.2	13.8	2.2	4.0	4.1
	要支援1・2	55	29.1	32.7	43.6	32.7	23.6	14.5	-	1.8	3.6

(2) あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

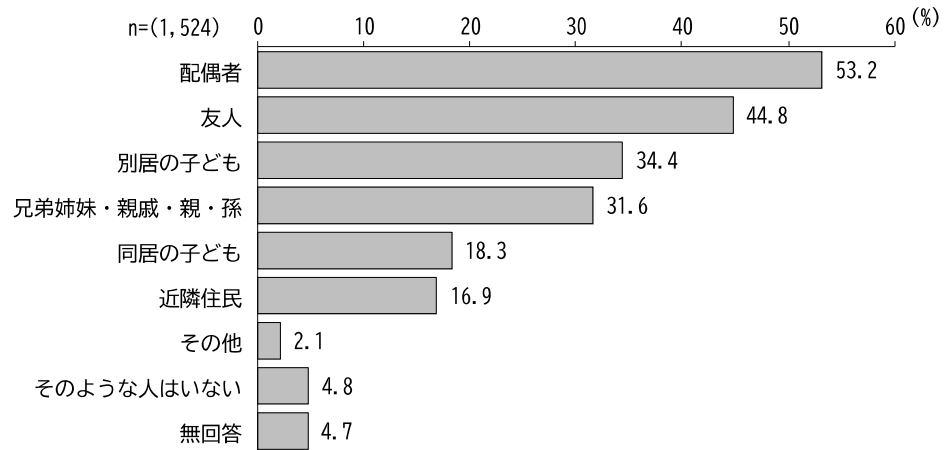
問7(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は誰ですか。
 (〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が53.2%で最も多く、次いで「友人」が44.8%、「別居の子ども」が34.4%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「配偶者」では男性、「友人」・「別居の子ども」・「兄弟姉妹・親戚・親・孫」・「近隣住民」では女性が全体より高くなっている。

図表1-7-3 あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表 1-7-4 あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数回答）

前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	配偶者	友人	別居の子ども	戚・親・兄弟姉妹・孫・親	同居の子ども	近隣住民	その他	いない そのような人は	無回答
今 回（10期）		1,524	53.2	44.8	34.4	31.6	18.3	16.9	2.1	4.8	4.7
前 回（9期）		1,498	55.2	41.9	32.2	31.4	20.0	15.9	2.0	5.3	4.5
圏域別	松山	533	49.5	46.5	30.6	29.8	17.8	14.6	2.6	5.6	5.8
	平野	180	58.3	44.4	42.2	33.9	20.0	18.3	2.2	4.4	4.4
	大岡	63	57.1	44.4	31.7	33.3	27.0	22.2	-	4.8	1.6
	唐子	169	51.5	43.8	34.3	36.1	16.6	14.2	2.4	4.7	4.1
	高坂	189	56.1	40.2	34.4	32.3	21.7	16.4	1.6	6.3	3.2
	高坂丘陵	137	64.2	41.6	46.0	29.9	16.1	19.0	2.2	-	5.1
	野本	253	49.4	47.0	31.6	30.4	15.8	20.6	1.6	4.7	4.7
性別	男性	733	65.2	29.6	26.2	21.1	15.0	11.2	1.5	6.8	5.3
	女性	791	42.1	58.8	42.1	41.2	21.4	22.3	2.7	2.9	4.2
認定別	認定なし+該当	1,469	54.0	45.3	34.4	31.4	18.4	17.0	2.2	4.8	4.7
	要支援1・2	55	32.7	29.1	36.4	34.5	16.4	16.4	-	5.5	5.5

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

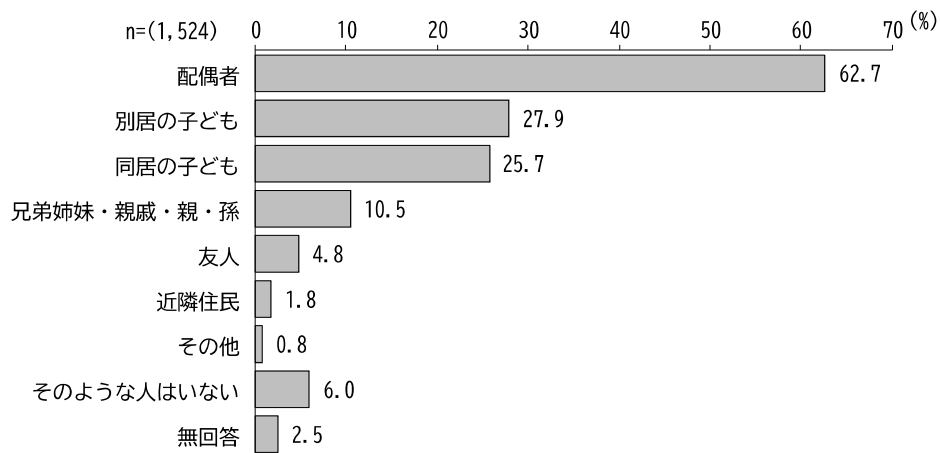
問7(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が62.7%で最も多く、次いで「別居の子ども」が27.9%、「同居の子ども」が25.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「配偶者」では男性、「別居の子ども」・「同居の子ども」では女性が全体より高くなっている。

図表1-7-5 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-7-6 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数回答）
前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣住民	その他	いない	そのような人は	無回答
今 回（10期）		1,524	62.7	27.9	25.7	10.5	4.8	1.8	0.8	6.0	2.5	
前 回（9期）		1,498	64.0	27.2	28.1	12.0	4.5	2.6	1.3	4.5	3.7	
圏域別	松山	533	59.8	27.2	25.0	12.0	5.1	1.5	0.4	6.4	2.4	
	平野	180	66.7	33.9	25.0	11.7	5.6	1.7	1.1	6.1	1.1	
	大岡	63	66.7	30.2	34.9	11.1	11.1	7.9	1.6	1.6	3.2	
	唐子	169	60.9	25.4	29.0	11.2	4.1	0.6	1.2	6.5	3.0	
	高坂	189	65.6	27.0	29.6	7.9	2.1	1.6	0.5	6.3	3.2	
	高坂丘陵	137	74.5	22.6	12.4	3.6	3.6	0.7	0.7	8.0	2.9	
	野本	253	57.3	29.6	27.3	11.5	5.1	2.8	1.2	4.7	2.4	
性別	男性	733	73.0	18.7	19.1	7.8	2.6	0.8	0.5	7.4	2.3	
	女性	791	53.1	36.4	31.7	13.0	6.8	2.8	1.0	4.8	2.7	
認定別	認定なし+該当	1,469	63.6	27.4	25.7	10.6	5.0	1.8	0.7	5.8	2.5	
	要支援1・2	55	36.4	41.8	23.6	7.3	-	1.8	1.8	12.7	1.8	

(4) あなたが、看病や世話をしあける人

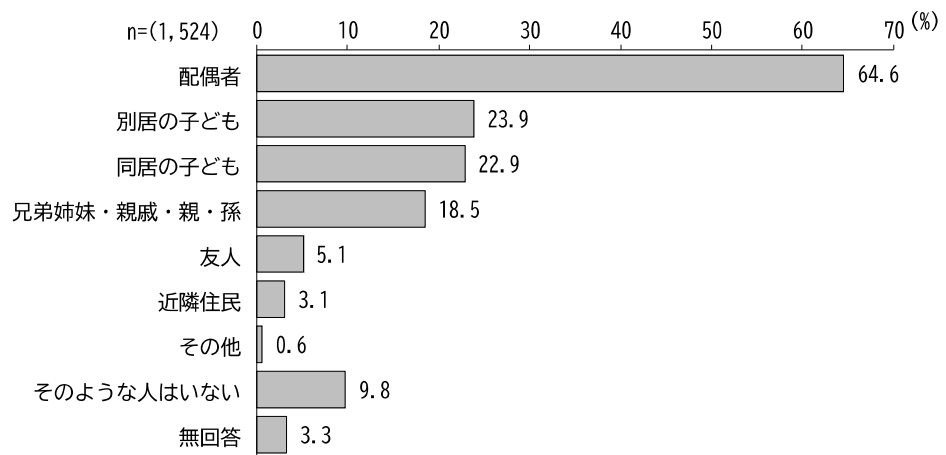
問7(4) 反対に、あなたが看病や世話をしあける人は誰ですか。(〇はいくつでも)

対象者が看病や世話をしあける人は、「配偶者」が64.6%で最も多く、次いで「別居の子ども」が23.9%、「同居の子ども」が22.9%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「配偶者」では男性、「別居の子ども」・「同居の子ども」・「兄弟姉妹・親戚・親・孫」では女性が全体より高くなっている。

図表1-7-7 あなたが、看病や世話をしあける人（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-7-8 あなたが、看病や世話をしている人（複数回答）
 前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	戚・親・孫・兄弟姉妹・親	友人	近隣住民	その他	いない そのような人は	無回答
			(%)								
今 回 (10期)		1,524	64.6	23.9	22.9	18.5	5.1	3.1	0.6	9.8	3.3
前 回 (9期)		1,498	66.2	23.6	27.1	18.8	7.0	3.9	1.7	8.5	5.2
圏域別	松山	533	61.2	22.5	23.3	20.5	4.7	2.6	0.4	10.9	3.2
	平野	180	70.0	29.4	22.2	14.4	6.1	5.0	0.6	13.3	2.2
	大岡	63	65.1	22.2	25.4	22.2	12.7	9.5	-	9.5	1.6
	唐子	169	64.5	24.3	23.7	17.2	5.3	0.6	1.2	7.7	4.7
	高坂	189	67.2	20.6	27.0	13.2	3.7	1.1	0.5	7.4	4.2
	高坂丘陵	137	76.6	27.7	13.9	18.2	2.9	3.6	2.2	5.1	2.9
	野本	253	59.3	23.3	23.3	21.3	5.5	4.0	-	10.7	3.6
性別	男性	733	72.7	15.1	16.2	13.1	2.9	2.0	0.1	11.3	2.5
	女性	791	57.0	32.0	29.1	23.5	7.2	4.0	1.0	8.3	4.2
認定別	認定なし+該当	1,469	65.6	24.2	23.1	19.0	5.3	3.1	0.5	9.3	3.1
	要支援1・2	55	38.2	16.4	18.2	5.5	-	1.8	3.6	21.8	10.9

(5) 何かあったときの相談相手（家族や友人・知人以外）

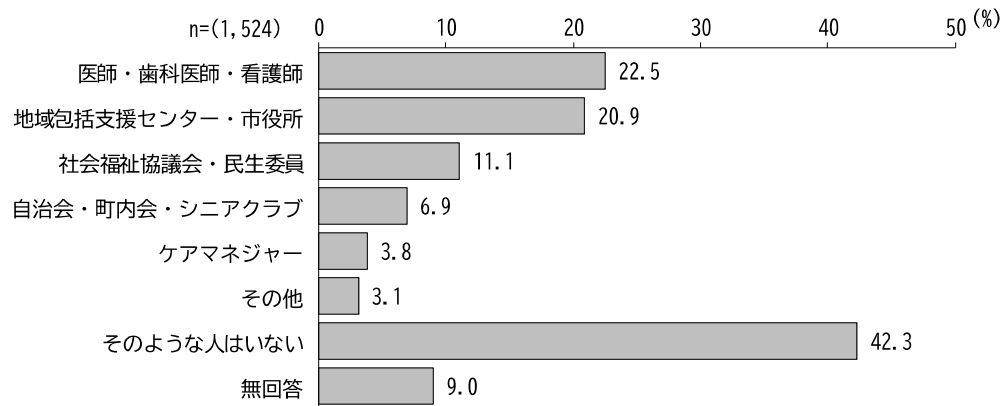
問7 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は誰ですか。
(○はいくつでも)

家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手がいる人(=100%－「そのような人はいない」－無回答)は48.7%で、その内訳としては「医師・歯科医師・看護師」が22.5%で最も多く、次いで「地域包括支援センター・市役所」が20.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が11.1%となっている。

前回調査と比較すると、前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「そのような人はいない」では男性が全体より高くなっている。

図表1-7-9 何かあったときの相談相手(家族や友人・知人以外) (複数回答) 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-7-10 何かあったときの相談相手(家族や友人・知人以外) (複数回答)
 前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	医師・ 歯科医師・ 看護師	地域包括 支援センター・ 市役所	社会福祉 協議会・ 民生委員	自治会・ 町内会・ シニア クラブ	ケア マネジャー	その他	そのような 人は いない	無 回 答
今 回 (10期)		1,524	22.5	20.9	11.1	6.9	3.8	3.1	42.3	9.0
前 回 (9期)		1,498	26.5	17.5	10.2	7.1	4.2	5.3	41.2	9.3
圏 域 別	松山	533	24.8	22.0	11.1	6.0	4.1	4.3	41.8	8.3
	平野	180	22.2	20.0	12.8	6.7	5.6	2.8	38.3	10.0
	大岡	63	25.4	25.4	11.1	12.7	3.2	3.2	31.7	12.7
	唐子	169	17.2	16.0	7.7	10.1	2.4	3.0	46.2	8.9
	高坂	189	20.1	25.9	15.3	5.3	2.6	3.7	40.2	7.9
	高坂丘陵	137	19.0	16.1	8.0	3.6	2.9	1.5	55.5	10.2
	野本	253	24.5	20.2	10.7	8.3	4.3	1.6	40.7	9.1
性 別	男性	733	22.0	18.0	8.7	9.1	2.5	2.3	47.5	7.1
	女性	791	23.0	23.5	13.3	4.8	5.1	3.9	37.5	10.7
認 定 別	認定なし+該当	1,469	22.8	20.4	11.2	7.0	3.2	3.2	42.9	8.8
	要支援1・2	55	14.5	32.7	9.1	3.6	20.0	1.8	27.3	14.5

(6) 友人・知人と会う頻度

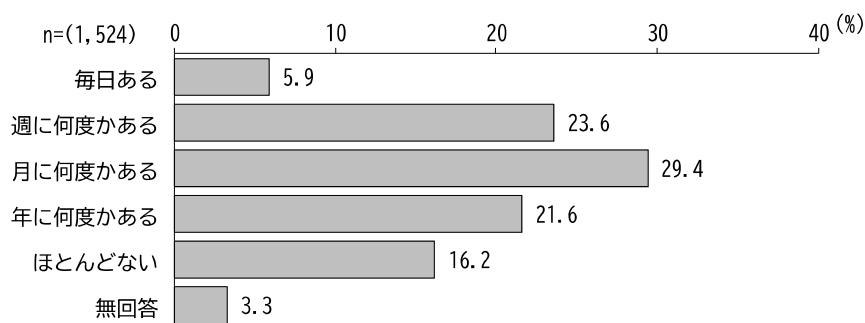
問7(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」が29.4%で最も多く、次いで「週に何度かある」が23.6%、「年に何度かある」が21.6%となっている。また「ほとんどない」は16.2%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「年に何度かある」では男性が全体より高くなっている。

図表1-7-11 友人・知人と会う頻度 全体



図表1-7-12 友人・知人と会う頻度 前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
今回 (10期)		1,524	5.9	23.6	29.4	21.6	16.2	3.3
前回 (9期)		1,498	6.0	24.6	26.8	18.3	20.4	3.9
圏域別	松山	533	6.0	25.1	28.1	18.9	18.6	3.2
	平野	180	2.8	19.4	37.2	26.1	12.2	2.2
	大岡	63	6.3	22.2	34.9	19.0	12.7	4.8
	唐子	169	7.7	23.7	25.4	20.1	19.5	3.6
	高坂	189	6.3	23.8	25.9	24.9	15.9	3.2
	高坂丘陵	137	5.1	24.1	28.5	24.1	12.4	5.8
	野本	253	6.7	23.3	30.8	21.7	15.0	2.4
性別	男性	733	4.9	19.6	26.1	26.5	20.1	2.9
	女性	791	6.8	27.3	32.5	17.1	12.6	3.7
認定別	認定なし+該当	1,469	6.1	23.4	29.9	21.9	15.7	3.1
	要支援1・2	55	1.8	29.1	16.4	14.5	30.9	7.3

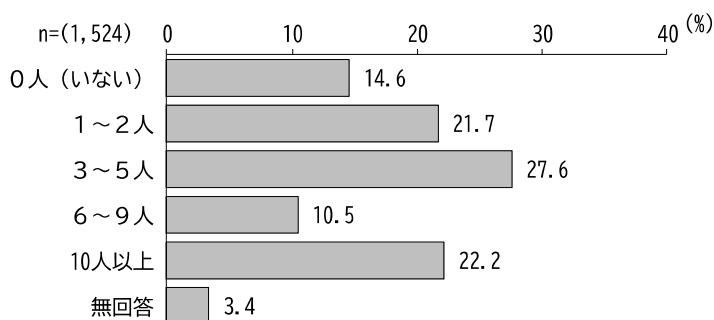
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(7) 1か月間で会った友人・知人の数

問7(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(○は1つ)

この1か月間で会った友人・知人の数は、「3～5人」が27.6%で最も多く、次いで「10人以上」が22.2%、「1～2人」が21.7%となっている。また「0人(いない)」は14.6%となっている。前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-7-13 1か月間で会った友人・知人の数 全体



図表1-7-14 1か月間で会った友人・知人の数 前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
今回(10期)		1,524	14.6	21.7	27.6	10.5	22.2	3.4
前回(9期)		1,498	15.7	21.1	27.1	10.3	21.6	4.2
圏域別	松山	533	16.1	22.1	27.8	9.6	20.5	3.9
	平野	180	14.4	27.2	31.1	8.3	17.2	1.7
	大岡	63	11.1	22.2	20.6	19.0	25.4	1.6
	唐子	169	14.8	18.9	27.8	8.9	24.3	5.3
	高坂	189	14.3	18.0	28.0	10.1	25.9	3.7
	高坂丘陵	137	13.9	21.9	18.2	14.6	26.3	5.1
	野本	253	12.6	21.3	31.2	11.1	22.1	1.6
性別	男性	733	19.1	22.2	24.4	9.3	21.3	3.7
	女性	791	10.4	21.2	30.6	11.6	23.0	3.2
認定別	認定なし+該当	1,469	14.1	21.8	27.6	10.5	22.7	3.3
	要支援1・2	55	27.3	20.0	27.3	10.9	9.1	5.5

(8) よく会う友人・知人との関係

問7(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

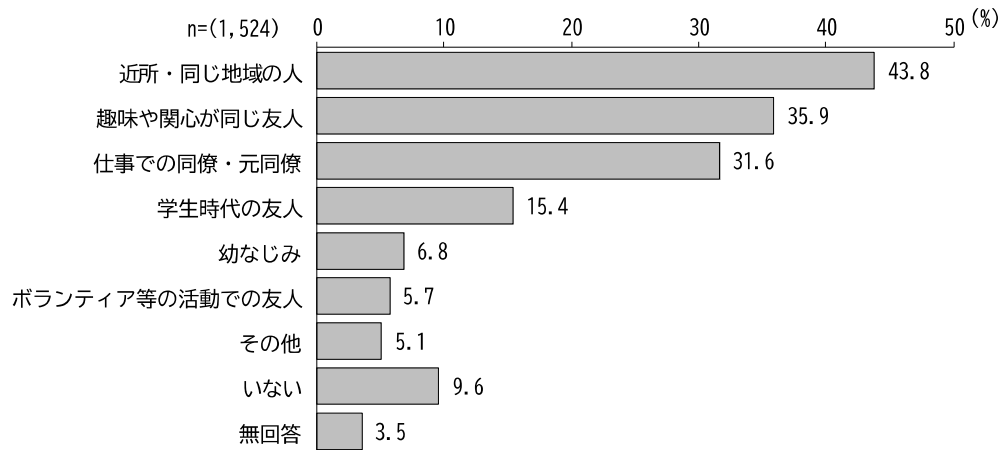
よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」が43.8%で最も多く、次いで「趣味や関心と同じ人」が35.9%、「仕事での同僚・元同僚」が31.6%となっている。また「いない」は9.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

圏域別にみると、「近所・同じ地域の人」では野本、「趣味や関心と同じ人」では高坂丘陵、「仕事での同僚・元同僚」では平野・大岡、「学生時代の友人」では高坂が全体より高くなっている。

性別にみると、「近所・同じ地域の人」「趣味や関心と同じ人」では女性が全体より高くなっている。

図表1-7-15 よく会う友人・知人との関係（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-7-16 よく会う友人・知人との関係（複数回答） 前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	近所・同じ地域の人	趣味や関心が同じ友人	仕事での同僚・元同僚	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
			(%)								
今回（10期）		1,524	43.8	35.9	31.6	15.4	6.8	5.7	5.1	9.6	3.5
前回（9期）		1,498	46.8	37.6	29.2	12.6	5.6	6.2	4.6	10.1	4.6
圏域別	松山	533	37.7	35.6	30.8	16.7	5.4	5.6	6.2	10.1	4.5
	平野	180	42.8	30.6	41.7	11.7	6.1	5.6	3.3	9.4	2.8
	大岡	63	61.9	31.7	38.1	11.1	11.1	4.8	3.2	6.3	4.8
	唐子	169	42.6	35.5	30.2	14.2	7.7	4.7	4.7	15.4	3.6
	高坂	189	45.5	34.4	29.6	20.1	7.9	4.8	6.3	8.5	3.2
	高坂丘陵	137	41.6	43.8	30.7	18.2	1.5	7.3	3.6	8.0	3.6
	野本	253	53.8	38.3	27.3	11.9	10.7	6.7	4.3	7.1	1.6
性別	男性	733	36.6	30.4	34.8	15.6	6.7	5.9	3.8	13.2	3.0
	女性	791	50.6	41.0	28.6	15.2	7.0	5.6	6.2	6.2	3.9
認定別	認定なし+該当	1,469	43.6	36.3	32.4	15.7	6.9	5.9	5.0	9.1	3.4
	要支援1・2	55	50.9	25.5	9.1	5.5	3.6	1.8	7.3	23.6	5.5

8. 健康について

(1) 現在の健康状態

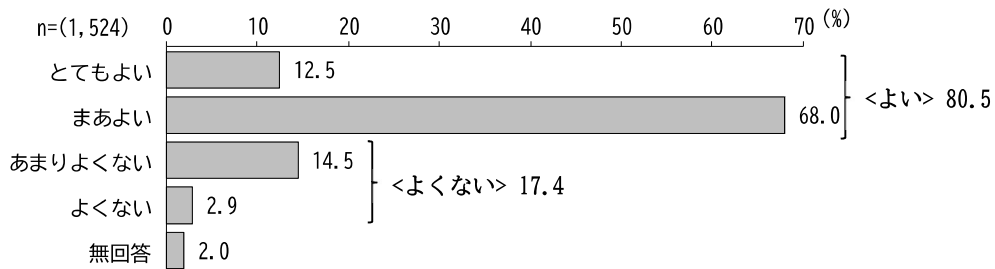
問8 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態は、「まあよい」が68.0%で最も多く、「とてもよい」12.5%と合わせると合計が80.5%となっている。また「あまりよくない」14.5%と「よくない」2.9%の合計は17.4%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

地域活動参加状況別にみると、「あまりよくない」では「それ以外」が全体より高くなっている。

図表1-8-1 現在の健康状態 全体



図表1-8-2 現在の健康状態 前回比較/圏域別/性別/認定状況別/地域活動参加状況別※

		n	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
今回 (10期)		1,524	12.5	68.0	14.5	2.9	2.0
前回 (9期)		1,498	12.4	66.6	15.0	1.9	4.1
圏域別	松山	533	14.3	68.1	12.8	2.8	2.1
	平野	180	10.6	70.6	15.0	2.8	1.1
	大岡	63	9.5	71.4	12.7	4.8	1.6
	唐子	169	11.2	66.9	16.0	2.4	3.6
	高坂	189	9.0	67.2	18.0	3.7	2.1
	高坂丘陵	137	15.3	62.8	17.5	2.9	1.5
	野本	253	13.0	69.6	13.0	2.4	2.0
性別	男性	733	12.7	67.0	15.8	2.5	2.0
	女性	791	12.4	69.0	13.3	3.3	2.0
認定別	認定なし+該当	1,469	12.9	68.8	13.7	2.6	2.0
	要支援1・2	55	1.8	47.3	36.4	10.9	3.6
活動別	参加している	990	14.3	69.9	11.7	2.0	2.0
	それ以外	336	8.3	64.3	20.2	6.0	1.2

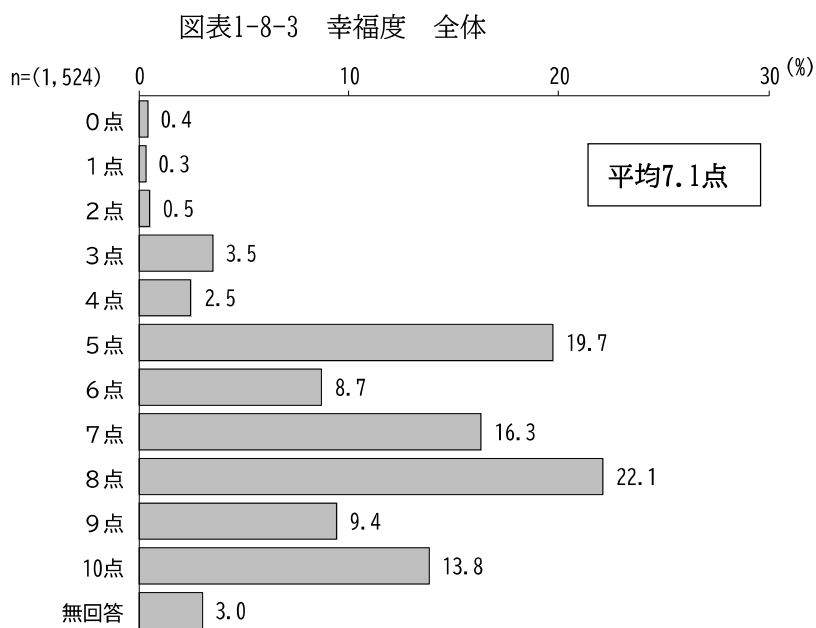
※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

(2) 幸福度

問8 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字に○をつけてください)

現在の幸福度は、10点満点中「8点」が22.1%で最も多く、次いで「5点」が19.7%、「7点」が16.3%となっている。平均は7.1点となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



図表1-8-4 幸福度 前回比較／圏域別／性別／認定状況別／地域活動参加状況別※

			0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均(点)
		n	(%)												
今回(10期)		1,524	0.4	0.3	0.5	3.5	2.5	19.7	8.7	16.3	22.1	9.4	13.8	3.0	7.1
前回(9期)		1,498	0.4	0.4	0.7	2.3	3.1	19.0	8.7	14.9	23.2	9.5	12.4	5.4	7.1
圏域別	松山	533	0.2	-	0.4	3.8	2.3	18.4	8.8	18.6	21.4	8.8	14.4	3.0	7.1
	平野	180	0.6	0.6	0.6	2.2	3.9	19.4	7.2	17.2	18.9	14.4	13.9	1.1	7.1
	大岡	63	-	-	-	4.8	4.8	19.0	7.9	12.7	17.5	14.3	14.3	4.8	7.1
	唐子	169	1.2	0.6	-	3.0	1.8	21.9	7.7	18.9	19.5	7.7	14.2	3.6	7.0
	高坂	189	0.5	1.1	0.5	5.3	2.6	17.5	8.5	13.8	24.9	9.0	11.6	4.8	6.9
	高坂丘陵	137	-	-	0.7	3.6	1.5	20.4	5.8	13.9	26.3	10.2	16.1	1.5	7.3
	野本	253	0.4	-	0.8	2.4	2.4	22.5	11.9	13.4	24.5	6.7	12.3	2.8	6.9
性別	男性	733	0.5	0.1	0.4	4.4	2.6	23.6	8.6	17.2	19.6	7.8	12.3	2.9	6.8
	女性	791	0.3	0.4	0.5	2.7	2.4	16.1	8.7	15.5	24.4	10.9	15.2	3.0	7.3
認定別	認定なし+該当	1,469	0.4	0.3	0.3	3.3	2.5	19.3	8.6	16.6	22.4	9.6	13.9	2.9	7.1
	要支援1・2	55	-	-	3.6	9.1	3.6	30.9	10.9	9.1	14.5	3.6	10.9	3.6	6.1
活動別	参加している	990	0.4	0.2	0.3	2.9	1.9	17.5	8.9	17.8	23.7	9.9	13.5	2.9	7.2
	それ以外	336	0.6	-	1.2	5.4	3.6	25.9	7.1	14.0	18.8	8.6	12.8	2.1	6.7

※問5(1)で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

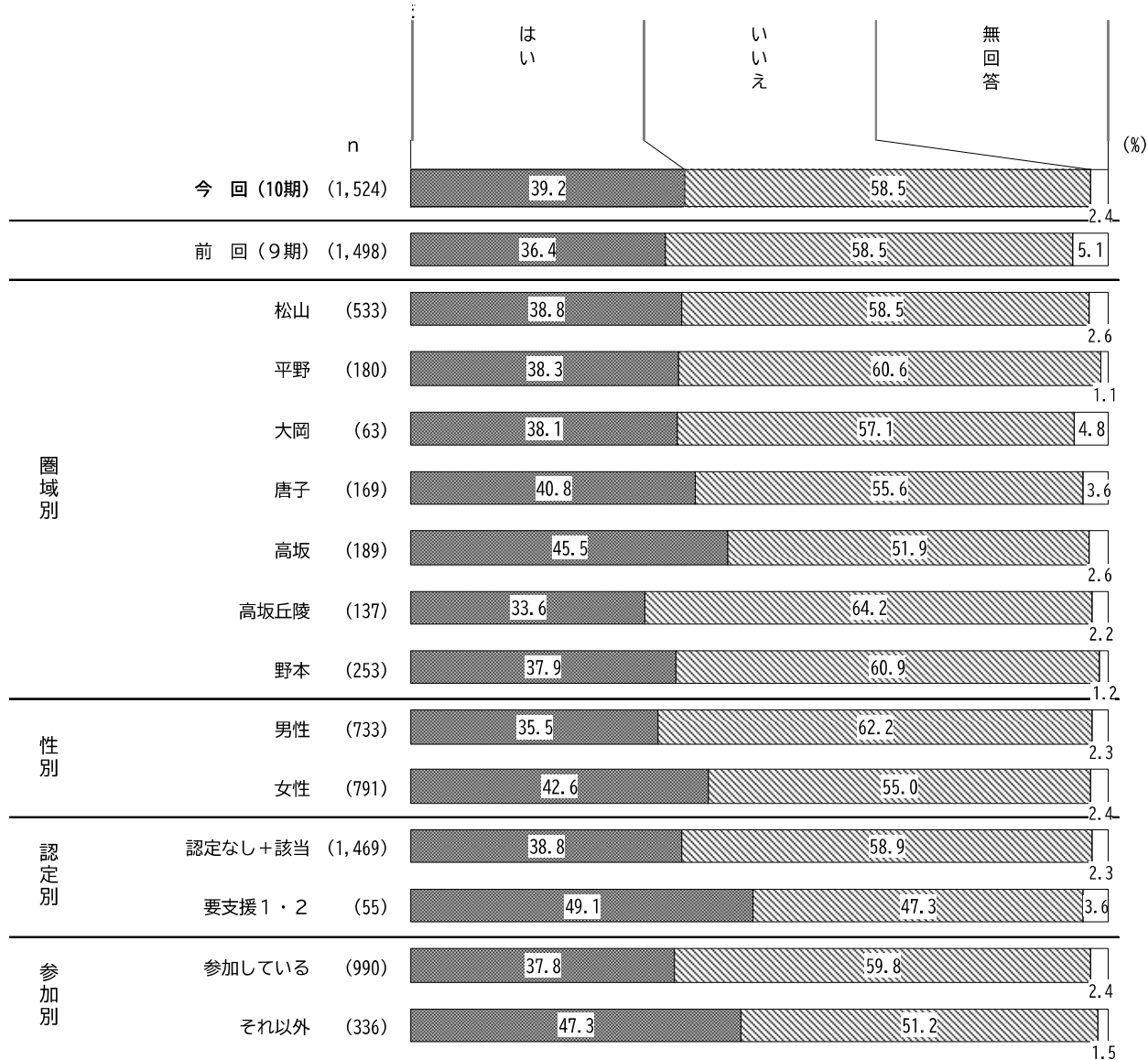
(3) この1か月間での気分の沈み込み等について

問8 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が39.2%、「いいえ」が58.5%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-8-5 この1か月間での気分の沈み込み等について
全体／前回比較／圏域別／性別／認定状況別／地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

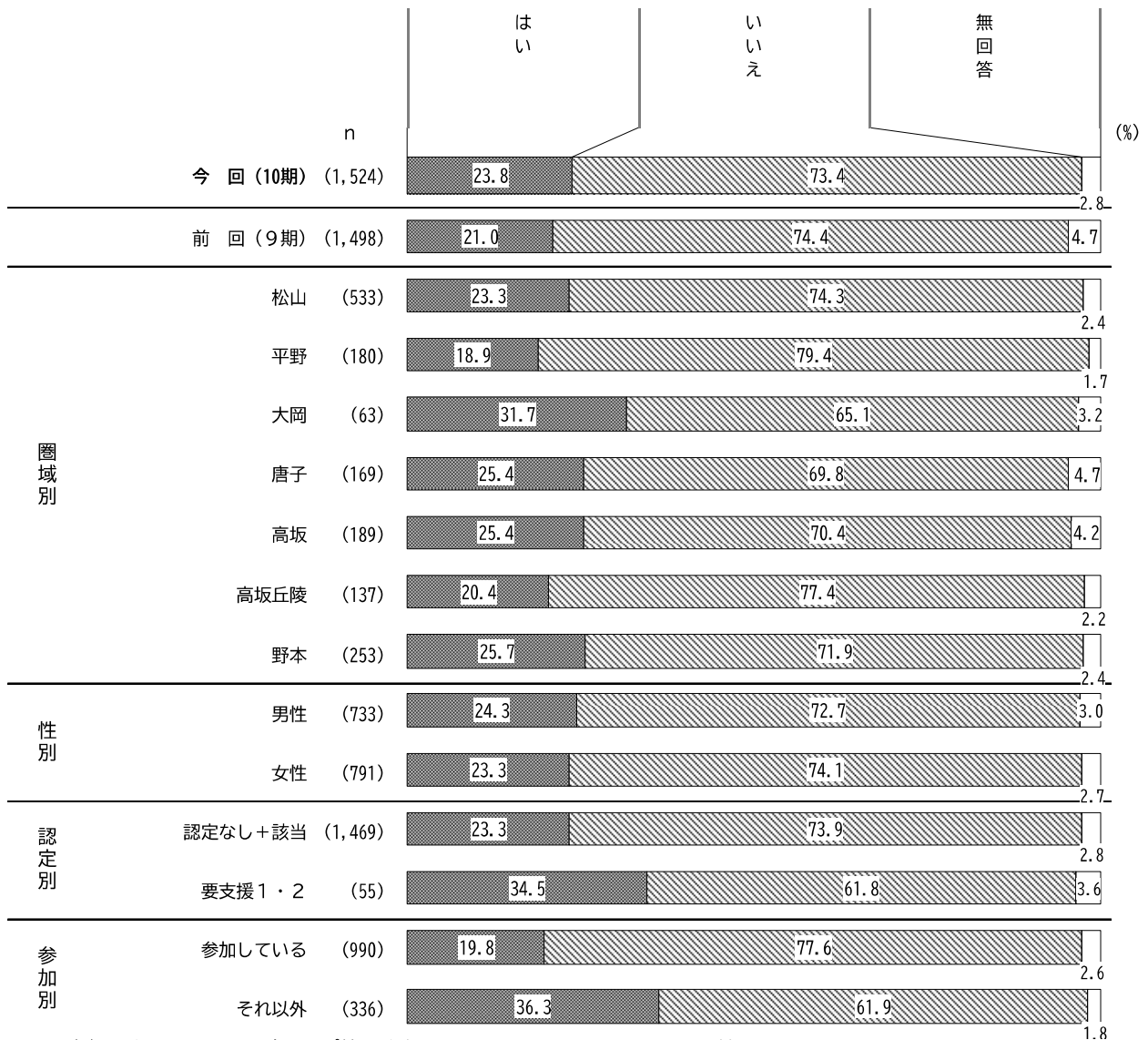
(4) この1か月間での物事に対する興味について

問8 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

この1か月間、物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が23.8%、「いいえ」が73.4%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-8-6 この1か月間での物事に対する興味について
全体／前回比較／圏域別／性別／認定状況別／地域活動参加状況別※



※問5 (1) で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

(5) 飲酒について

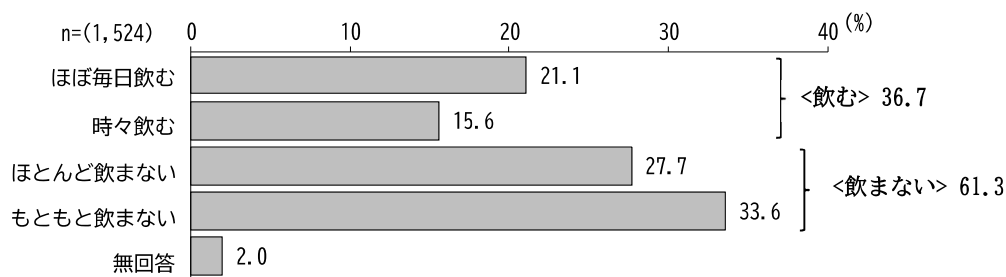
問8 (5) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒は、「もともと飲まない」が33.6%で最も多く、「ほとんど飲まない」27.7%と合わせると合計が61.3%となっている。また「ほぼ毎日飲む」21.1%と「時々飲む」15.6%の合計は36.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「ほぼ毎日飲む」では男性、「もともと飲まない」では女性が全体より高くなっている。

図表1-8-7 飲酒について 全体



図表1-8-8 飲酒について 前回比較/圏域別/性別/認定状況別

		n	ほぼ毎日飲む (%)	時々飲む (%)	ほとんど飲まない (%)	もともと飲まない (%)	無回答 (%)
今回 (10期)		1,524	21.1	15.6	27.7	33.6	2.0
前回 (9期)		1,498	23.1	16.0	23.6	34.1	3.3
圏域別	松山	533	21.8	17.3	27.8	31.5	1.7
	平野	180	21.7	12.2	28.3	36.7	1.1
	大岡	63	14.3	22.2	23.8	38.1	1.6
	唐子	169	20.7	13.6	26.0	36.7	3.0
	高坂	189	20.6	15.3	29.1	32.3	2.6
	高坂丘陵	137	21.2	19.0	29.2	27.7	2.9
	野本	253	21.3	12.6	27.3	36.8	2.0
性別	男性	733	35.7	19.2	25.6	17.3	2.0
	女性	791	7.5	12.3	29.6	48.7	2.0
認定別	認定なし+該当	1,469	21.6	15.9	27.6	32.9	2.0
	要支援1・2	55	5.5	9.1	30.9	52.7	1.8

(6) 喫煙について

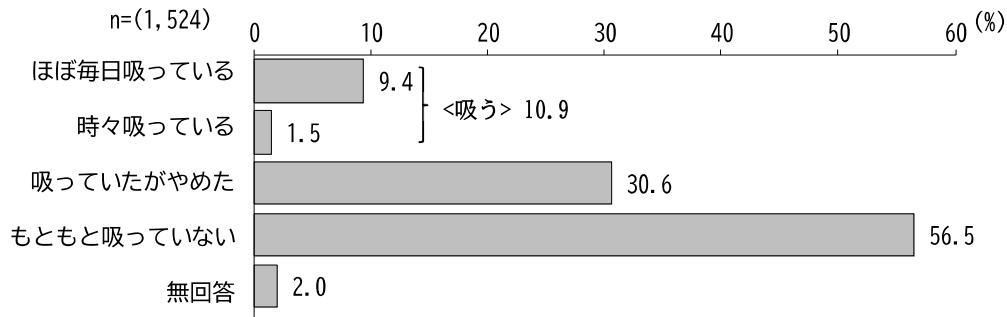
問8 (6) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

喫煙は、「もともと吸っていない」が56.5%で最も多くなっている。また「ほぼ毎日吸っている」9.4%と「時々吸っている」1.5%の合計は10.9%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「ほぼ毎日吸っている」・「吸っていたがやめた」では男性、「もともと吸っていない」では女性が全体より高くなっている。

図表1-8-9 喫煙について 全体



図表1-8-10 喫煙について 前回比較/圏域別/性別/認定状況別 (%)

		n	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
今回 (10期)		1,524	9.4	1.5	30.6	56.5	2.0
前回 (9期)		1,498	7.5	1.6	28.8	58.5	3.5
圏域別	松山	533	11.1	1.3	29.3	56.5	1.9
	平野	180	10.6	2.8	29.4	56.1	1.1
	大岡	63	15.9	1.6	27.0	54.0	1.6
	唐子	169	9.5	1.8	33.1	52.1	3.6
	高坂	189	4.8	2.6	36.0	54.5	2.1
	高坂丘陵	137	5.1	1.5	30.7	60.6	2.2
	野本	253	9.5	-	29.2	59.7	1.6
性別	男性	733	15.6	1.8	53.9	26.7	2.0
	女性	791	3.8	1.3	9.0	84.1	1.9
認定別	認定なし+該当	1,469	9.6	1.6	31.0	55.9	2.0
	要支援1・2	55	5.5	-	20.0	72.7	1.8

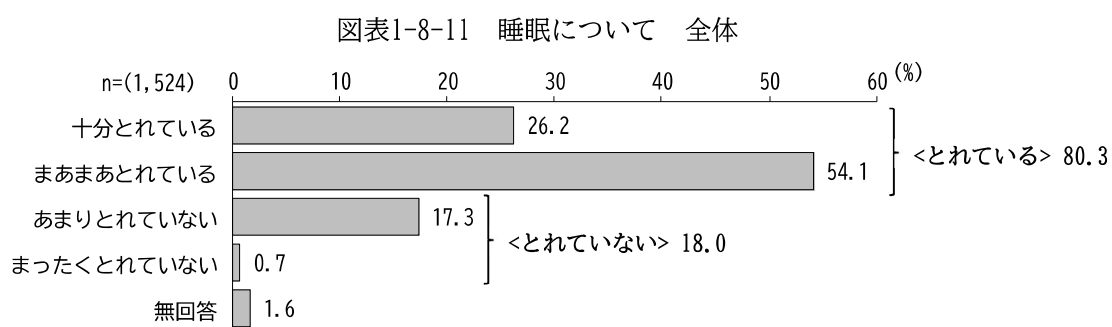
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(7) 睡眠について

問8 (7) ここ1か月間、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。(○は1つ)

睡眠は、「まあまあとれている」が54.1%で最も多く、「十分とれている」26.2%と合わせると合計が80.3%となっている。また「あまりとれていない」17.3%と「まったくとれていない」0.7%の合計は18.0%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。



図表1-8-12 睡眠について 前回比較/圏域別/性別/認定状況別 (%)

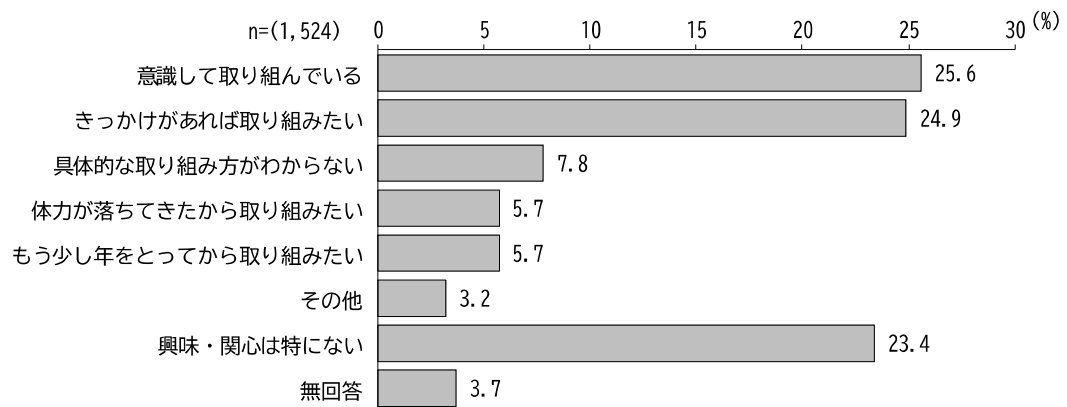
		n	十分とれている	まあまあとれている	あまりとれていない	まったくとれていない	無回答
今回 (10期)		1,524	26.2	54.1	17.3	0.7	1.6
前回 (9期)		1,498	25.9	55.3	14.7	0.9	3.3
圏域別	松山	533	27.0	54.4	15.8	1.3	1.5
	平野	180	22.2	59.4	17.8	-	0.6
	大岡	63	28.6	55.6	12.7	1.6	1.6
	唐子	169	29.6	48.5	18.3	0.6	3.0
	高坂	189	24.3	55.0	18.5	-	2.1
	高坂丘陵	137	28.5	49.6	19.7	-	2.2
	野本	253	24.5	54.9	18.6	0.8	1.2
性別	男性	733	30.2	50.8	16.5	0.7	1.9
	女性	791	22.5	57.3	18.1	0.8	1.4
認定別	認定なし+該当	1,469	26.3	54.5	17.0	0.6	1.6
	要支援1・2	55	21.8	45.5	27.3	3.6	1.8

(8) 介護予防活動への取組について

問8 (8) あなたは、就労、運動・スポーツや地域行事・趣味サークルなどへの積極的な参加、栄養・口腔衛生教室、認知症予防教室への参加など、介護予防につながる活動に意識して取り組んでいますか。(〇は1つ)

介護予防活動への取組については、「意識して取り組んでいる」が25.6%で最も多く、次いで「きっかけがあれば取り組みたい」が24.9%、「興味・関心は特にない」が23.4%となっている。性別にみると、「興味・関心は特にない」では男性が全体より高くなっている。

図表1-8-13 介護予防活動への取組について 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-8-14 介護予防活動への取組について
圏域別／認定状況別／性別／地域活動参加状況別※

		n	意識して取り組んでいる	きっかけがあれば取り組みたい	具体的な取り組み方がわからない	体力が落ちてきたから取り組みたい	もう少し年をとってから取り組みたい	その他	興味・関心は特にない	無回答
今回(10期)		1,524	25.6	24.9	7.8	5.7	5.7	3.2	23.4	3.7
圏域別	松山	533	27.2	26.1	6.6	5.3	5.3	2.1	23.6	3.9
	平野	180	26.1	24.4	6.1	4.4	3.9	3.3	28.3	3.3
	大岡	63	33.3	22.2	4.8	3.2	6.3	3.2	23.8	3.2
	唐子	169	22.5	21.9	10.1	4.7	8.9	4.1	24.3	3.6
	高坂	189	21.2	25.9	9.5	6.3	5.3	4.8	22.8	4.2
	高坂丘陵	137	27.7	24.8	7.3	10.9	4.4	0.7	21.9	2.2
	野本	253	24.1	24.5	9.9	5.5	6.7	5.1	19.8	4.3
性別	男性	733	23.7	21.1	8.0	5.7	6.4	1.9	30.6	2.5
	女性	791	27.3	28.3	7.6	5.7	5.1	4.4	16.7	4.9
認定別	認定なし+該当	1,469	25.7	25.2	7.8	5.8	5.9	2.9	23.1	3.5
	要支援1・2	55	21.8	16.4	7.3	3.6	-	10.9	30.9	9.1
活動別	参加している	990	34.1	26.0	6.7	6.5	6.2	1.5	16.3	2.8
	それ以外	336	7.4	22.9	13.1	3.3	4.2	6.3	40.8	2.1

※問5(1)で何らかの会・グループ等に参加している方とそれ以外の方の比較

(9) 介護予防に取り組むための条件

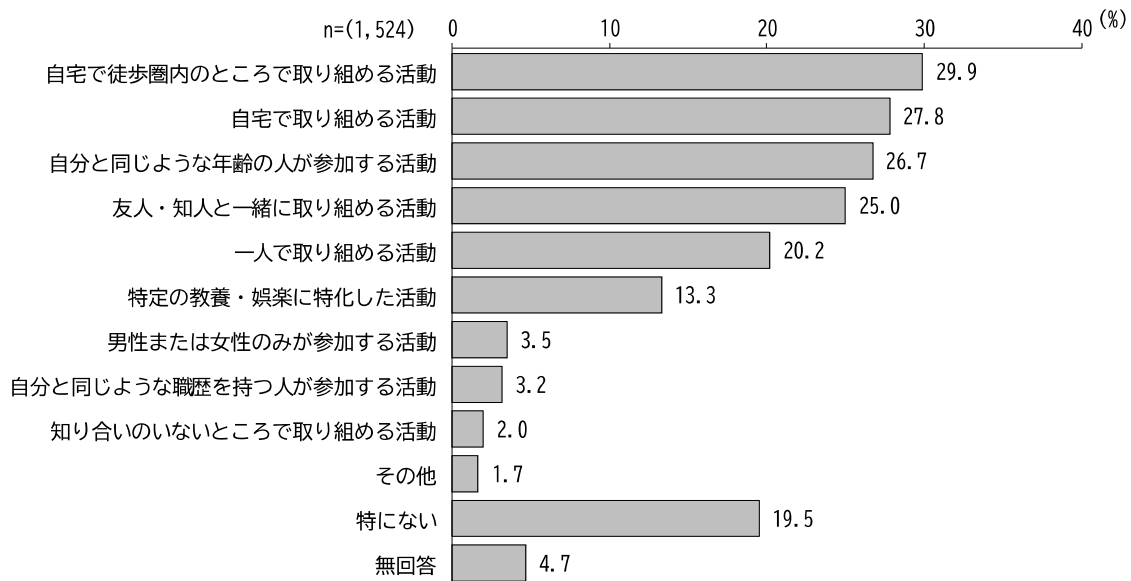
問8(9) あなたは、介護予防に取り組むためには、どのような条件であれば取り組めるとお考えですか。(〇はいくつでも)

介護予防に取り組むための条件は、「自宅で徒歩圏内のところで取り組める活動」が29.9%で最も多く、次いで「自宅で取り組める活動」が27.8%、「自分と同じような年齢の人が参加する活動」が26.7%となっている。

圏域別にみると、「自宅で徒歩圏内のところで取り組める活動」では松山、「自分と同じような年齢の人が参加する活動」・「友人・知人と一緒に取り組める活動」では大岡、「一人で取り組める活動」・「特定の教養・娯楽に特化した活動」では高坂丘陵が全体より高くなっている。

性別にみると、「自宅で徒歩圏内のところで取り組める活動」・「友人・知人と一緒に取り組める活動」では女性が全体より高くなっている。

図表1-8-15 介護予防に取り組むための条件（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-8-16 介護予防に取り組むための条件（複数回答） 圏域別／性別／認定状況別

		n	自宅 で取り 組める 活動	自宅 で取り 組める 活動	自分 と一緒 な年齢 の 人が 参加 する 活動	友人・ 知人と 一緒に 取り 組める 活動	一人 で取り 組める 活動	特定 の教養 ・娯楽 に特化 した 活動	男性 または 女性の みが参 加する 活動	自分 と同じ ような 職歴を 持つ 人が参 加する 活動	知り 合いの いない ところ で取り 組める 活動	その他
今 回（10期）		1,524	29.9	27.8	26.7	25.0	20.2	13.3	3.5	3.2	2.0	1.7
圏域別	松山	533	35.5	26.1	24.4	23.5	20.1	13.3	3.6	2.8	1.7	1.5
	平野	180	25.6	26.7	27.8	22.2	21.1	14.4	3.9	2.8	0.6	1.1
	大岡	63	25.4	31.7	38.1	38.1	19.0	11.1	4.8	3.2	-	6.3
	唐子	169	29.6	29.6	22.5	24.9	16.6	12.4	3.6	2.4	3.0	1.2
	高坂	189	24.9	28.0	29.6	29.6	19.0	11.1	3.2	2.1	1.1	2.6
	高坂丘陵	137	30.7	32.1	23.4	23.4	29.2	19.0	2.9	5.1	8.0	1.5
	野本	253	26.1	27.7	30.4	24.5	18.6	12.3	3.2	4.7	1.2	1.2
性別	男性	733	25.0	29.3	21.7	19.5	23.3	16.9	1.9	4.2	1.9	1.5
	女性	791	34.5	26.4	31.4	30.1	17.3	10.0	4.9	2.3	2.1	1.9
認定別	認定なし+該当	1,469	30.4	27.6	26.5	25.2	20.5	13.5	3.5	3.2	2.1	1.6
	要支援1・2	55	18.2	32.7	30.9	20.0	12.7	9.1	1.8	3.6	-	3.6

		n	特 に な い	無 回 答
今 回（10期）		1,524	19.5	4.7
圏域別	松山	533	19.9	4.5
	平野	180	21.1	3.9
	大岡	63	11.1	9.5
	唐子	169	23.1	4.7
	高坂	189	21.7	3.7
	高坂丘陵	137	14.6	2.9
	野本	253	18.2	5.9
性別	男性	733	23.9	3.3
	女性	791	15.4	5.9
認定別	認定なし+該当	1,469	19.5	4.6
	要支援1・2	55	18.2	7.3

(10) 治療中の病気、後遺症の有無

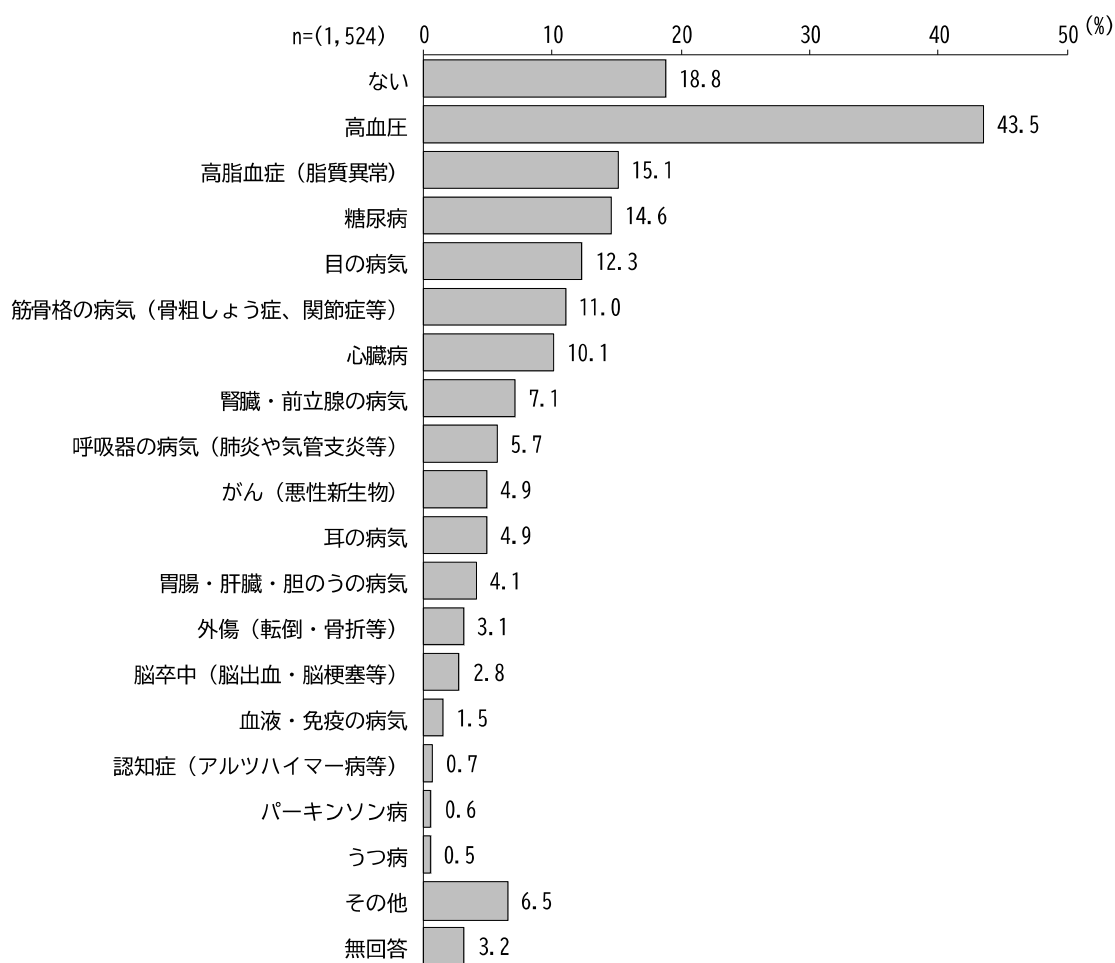
問8 (10) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

治療中の病気、後遺症がある人(=100% - 「ない」 - 無回答)は78.0%で、その内訳としては「高血圧」が43.5%で最も多く、次いで「高脂血症(脂質異常)」が15.1%、「糖尿病」が14.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

性別にみると、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」では女性が全体より高くなっている。

図表1-8-17 治療中の病気、後遺症の有無(複数回答) 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-8-18 治療中の病気、後遺症の有無（複数回答） 前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	ない	高血圧	高脂血症 (脂質異常)	糖尿病	目の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	心臓病	腎臓・前立腺の病気	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	がん(悪性新生物)
今回(10期)		1,524	18.8	43.5	15.1	14.6	12.3	11.0	10.1	7.1	5.7	4.9
前回(9期)		1,498	18.4	42.3	14.8	14.4	13.6	12.8	9.2	6.4	3.5	3.6
圏域別	松山	533	16.5	45.2	16.3	12.9	12.0	12.4	9.6	7.1	5.4	5.3
	平野	180	22.8	41.1	13.9	15.6	15.6	10.0	10.6	8.3	5.6	5.0
	大岡	63	7.9	46.0	20.6	23.8	17.5	9.5	12.7	6.3	4.8	3.2
	唐子	169	20.1	43.2	12.4	17.8	10.7	10.1	10.1	4.7	4.1	4.7
	高坂	189	18.0	43.4	14.3	13.2	13.2	10.6	12.7	7.4	7.4	4.2
	高坂丘陵	137	20.4	38.7	15.3	17.5	10.2	8.0	14.6	10.9	8.8	6.6
	野本	253	22.5	43.9	14.2	12.3	10.7	11.9	5.9	5.5	4.7	4.3
性別	男性	733	18.4	44.5	11.2	18.0	13.4	4.6	12.4	12.3	6.1	5.5
	女性	791	19.2	42.6	18.7	11.4	11.3	16.9	8.0	2.3	5.3	4.4
認定別	認定なし+該当	1,469	19.4	43.4	15.2	14.6	12.3	10.2	9.9	6.9	5.8	4.8
	要支援1・2	55	3.6	45.5	10.9	12.7	10.9	32.7	16.4	10.9	3.6	9.1

		n	耳の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	外傷(転倒・骨折等)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	血液・免疫の病気	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	うつ病	その他	無回答
今回(10期)		1,524	4.9	4.1	3.1	2.8	1.5	0.7	0.6	0.5	6.5	3.2
前回(9期)		1,498	4.6	4.5	3.1	3.4	0.9	0.4	0.4	0.6	9.5	5.0
圏域別	松山	533	3.4	3.4	3.0	3.4	1.7	1.1	0.4	0.4	6.8	3.2
	平野	180	6.7	7.2	3.9	2.2	1.1	0.6	0.6	-	5.0	2.2
	大岡	63	9.5	1.6	9.5	-	-	1.6	-	1.6	11.1	4.8
	唐子	169	5.9	6.5	4.7	2.4	-	0.6	1.2	-	4.7	3.6
	高坂	189	4.8	3.7	1.6	2.6	2.1	0.5	1.1	-	6.9	3.2
	高坂丘陵	137	5.1	4.4	2.2	3.6	2.2	-	0.7	0.7	5.8	3.6
	野本	253	4.7	2.4	2.0	2.8	2.0	-	0.4	1.6	7.1	3.2
性別	男性	733	4.6	4.5	2.2	4.0	1.5	1.0	0.4	0.5	5.9	3.1
	女性	791	5.1	3.7	4.0	1.8	1.5	0.4	0.8	0.5	7.1	3.3
認定別	認定なし+該当	1,469	4.7	4.1	2.8	2.9	1.4	0.7	0.4	0.5	6.3	3.1
	要支援1・2	55	9.1	3.6	12.7	1.8	3.6	-	5.5	-	12.7	7.3

(11) 市の情報の収集先

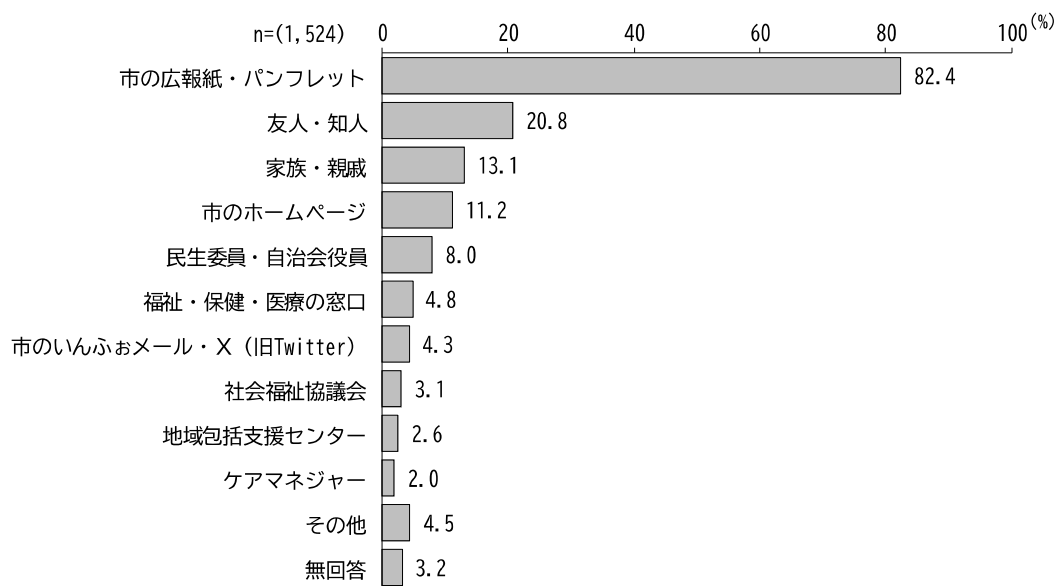
問8 (11) あなたは、高齢者に関する市の情報をどこから収集していますか。
(〇はいくつでも)

高齢者に関する市の情報の収集先は、「市の広報紙・パンフレット」が82.4%で最も多く、次いで「友人・知人」が20.8%、「家族・親戚」が13.1%となっている。

前回調査と比較すると、「家族・親戚」が5.9ポイント低くなっている。

性別にみると、「友人・知人」では女性が全体より高くなっている。

図表1-8-19 市の情報の収集先（複数回答） 全体



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

図表1-8-20 市の情報の収集先（複数回答） 前回比較／圏域別／性別／認定状況別

		n	市の広報紙・パンフレット	友人・知人	家族・親戚	市のホームページ	民生委員・自治会役員	福祉・保健・医療の窓口	市のいんふおメール・X(旧Twitter)	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ケアマネジャー
今回(10期)		1,524	82.4	20.8	13.1	11.2	8.0	4.8	4.3	3.1	2.6	2.0
前回(9期)		1,498	81.4	22.2	19.0	11.5	5.8	3.9	3.1	2.1	1.4	1.5
圏域別	松山	533	83.7	18.4	12.9	12.9	8.3	4.9	4.3	2.8	3.4	2.4
	平野	180	78.3	21.1	12.2	11.1	7.8	4.4	3.3	1.7	1.7	3.9
	大岡	63	85.7	34.9	17.5	6.3	6.3	4.8	-	3.2	4.8	-
	唐子	169	78.7	25.4	16.0	8.3	6.5	4.1	3.0	5.3	4.7	0.6
	高坂	189	81.5	22.8	11.1	10.6	10.1	4.2	5.3	1.1	1.1	2.1
	高坂丘陵	137	86.1	18.2	12.4	9.5	7.3	5.1	4.4	7.3	0.7	0.7
	野本	253	83.0	19.0	12.6	11.9	7.9	5.5	5.9	2.4	2.0	1.6
性別	男性	733	81.4	14.5	16.4	14.2	8.0	4.9	5.3	3.5	2.9	1.1
	女性	791	83.3	26.7	10.0	8.3	8.0	4.7	3.3	2.7	2.4	2.8
認定別	認定なし+該当	1,469	83.1	20.8	12.7	11.1	8.0	4.7	4.3	2.9	2.2	1.4
	要支援1・2	55	63.6	21.8	23.6	12.7	7.3	7.3	3.6	9.1	14.5	18.2

		n	その他	無回答
今回(10期)		1,524	4.5	3.2
前回(9期)		1,498	3.7	5.6
圏域別	松山	533	4.3	2.8
	平野	180	3.3	4.4
	大岡	63	3.2	3.2
	唐子	169	5.9	4.7
	高坂	189	7.9	2.6
	高坂丘陵	137	3.6	1.5
	野本	253	2.8	3.6
性別	男性	733	5.0	2.9
	女性	791	3.9	3.5
認定別	認定なし+該当	1,469	4.4	3.2
	要支援1・2	55	5.5	3.6

9. 認知症に関することについて

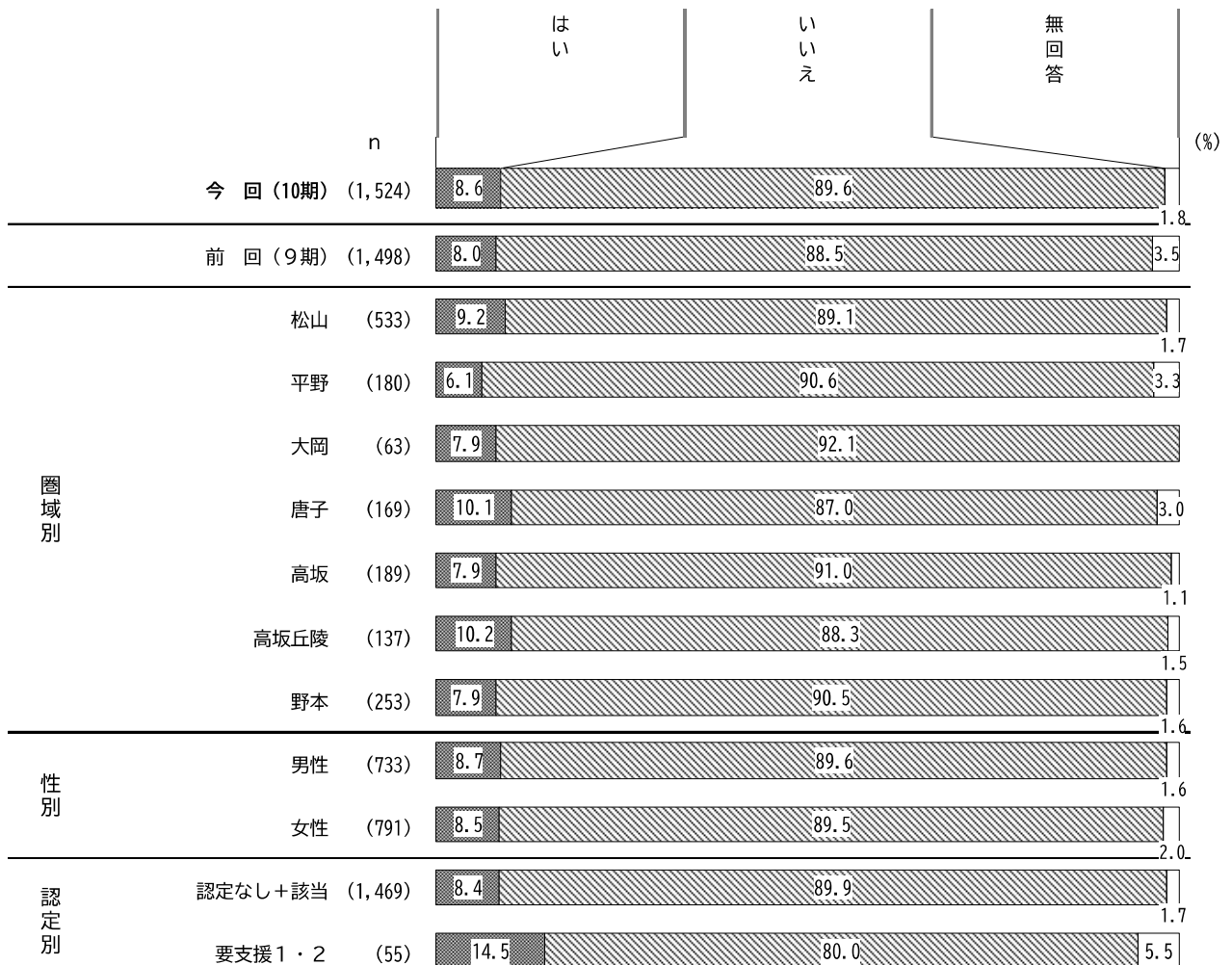
(1) 本人または家族の認知症の症状の有無

問9 (1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。
(○は1つ)

認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」が8.6%、「いいえ」が89.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-9-1 本人または家族の認知症の症状の有無 全体／前回比較／圏域別／性別／認定状況別

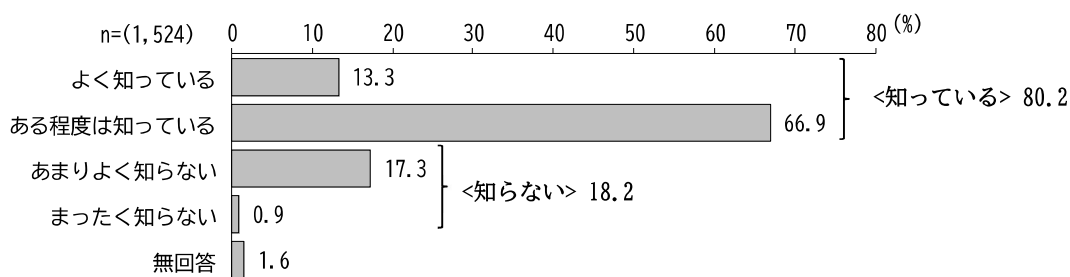


(2) 認知症の認知状況

問9 (2) あなたは、認知症のことを知っていますか。(○は1つ)

認知症のことを知っているかについては、「ある程度は知っている」が66.9%で最も多く、「よく知っている」13.3%と合わせると合計80.2%となっている。また「あまりよく知らない」17.3%と「まったく知らない」0.9%の合計は18.2%となっている。

図表1-9-2 認知症の認知状況 全体



図表1-9-3 認知症の認知状況 圏域別/性別/認定状況別

		n	よく知っている	ある程度は知っている	あまりよく知らない	まったく知らない	無回答
今回 (10期)		1,524	13.3	66.9	17.3	0.9	1.6
圏域別	松山	533	12.9	66.6	18.2	1.1	1.1
	平野	180	13.3	70.6	13.3	0.6	2.2
	大岡	63	12.7	73.0	14.3	-	-
	唐子	169	13.6	63.3	19.5	-	3.6
	高坂	189	14.8	68.8	13.8	1.1	1.6
	高坂丘陵	137	14.6	68.6	14.6	1.5	0.7
	野本	253	12.3	63.2	21.7	1.2	1.6
性別	男性	733	13.1	64.8	19.4	1.1	1.6
	女性	791	13.5	68.8	15.4	0.8	1.5
認定別	認定なし+該当	1,469	12.9	66.8	17.7	0.9	1.6
	要支援1・2	55	23.6	67.3	7.3	1.8	-

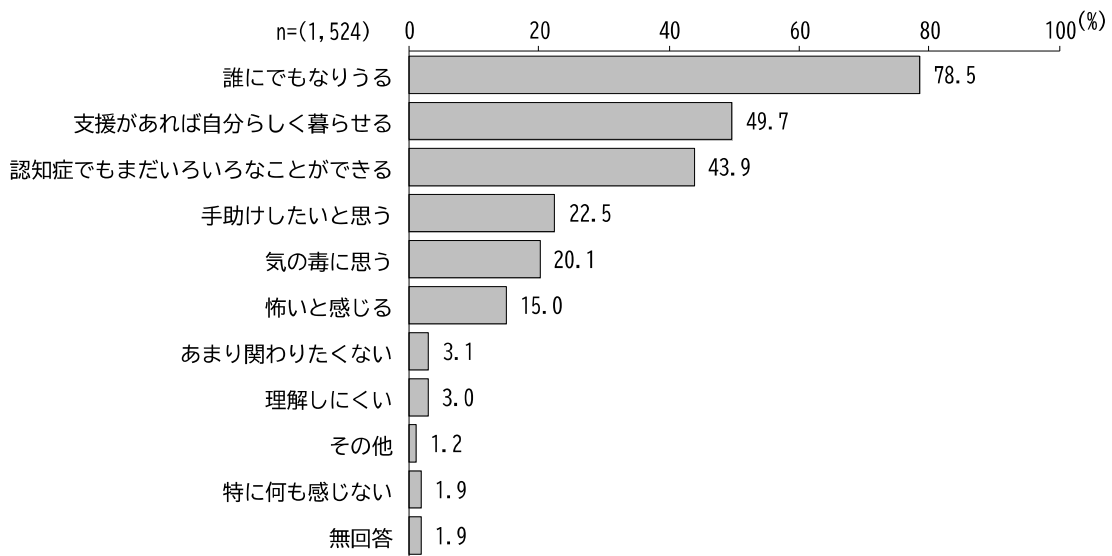
(3) 認知症の人に対する印象

問9 (3) 認知症の人に対して、あなたはどのような印象を持っていますか。
(○はいくつでも)

認知症の人に対する印象は、「誰にでもなりうる」が78.5%で最も多く、次いで「支援があれば自分らしく暮らせる」が49.7%、「認知症でもまだいろいろなことができる」が43.9%となっている。

性別にみると、「支援があれば自分らしく暮らせる」・「認知症でもまだいろいろなことができる」では女性が全体より高くなっている。

図表1-9-4 認知症の人に対する印象（複数回答） 全体



図表1-9-5 認知症の人に対する印象（複数回答） 圏域別／性別／認定状況別

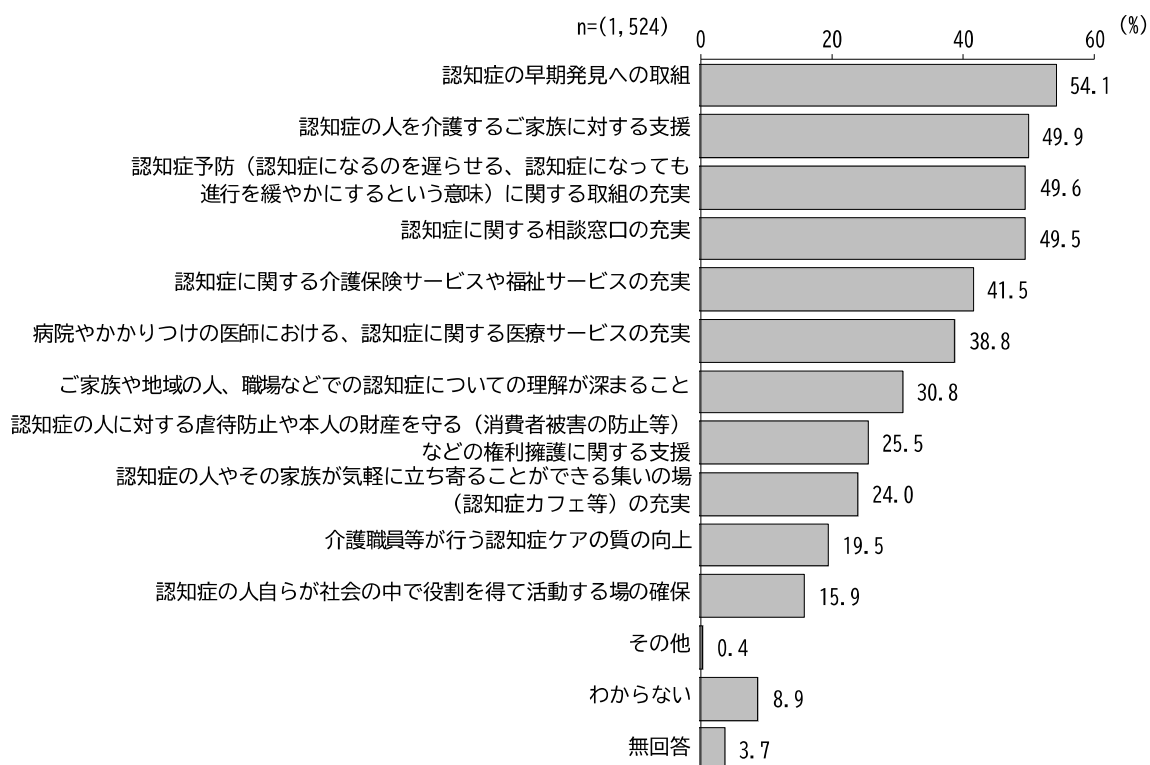
	n	印象 (%)											
		誰にでもなりうる	支援があれば自分らしく暮らせる	認知症でもまだいろいろなことができる	手助けしたいと思う	気の毒に思う	怖いと感じる	あまり関わりたくない	理解しにくい	その他	特に何も感じない	無回答	
今回 (10期)	1,524	78.5	49.7	43.9	22.5	20.1	15.0	3.1	3.0	1.2	1.9	1.9	
圏域別	松山	533	76.5	49.5	44.1	22.5	18.4	15.2	2.6	2.8	1.7	2.4	1.7
	平野	180	77.8	51.1	47.2	20.6	23.3	16.7	4.4	1.7	0.6	1.7	1.7
	大岡	63	77.8	44.4	44.4	27.0	22.2	25.4	6.3	6.3	-	4.8	1.6
	唐子	169	78.1	46.7	38.5	17.2	18.9	14.8	3.0	2.4	1.2	3.0	3.6
	高坂	189	83.6	43.4	38.1	19.6	20.1	14.3	2.1	4.2	1.6	1.6	1.1
	高坂丘陵	137	79.6	59.1	49.6	25.5	25.5	16.1	2.2	2.2	-	0.7	2.9
	野本	253	79.1	51.8	45.8	26.9	19.0	11.1	4.0	3.6	1.6	0.4	1.6
性別	男性	733	76.4	40.9	35.2	17.5	24.6	14.5	4.8	3.7	1.1	2.9	1.8
	女性	791	80.4	57.8	52.0	27.2	16.1	15.5	1.6	2.4	1.4	1.0	2.0
認定別	認定なし+該当	1,469	78.9	49.6	44.0	23.0	19.9	15.0	3.2	2.9	1.2	2.0	1.8
	要支援1・2	55	67.3	50.9	41.8	9.1	27.3	16.4	1.8	5.5	1.8	-	3.6

(4) 認知症の方に必要な支援

問9 (4) 認知症の方に必要な支援はどのようなものがあると思いますか。
(○はいくつでも)

認知症の方に必要な支援は、「認知症の早期発見への取組」が54.1%で最も多く、次いで「認知症の人を介護するご家族に対する支援」が49.9%、「認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味）に関する取組の充実」が49.6%となっている。

図表1-9-6 認知症の方に必要な支援（複数回答） 全体



図表1-9-7 認知症の方に必要な支援（複数回答） 圏域別／性別／認定状況別

		n	認知症の早期発見への取組	認知症の人を介護するご家族に対する支援	認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味）に関する取組の充実	認知症に関する相談窓口の充実	認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実	病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実	ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること	認知症の人に対する虐待防止や本人の財産を守る（消費者被害の防止等）などの権利擁護に関する支援	認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場（認知症カフェ等）の充実	介護職員等が行う認知症ケアの向上
今回（10期）		1,524	54.1	49.9	49.6	49.5	41.5	38.8	30.8	25.5	24.0	19.5
圏域別	松山	533	55.7	47.5	49.9	50.7	42.0	33.8	31.3	23.6	24.4	19.1
	平野	180	53.9	52.2	55.6	50.6	47.2	40.6	34.4	25.6	25.6	17.2
	大岡	63	60.3	54.0	46.0	54.0	38.1	46.0	28.6	30.2	31.7	22.2
	唐子	169	51.5	50.3	45.0	50.3	42.6	37.3	29.0	26.0	26.0	17.2
	高坂	189	52.4	49.2	47.6	46.0	41.3	44.4	28.6	27.0	19.0	17.5
	高坂丘陵	137	56.2	51.8	51.8	48.9	47.4	41.6	36.5	34.3	27.0	32.1
	野本	253	51.0	51.8	49.0	47.8	33.6	41.5	27.3	21.7	20.6	17.4
性別	男性	733	54.2	45.3	44.5	49.1	38.9	39.3	29.5	24.3	19.4	18.7
	女性	791	54.0	54.2	54.4	49.9	44.0	38.3	32.0	26.5	28.2	20.2
認定別	認定なし+該当	1,469	54.3	50.2	49.7	49.6	41.7	39.1	30.8	25.3	24.2	19.6
	要支援1・2	55	47.3	43.6	47.3	49.1	38.2	30.9	29.1	29.1	18.2	16.4

		n	認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保	その他	わからない	無回答
今回（10期）		1,524	15.9	0.4	8.9	3.7
圏域別	松山	533	15.0	0.2	9.6	3.2
	平野	180	18.3	0.6	5.0	3.9
	大岡	63	14.3	-	7.9	1.6
	唐子	169	13.6	0.6	10.7	5.9
	高坂	189	12.7	0.5	10.1	4.2
	高坂丘陵	137	24.8	0.7	6.6	2.2
	野本	253	15.4	0.4	9.9	4.3
性別	男性	733	15.3	0.7	10.5	2.9
	女性	791	16.4	0.1	7.5	4.6
認定別	認定なし+該当	1,469	16.1	0.4	8.8	3.7
	要支援1・2	55	10.9	-	12.7	3.6

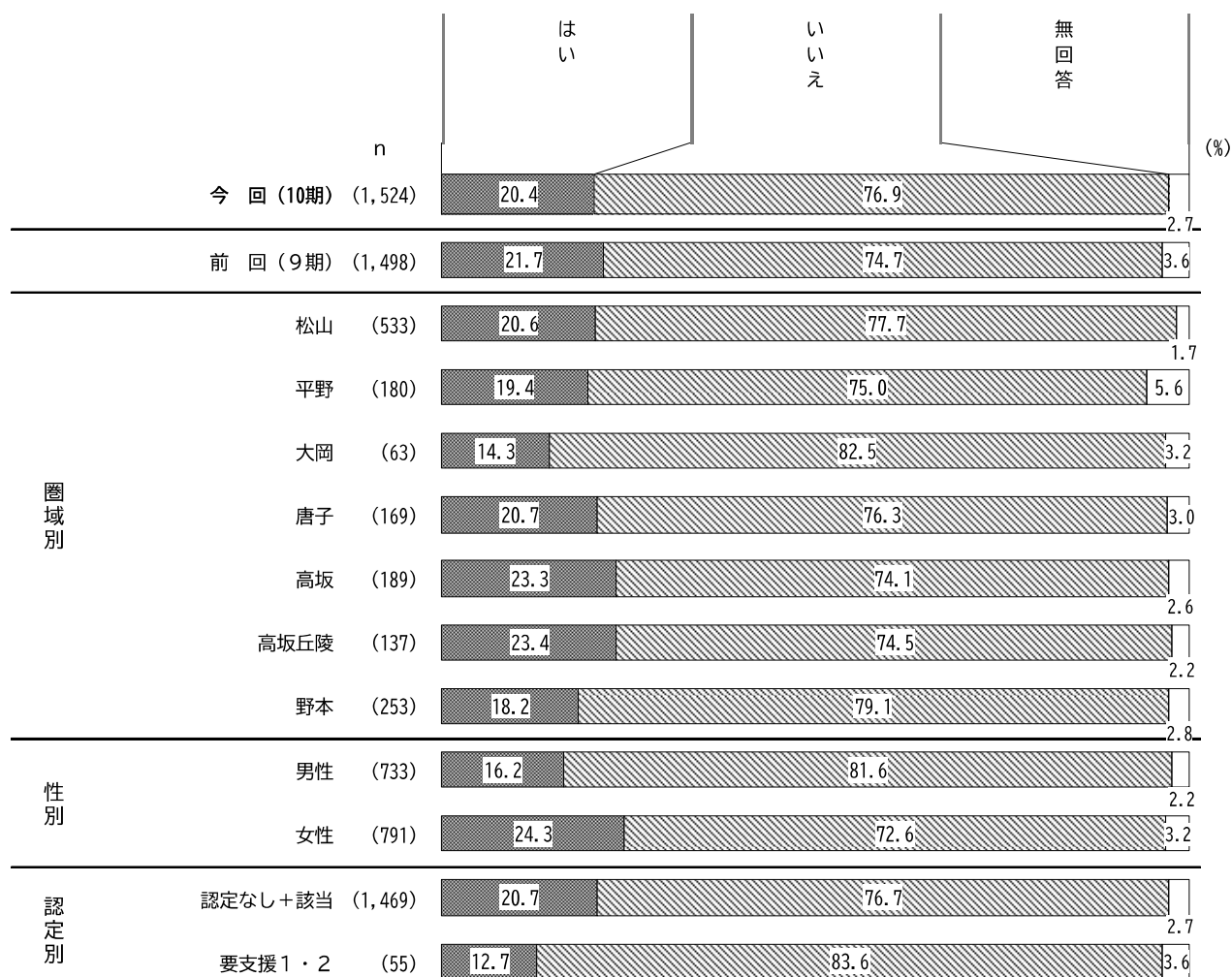
(5) 認知症相談窓口の認知度

問9 (5) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が20.4%、「いいえ」が76.9%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-9-8 認知症相談窓口の認知度 全体/前回比較/圏域別/性別/認定状況別



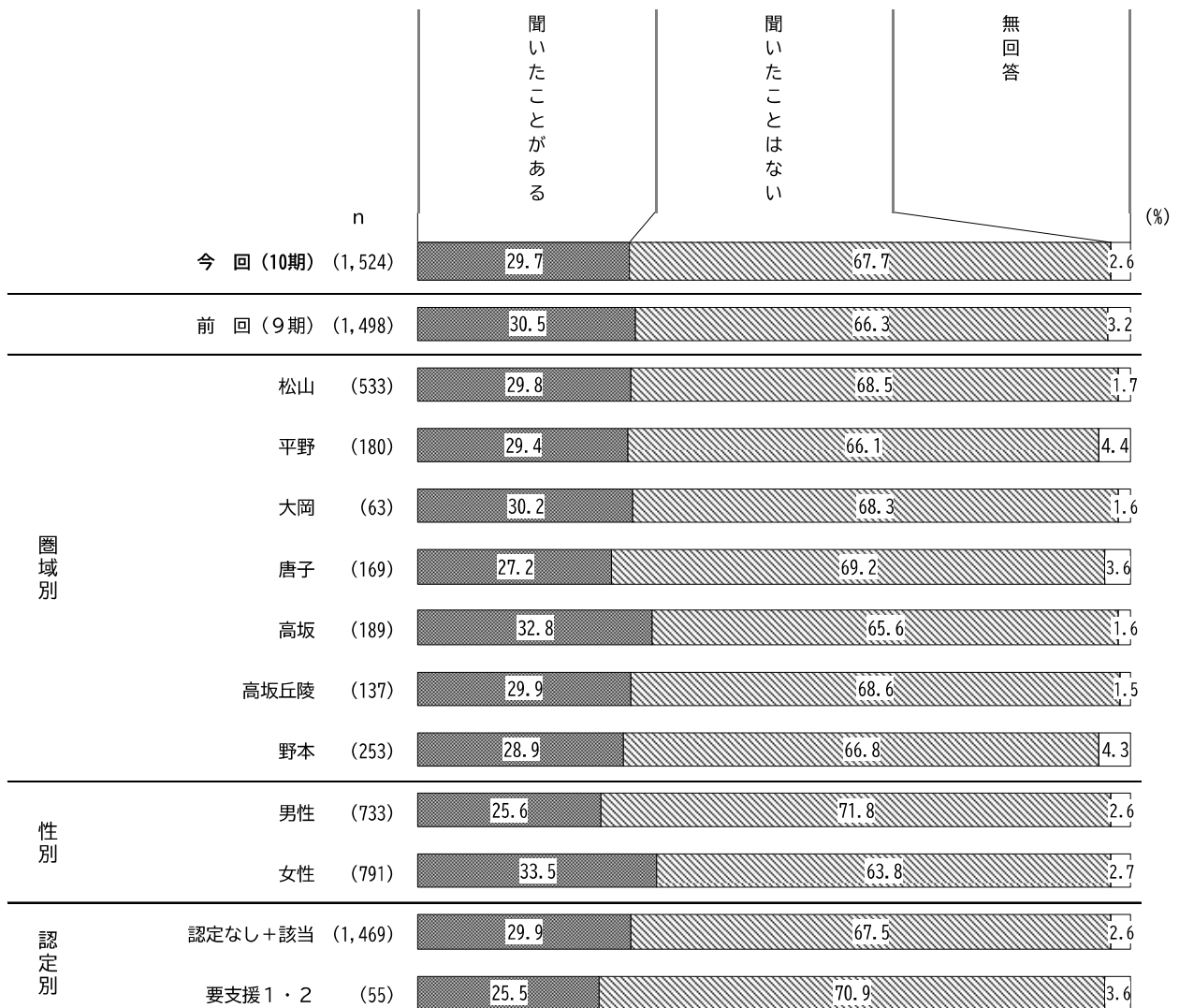
(6) 「認知症サポーター」の認知度

問9 (6) 「認知症サポーター」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

「認知症サポーター」という言葉を聞いたことがあるかについては、「聞いたことがある」が29.7%、「いいえ」が67.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-9-9 「認知症サポーター」の認知度 全体/前回比較/圏域別/性別/認定状況別



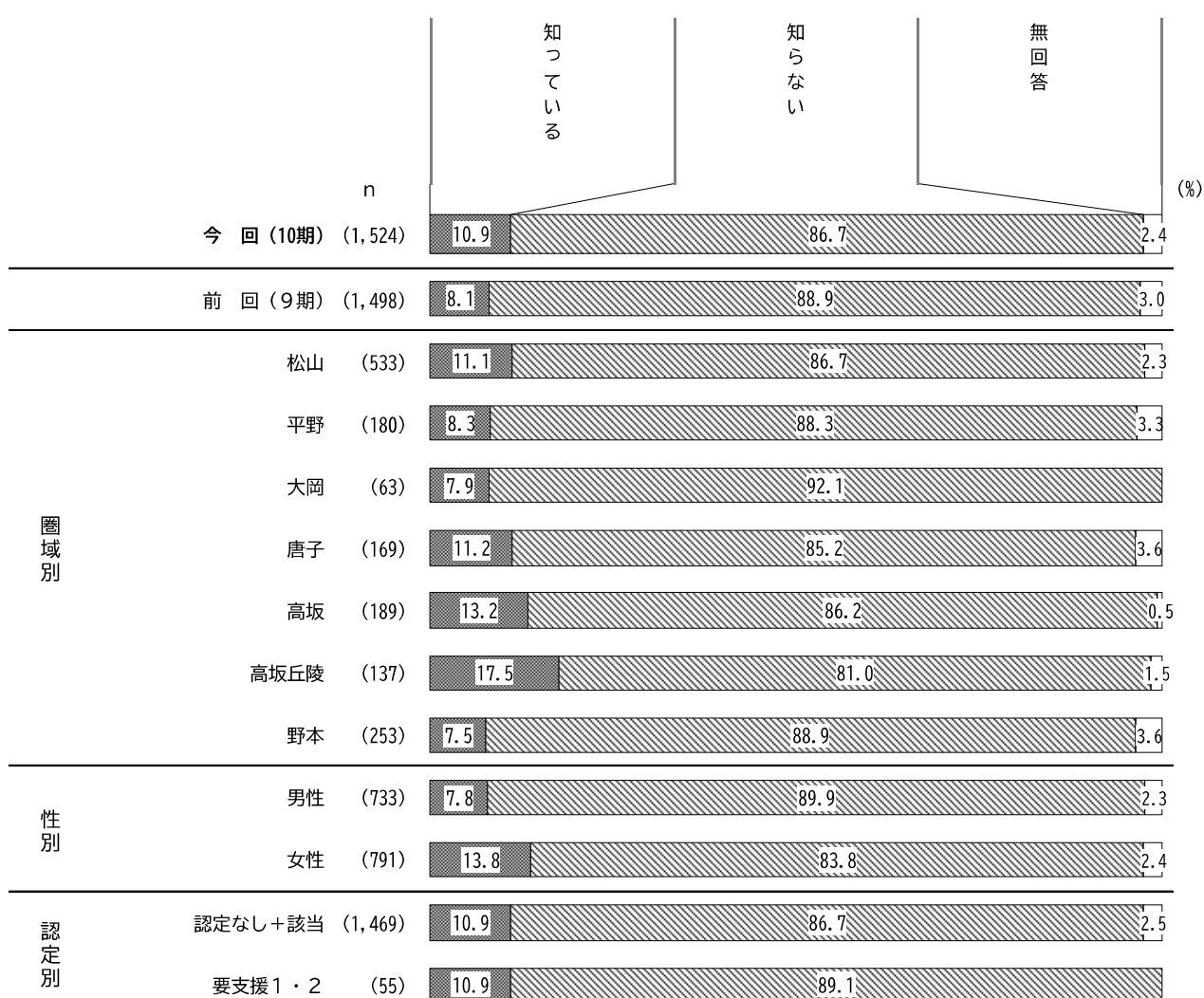
(7) オレンジカフェ（認知症カフェ）の認知度

問9 (7) オレンジカフェ（認知症カフェ）を知っていますか。(○は1つ)

オレンジカフェ（認知症カフェ）を知っていますかについては、「知っている」が10.9%、「知らない」が86.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-9-10 オレンジカフェ（認知症カフェ）の認知度
全体／前回比較／圏域別／性別／認定状況別



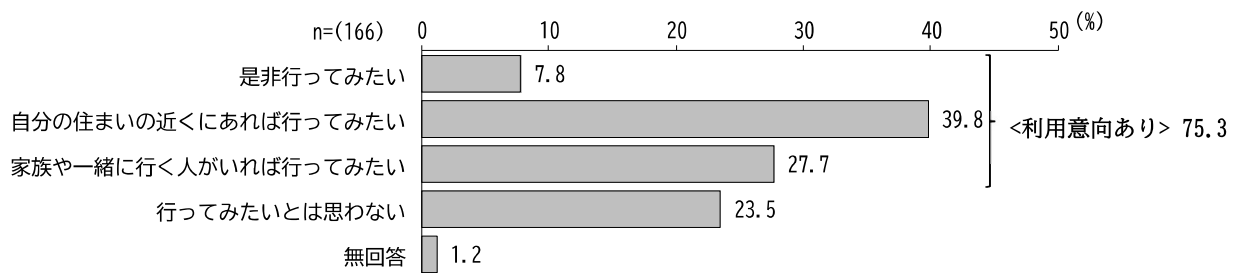
(8) オレンジカフェの訪問意向

【問9 (7) で「1」を選んだ方におうかがいします。】
 問9 (7) -① オレンジカフェに行ってみたいと思いますか。(○は1つ)

オレンジカフェを知っている人のオレンジカフェ訪問意向は「是非行ってみたい」7.8%と「自分の住まいの近くにあれば行ってみたい」39.8%と「家族や一緒に行く人がいれば行ってみたい」27.7%の合計で75.3%となっている。

性別にみると、「行ってみたいと思わない」では男性が全体より高くなっている。

図表1-9-11 オレンジカフェの訪問意向 全体



図表1-9-12 オレンジカフェの利用意向 前回比較※/圏域別/性別/認定状況別 (%)

		n	是非行 てみたい	自分の住 まいの近 くに あれば行 てみたい	家族や一 緒に行 く人が いれば行 てみたい	行 てみた いと思 わな い	無 回 答
今 回 (10期)		166	7.8	39.8	27.7	23.5	1.2
前 回 (9期)		121	2.5	43.8	18.2	33.1	2.5
圏 域 別	松山	59	3.4	47.5	25.4	23.7	-
	平野	15	13.3	40.0	33.3	13.3	-
	大岡	5	-	-	-	80.0	20.0
	唐子	19	-	26.3	31.6	42.1	-
	高坂	25	12.0	36.0	24.0	24.0	4.0
	高坂丘陵	24	12.5	45.8	33.3	8.3	-
	野本	19	15.8	36.8	31.6	15.8	-
性 別	男性	57	8.8	31.6	26.3	31.6	1.8
	女性	109	7.3	44.0	28.4	19.3	0.9
認 定 別	認定なし+該当	160	8.1	39.4	26.9	24.4	1.3
	要支援1・2	6	-	50.0	50.0	-	-

※前回 (9期) では、選択肢「行って」を「利用して」としていたため、前回比較は参考として掲載

10. 今後の介護・高齢者福祉施策について

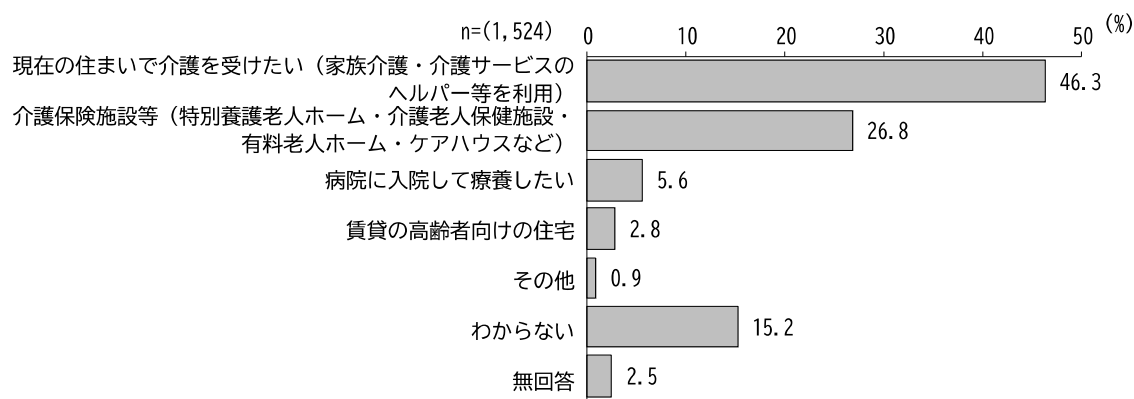
(1) あなたに介護が必要となった場合、介護を受けたい場所

問10 (1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。
(○は1つ)

ご自身の介護が必要となった場合、介護を受けたい場所は、「現在の住まいで介護を受けたい(家族介護・介護サービスのヘルパー等を利用)」が46.3%で最も多く、次いで「介護保険施設等(特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホーム・ケアハウスなど)」が26.8%、「病院に入院して療養したい」が5.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-10-1 あなたに介護が必要となった場合、介護を受けたい場所 全体



図表 1-10-2 あなたに介護が必要となった場合、介護を受けたい場所
前回比較／圏域別／認定状況別

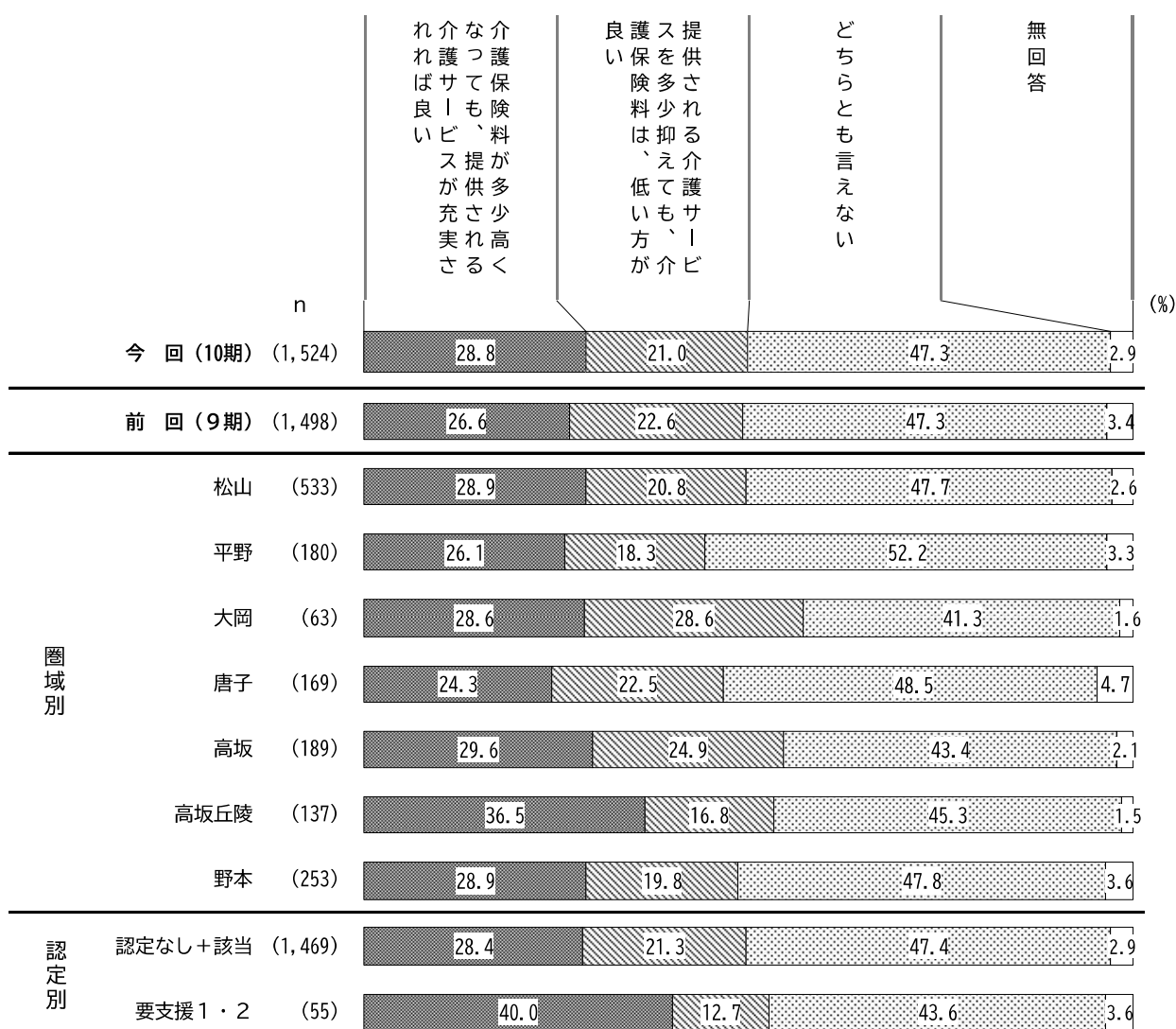
		n	現在の住まいで介護を受けたい (家族介護・介護サービスのヘルパー等を利用)	介護保険施設等(特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・有料老人ホーム・ケアハウスなど)	病院に入院して療養したい	賃貸の高齢者向けの住宅	その他	わからない	無回答
			(%)						
今回(10期)		1,524	46.3	26.8	5.6	2.8	0.9	15.2	2.5
前回(9期)		1,498	44.9	22.0	7.3	1.7	1.0	19.5	3.6
圏域別	松山	533	43.2	28.0	6.4	3.2	1.3	16.1	1.9
	平野	180	52.2	24.4	4.4	1.1	1.1	13.3	3.3
	大岡	63	47.6	34.9	3.2	3.2	-	9.5	1.6
	唐子	169	50.9	18.9	3.0	4.1	-	19.5	3.6
	高坂	189	43.9	28.0	7.4	4.8	1.1	13.2	1.6
	高坂丘陵	137	48.9	30.7	3.6	1.5	0.7	13.1	1.5
	野本	253	45.5	26.1	6.7	1.6	0.8	15.4	4.0
認定別	認定なし+該当	1,469	46.2	26.5	5.7	2.9	1.0	15.4	2.4
	要支援1・2	55	47.3	34.5	3.6	-	-	9.1	5.5

(2) 介護保険料と介護サービスのあり方

問10 (2) 介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護保険料と介護サービスのあり方は、「介護保険料が多少高くなっても、提供される介護サービスが充実できれば良い」が28.8%、「提供される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」が21.0%、「どちらともいえない」が47.3%となっている。

図表1-10-3 介護保険料と介護サービスのあり方 全体/前回比較*/圏域別/認定状況別



※前回(9期)においては、「供給される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」を「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方が良い」としていたため、前回比較は参考として掲載

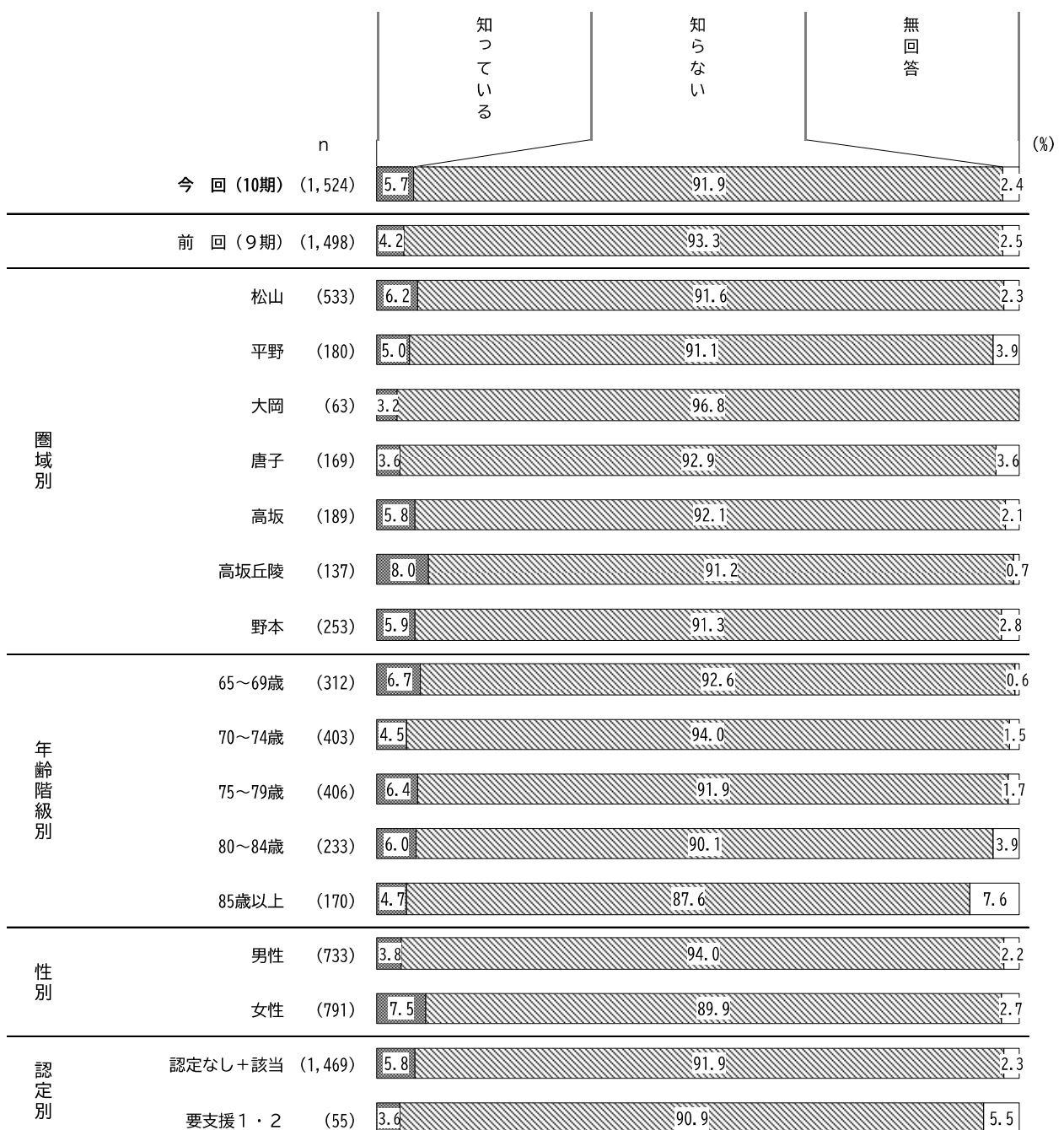
(3) ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）の認知状況

問10 (3) ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）を知っていますか。
 (○は1つ)

ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）については、「知っている」が5.7%、「知らない」が91.9%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-10-4 ACPの認知度 全体／前回比較／圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別



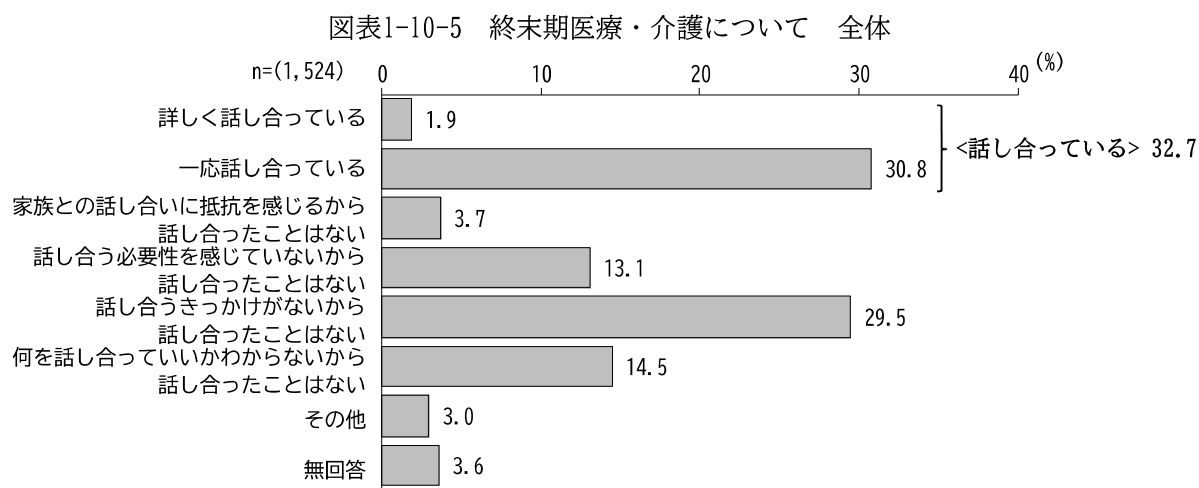
(4) 終末期医療・介護について

問10(4) あなたは人生の最終段階において、受たい医療・療養や受たくない医療・療養について、家族や医療関係者と話し合ったことがありますか。
(○は1つ)

終末期医療・介護について家族や医療関係者と話し合ったことについては、「一応話し合っている」が30.8%で最も多く、「詳しく話し合っている」1.9%との合計は32.7%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「一応話し合っている」の割合が増加傾向となっている。



図表1-10-6 終末期医療・介護について 前回比較／圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

		n	詳しく話し合っている	一応話し合っている	家族との話し合いに抵抗を感じるから話し合ったことはない	話し合う必要性を感じていないから話し合ったことはない	話し合うきっかけがないから話し合ったことはない	話し合っただけでいまいかがわからないから話し合ったことはない	その他	無回答
今回(10期)		1,524	1.9	30.8	3.7	13.1	29.5	14.5	3.0	3.6
前回(9期)		1,498	1.9	28.8	3.5	15.3	29.3	14.8	2.5	3.8
圏域別	松山	533	2.1	28.7	4.3	11.3	31.0	15.9	3.9	2.8
	平野	180	3.9	32.8	5.0	11.1	27.8	12.2	3.9	3.3
	大岡	63	1.6	30.2	6.3	22.2	20.6	15.9	1.6	1.6
	唐子	169	1.8	21.9	4.7	14.8	33.1	16.0	3.0	4.7
	高坂	189	-	31.7	1.6	14.8	30.2	14.8	3.7	3.2
	高坂丘陵	137	1.5	36.5	4.4	12.4	25.5	12.4	2.2	5.1
	野本	253	2.0	36.0	1.2	13.8	28.9	12.6	0.8	4.7
年齢階級別	65～69歳	312	1.3	26.3	1.9	16.0	34.3	15.4	3.2	1.6
	70～74歳	403	2.5	30.3	5.0	13.6	27.3	14.9	4.0	2.5
	75～79歳	406	2.5	31.0	3.7	12.8	30.5	13.8	3.0	2.7
	80～84歳	233	1.7	31.3	4.3	11.6	30.9	12.0	1.3	6.9
	85歳以上	170	0.6	38.8	2.9	8.8	21.2	17.1	2.9	7.6
性別	男性	733	2.5	25.8	4.5	16.9	28.9	16.0	2.5	3.0
	女性	791	1.4	35.4	2.9	9.5	30.0	13.1	3.5	4.2
認定別	認定なし+該当	1,469	1.9	30.6	3.5	13.5	29.6	14.2	3.0	3.7
	要支援1・2	55	1.8	34.5	7.3	1.8	25.5	23.6	3.6	1.8

(5) 最期を迎えたい場所

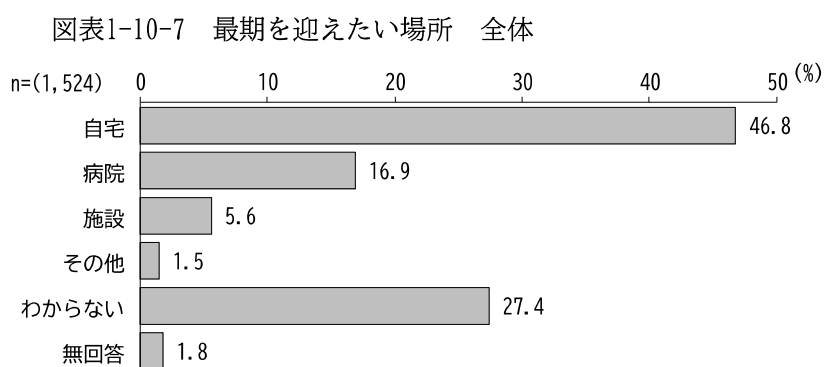
問10(5) あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(○は1つ)

ご自身が最期を迎えたい場所は、「自宅」が46.8%、「病院」が16.9%、「施設」が5.6%となっている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「自宅」の割合が増加傾向にあり、「わからない」の割合が減少傾向となっている。

性別にみると、「自宅」では男性が全体より高くなっている。



図表1-10-8 最期を迎えたい場所 前回比較／圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

			自宅	病院	施設	その他	わからない	無回答
		n						
今 回 (10期)		1,524	46.8	16.9	5.6	1.5	27.4	1.8
前 回 (9期)		1,498	46.7	18.4	3.9	1.6	27.4	2.1
圏域別	松山	533	46.9	14.6	6.4	1.3	29.1	1.7
	平野	180	43.3	18.3	5.0	0.6	30.0	2.8
	大岡	63	39.7	19.0	3.2	1.6	36.5	-
	唐子	169	50.9	14.2	3.0	0.6	29.6	1.8
	高坂	189	46.0	16.9	5.3	4.8	24.9	2.1
	高坂丘陵	137	47.4	24.8	5.8	1.5	19.7	0.7
	野本	253	48.2	17.8	6.7	0.8	24.1	2.4
年齢階級別	65～69歳	312	36.2	19.6	7.7	1.6	34.3	0.6
	70～74歳	403	45.9	16.1	4.7	1.5	30.3	1.5
	75～79歳	406	47.3	17.7	5.7	2.0	25.6	1.7
	80～84歳	233	51.1	14.2	6.4	1.3	23.6	3.4
	85歳以上	170	61.2	15.9	2.4	0.6	17.1	2.9
性別	男性	733	55.3	13.1	5.0	1.4	23.7	1.5
	女性	791	38.9	20.5	6.1	1.6	30.7	2.1
認定別	認定なし+該当	1,469	46.5	17.1	5.8	1.5	27.2	1.9
	要支援1・2	55	54.5	12.7	-	1.8	30.9	-

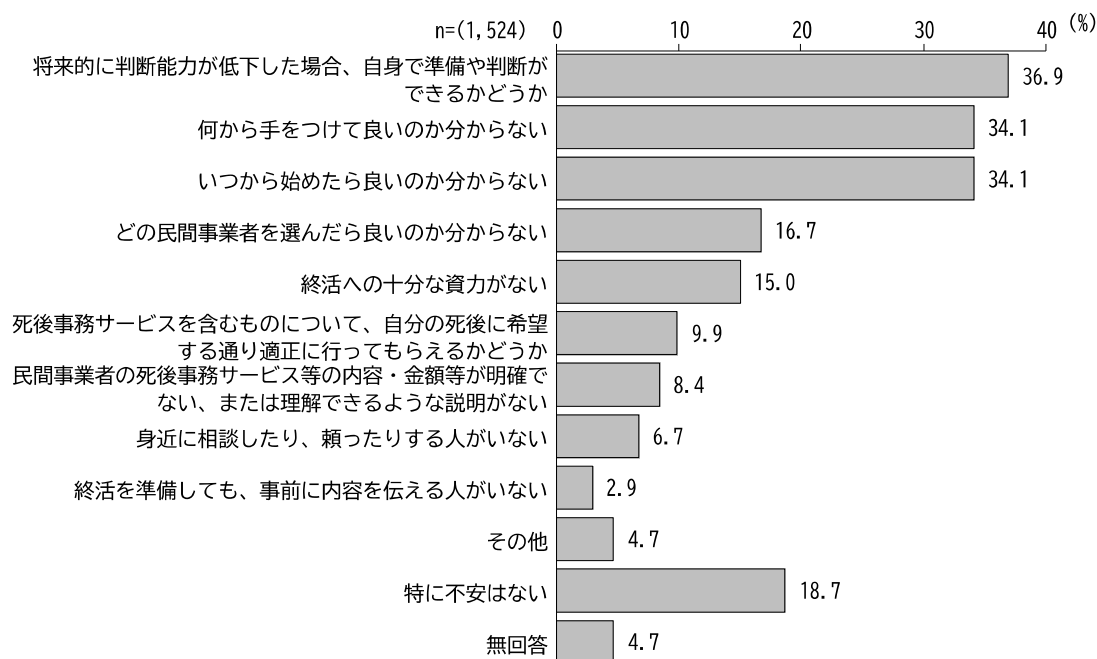
(6) 終活の準備にあたって不安に思うこと

問10 (6) 終活の準備にあたって、不安に思っていることを教えてください。
(○はいくつでも)

終活の準備にあたって不安に思うことは、「将来的に判断能力が低下した場合、自身で準備や判断ができるかどうか」が36.9%で最も多く、次いで「何から手をつけて良いのか分からない」・「いつから始めたら良いのか分からない」が34.1%、「どの民間事業者を選んだら良いのか分からない」が16.7%となっている。また「特に不安はない」は18.7%となっている。

年齢階級別にみると、年齢を重ねるにつれ、「いつから始めたら良いのか分からない」・「特に不安はない」の割合が減少傾向になっている。

図表1-10-9 終活の準備にあたって不安に思うこと（複数回答） 全体



図表1-10-10 終活の準備にあたって不安に思うこと（複数回答）

圏域別／年齢階級別／性別／認定状況別

		n	将来的に判断能力が低下した場合、自身で準備や判断ができるかどうか	い何から手をつけて良いのか分からない	いつから始めたら良いのか分からない	どの民間事業者を選んだら良いのか分からない	終活への十分な資力が無い	死後事務サービスを含むものについて、自分の死後に希望する通り適正に行ってもらえるかどうか	民間事業者の死後事務サービス等の内容・金額等が明確でない、または理解できるような説明がない	身近に相談したり、頼ったりする人がいない	終活を準備しても、事前に内容を伝える人がいない	その他	特に不安はない	無回答
今回（10期）		1,524	36.9	34.1	34.1	16.7	15.0	9.9	8.4	6.7	2.9	4.7	18.7	4.7
圏域別	松山	533	37.5	37.9	34.0	18.0	15.8	9.4	7.9	8.3	3.0	4.5	17.4	4.7
	平野	180	37.8	35.0	32.8	18.3	13.3	11.1	12.2	7.8	2.2	3.9	17.2	4.4
	大岡	63	46.0	36.5	46.0	20.6	19.0	7.9	11.1	9.5	3.2	4.8	19.0	3.2
	唐子	169	33.7	35.5	35.5	17.2	16.6	7.7	7.7	5.9	5.9	4.7	15.4	5.9
	高坂	189	29.6	25.4	33.9	12.7	10.1	9.5	3.7	4.8	2.6	5.8	22.8	5.3
	高坂丘陵	137	41.6	35.0	32.1	21.2	14.6	15.3	12.4	5.1	1.5	3.6	20.4	2.2
	野本	253	37.5	30.0	32.4	11.9	16.6	9.5	7.9	4.7	2.0	5.1	20.6	5.5
年齢階級別	65～69歳	312	38.5	33.3	38.8	14.1	12.5	8.3	6.7	7.1	3.8	4.2	15.7	3.5
	70～74歳	403	38.0	36.7	38.2	17.9	18.4	9.7	8.7	6.9	2.5	4.0	16.9	2.5
	75～79歳	406	37.7	32.8	32.5	17.7	17.0	10.6	9.9	6.7	3.2	6.2	18.2	5.2
	80～84歳	233	39.5	31.8	32.6	16.7	12.4	12.0	9.9	6.0	2.1	3.9	21.0	4.7
	85歳以上	170	25.9	35.9	21.2	15.9	10.6	8.8	5.3	6.5	2.4	4.7	26.5	11.2
性別	男性	733	34.8	36.0	38.3	17.2	16.4	11.1	10.1	9.1	3.8	3.5	18.6	3.1
	女性	791	38.8	32.4	30.1	16.2	13.8	8.8	6.8	4.4	2.0	5.7	18.8	6.2
認定別	認定なし+該当	1,469	36.7	33.8	34.6	16.5	15.2	9.9	8.4	6.5	2.9	4.6	18.7	4.6
	要支援1・2	55	41.8	41.8	20.0	20.0	9.1	9.1	9.1	12.7	1.8	7.3	18.2	7.3

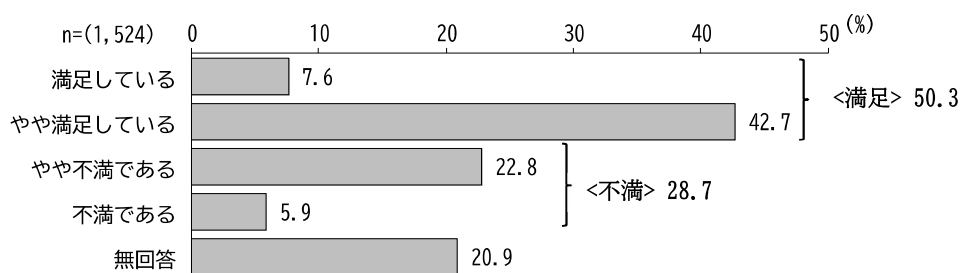
(7) 東松山市の高齢者施策や介護保険事業への満足度

問10(7) 本市では「いつまでも 自分らしく 安心して暮らせるまち」を目指していますが、本市の高齢者施策や介護保険事業に満足していますか。(○は1つ)

東松山市の高齢者施策や介護保険事業への満足度は、「満足している」7.6%と「やや満足している」42.7%の合計が50.3%で、「やや不満である」22.8%と「不満である」5.9%の合計28.7%を上回っている。

前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

図表1-10-11 東松山市の高齢者施策や介護保険事業への満足度 全体



図表1-10-12 東松山市の高齢者施策や介護保険事業への満足度 前回比較/圏域別/認定状況別 (%)

		n	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	無回答
今回 (10期)		1,524	7.6	42.7	22.8	5.9	20.9
前回 (9期)		1,498	8.3	41.2	22.2	7.3	21.1
圏域別	松山	533	8.1	44.3	22.7	5.6	19.3
	平野	180	7.8	40.6	25.6	7.8	18.3
	大岡	63	6.3	47.6	17.5	6.3	22.2
	唐子	169	6.5	38.5	25.4	8.3	21.3
	高坂	189	9.5	43.9	20.1	5.3	21.2
	高坂丘陵	137	2.9	33.6	28.5	5.1	29.9
	野本	253	8.7	46.6	19.8	4.3	20.6
認定別	認定なし+該当	1,469	7.3	42.6	22.8	6.0	21.3
	要支援1・2	55	16.4	45.5	23.6	3.6	10.9

11. 自由意見

その他、本市の介護・高齢者福祉施策に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

本市の介護・高齢者福祉施策についてたずねたところ、355人からの回答があった。その他・アンケートについてを除き回答の多かった内容は、「相談体制・情報提供」「介護保険料・利用料」「まちづくり・交通」の順であった。

図表1-11-1 自由意見の内容

回答者数=355件

相談体制・情報提供	介護保険料・利用料	まちづくり・交通	個人の不安・今後のこと等	市・行政への感謝	介護サービスの充実	施設・病院・設備充実	介護予防・社会参加	終活・ACP	医療・介護人材	その他	アンケートについて
52	39	37	30	28	26	20	20	18	8	46	44

※1人で複数の記載内容があるため、合計の件数と回答者数は一致しない。

1.2. 圏域別リスク分析結果

本調査では、要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、地域の抱える課題の分析や介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用するため、国が提示した調査項目を組み込んで実施した。

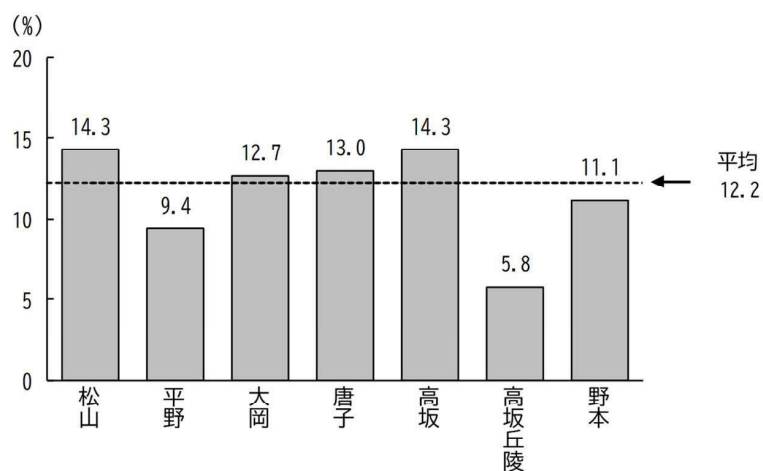
本項では、厚生労働省の『介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き』において、リスク把握の考え方を示された項目について、分析を行った。

(1) 運動器機能の低下している高齢者割合

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 問2 (1) | 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(「できない」) |
| 問2 (2) | 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(「できない」) |
| 問2 (3) | 15分位続けて歩いていますか。(「できない」) |
| 問2 (4) | 過去1年間に転んだ経験がありますか。(「何度もある」「1度ある」) |
| 問2 (5) | 転倒に対する不安は大きいですか。(「とても不安である」「やや不安である」) |

上記5つの設問のうち、機能低下に該当する選択肢（括弧内の選択肢）に回答している数が3問以上の場合に「運動器機能の低下あり」と判定した。

図表1-12-1 運動器機能の低下している高齢者割合

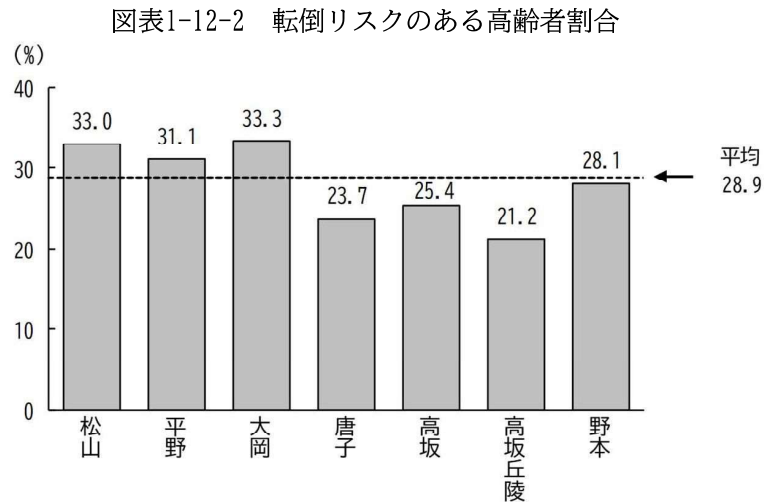


運動器機能の低下している高齢者割合の全体平均は12.2%で、圏域別で見ると、松山・高坂14.3%と最も高くなっている。

(2) 転倒リスクのある高齢者割合

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(「何度もある」「1度ある」)

過去1年間の転倒経験で、「何度もある」、「1度ある」と回答している場合、転倒リスクのある高齢者と判定した。

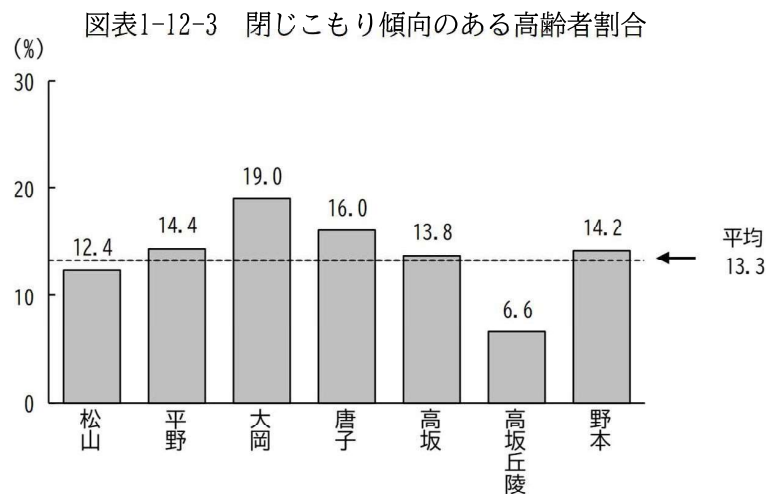


転倒リスクのある高齢者割合の全体平均は28.9%で、圏域別で見ると、大岡が33.3%と最も高く、次いで松山が33.0%となっている。

(3) 閉じこもり傾向のある高齢者割合

問2(6) 週に1回以上は外出していますか(「ほとんど外出しない」「週1回」)

一週間の外出状況で「ほとんど外出しない」または「週1回」と回答している場合に、閉じこもり傾向のある高齢者と判定した。

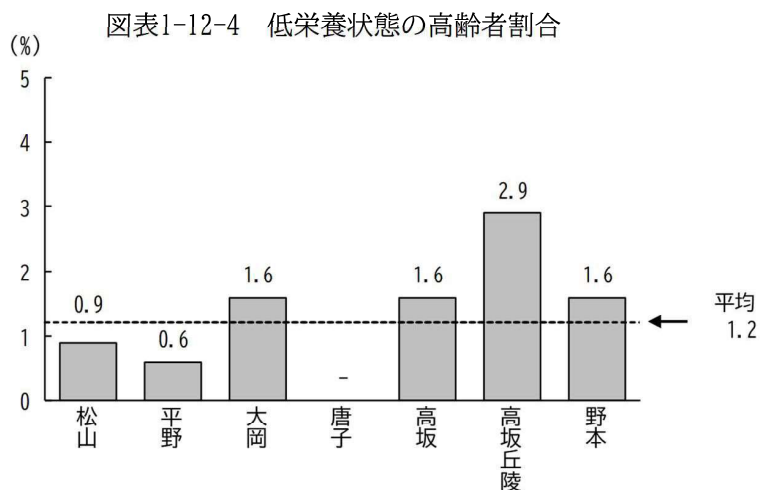


閉じこもり傾向のある高齢者割合の全体平均は13.3%で、圏域別で見ると、大岡が19.0%と最も高く、次いで唐子が16.0%となっている。

(4) 低栄養状態の高齢者割合

問3 (1) 身長・体重 (BMI (体重kg ÷ (身長m × 身長m)) 18.5未満)
(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (「はい」)

身長と体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}) が、18.5未満の場合に低栄養が疑われる高齢者となり、かつ、直近の6か月間に2～3kg以上の体重減少があった場合に「低栄養状態」と判定した。



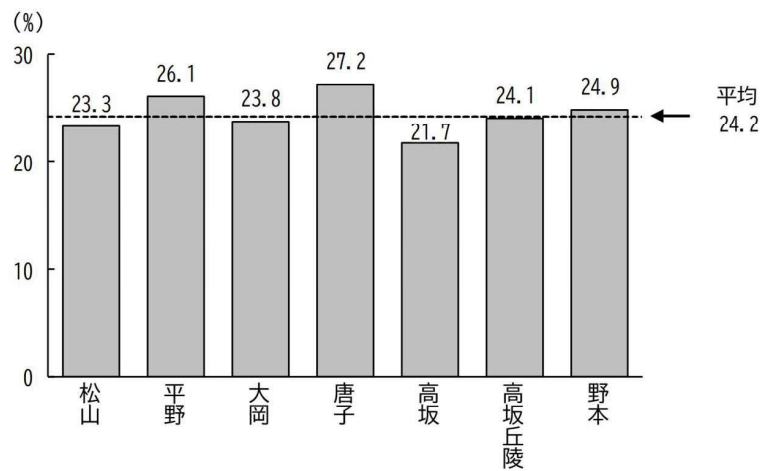
低栄養状態の高齢者割合の全体平均は1.2%で、圏域別で見ると、高坂丘陵が2.9%と最も高くなっている。

(5) 口腔機能の低下している高齢者割合

- 問3 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (「はい」)
 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか (「はい」)
 (4) 口の渇きが気になりますか (「はい」)

「Q お茶や汁物等でむせることがありますか」と「Q 口の渇きが気になりますか」を加えた3設問のうち2設問で「はい」と回答した場合に「口腔機能の低下あり」と判定した。

図表1-12-5 口腔機能の低下している高齢者割合



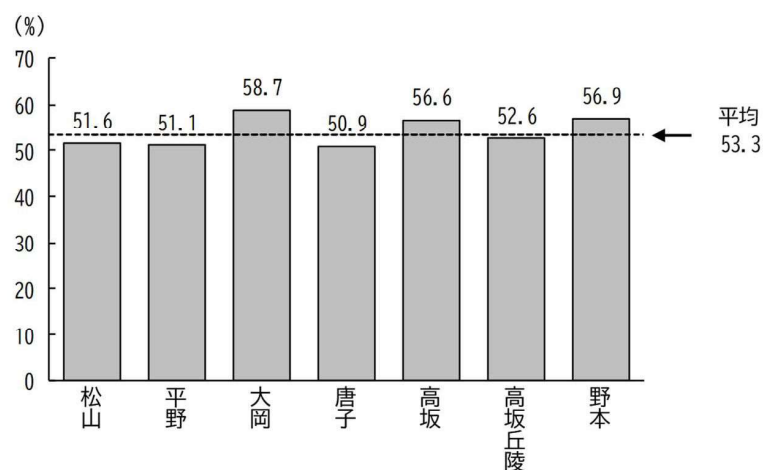
口腔機能の低下している高齢者割合の全体平均は24.2%で、圏域別で見ると、唐子が27.2%と最も高く、次いで平野が26.1%となっている。

(6) 認知機能の低下している高齢者割合

問4 (1) 物忘れが多いと感じますか (「はい」)

認知機能については、「はい」と回答している場合、「認知機能の低下あり」と判定した。

図表1-12-6 認知機能の低下している高齢者割合

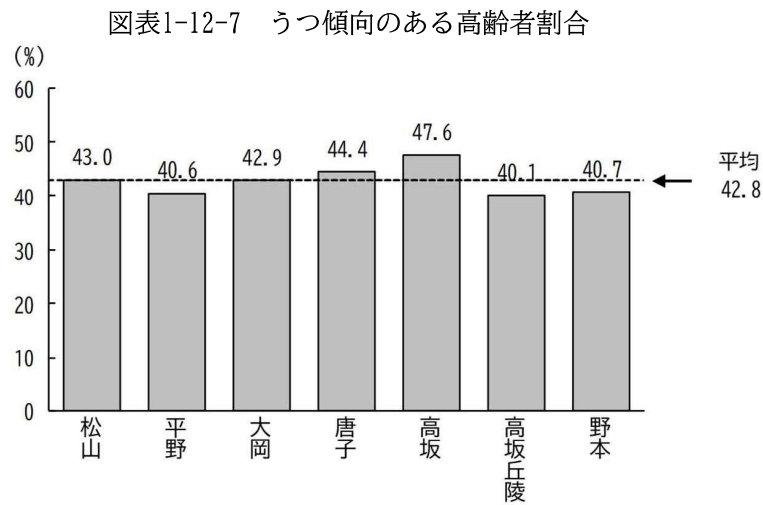


認知機能の低下している高齢者割合の全体平均は53.3%で、圏域別で見ると、大岡が58.7%と最も高く、次いで野本が56.9%となっている。

(7) うつ傾向のある高齢者割合

問8 (3) この1か月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがありましたか(「はい」)
 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(「はい」)

うつ傾向については、2つの設問でいずれか1つでも「はい」が回答された場合、「うつ傾向のある」と判定した。



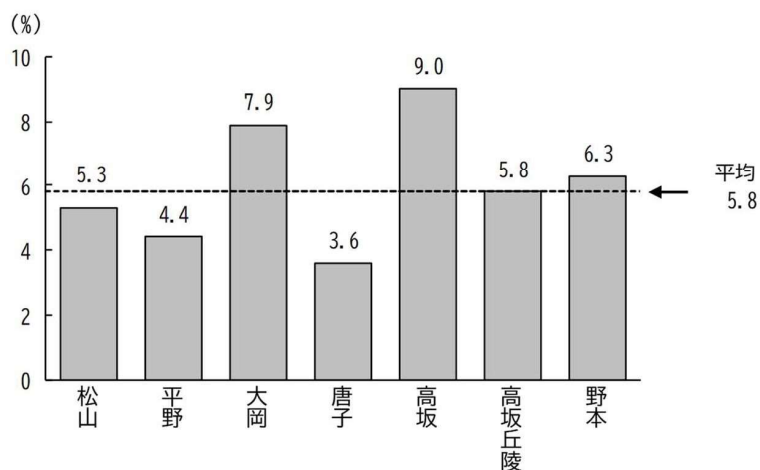
うつ傾向のある高齢者割合の全体平均は42.8%で、圏域別で見ると、高坂が47.6%と最も高く、次いで唐子が44.4%となっている。

(8) IADL (手段的日常生活動作) の低下している高齢者割合

- 問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか
(6) 自分で食事の用意をしていますか
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

各設問について、「できるし、している」か「できるけどしていない」を1点、「できない」を0点と点数化し、5つの設問の合計を判定する。判定の区分は5点が「高い」、4点が「やや低い」、0～3点が「低い」となり、「3点以下」は『IADLの低下している高齢者』と判定した。

図表1-12-8 IADL (手段的日常生活動作) の低下している高齢者割合



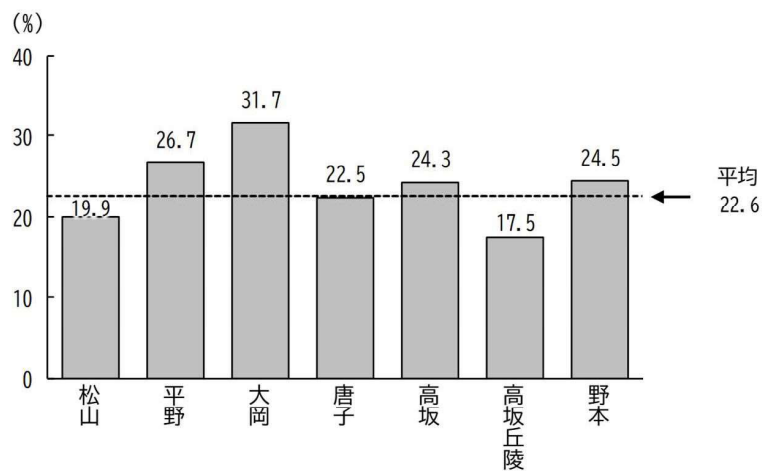
IADL (手段的日常生活動作) の低下している高齢者割合の全体平均は5.8%で、圏域別で見ると、高坂が9.0%と最も高く、次いで大岡が7.9%となっている。

(9) 知的能動性の低下している高齢者割合

- 問4 (9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（「はい」）
 (10) 新聞を読んでいますか。（「はい」）
 (11) 本や雑誌を読んでいますか。（「はい」）
 (12) 健康についての記事や番組に関心がありますか。（「はい」）

各設問について、「はい」を1点、「いいえ」を0点と点数化し、4つの設問の合計を判定する。判定の区分は4点が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」となり、「2点以下」は『社会参加・知的能動性の低下している高齢者』と判定した。

図表1-12-9 知的能動性の低下している高齢者割合



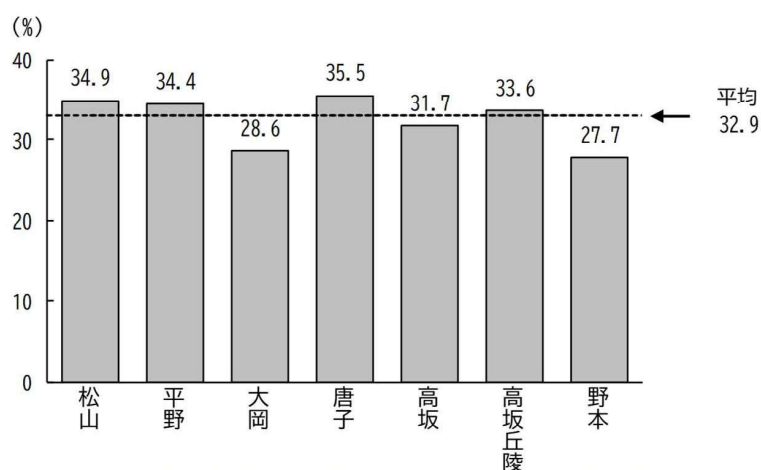
知的能動性の低下している高齢者割合の全体平均は22.6%で、圏域別でみると、大岡が31.7%と最も高く、次いで平野が26.7%となっている。

(10) 社会的役割の低下している高齢者割合

- 問4 (13) 友人の家を訪ねていますか。(「はい」)
(14) 家族や友人の相談にのっていますか。(「はい」)
(15) 病人を見舞うことができますか。(「はい」)
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか。(「はい」)

各設問について、「はい」を1点、「いいえ」を0点と点数化し、4つの設問の合計を判定する。判定の区分は4点が「高い」、3点が「やや低い」、0～2点が「低い」となり、「2点以下」は『社会的役割の低下している高齢者』と判定した。

図表1-12-10 社会的役割の低下している高齢者割合



社会的役割の低下している高齢者割合の全体平均は32.9%で、圏域別でみると、唐子が35.5%と最も高く、次いで松山が34.9%となっている。

(11) 圏域別にみたリスク項目別指標の比較

圏域別のリスク該当者割合を、市全体を100として標準化し、レーダーチャートにして図示した。

松山では、「運動器機能の低下」、「転倒リスク」、「うつ傾向」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

平野では、「転倒リスク」、「閉じこもり傾向」、「口腔機能の低下」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

大岡では、「口腔機能の低下」以外のリスク該当者が市全体より高くなっている。

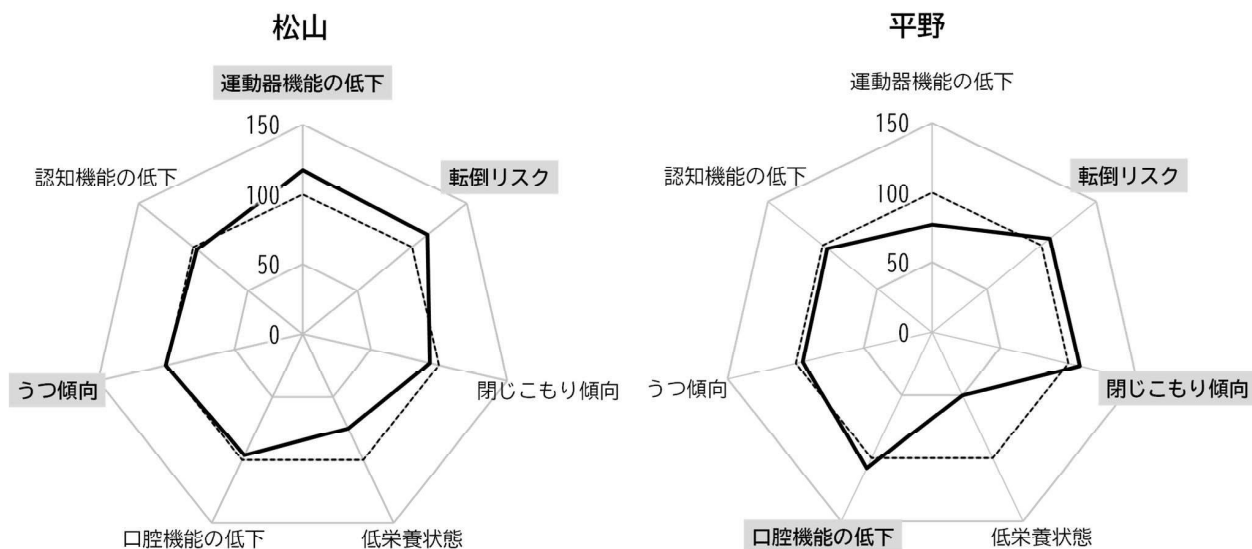
唐子では、「運動器機能の低下」、「閉じこもり傾向」、「口腔機能の低下」、「うつ傾向」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

高坂では、「運動器機能の低下」、「閉じこもり傾向」、「低栄養状態」、「転倒リスク」、「うつ傾向」、「認知機能の低下」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

高坂丘陵では、「低栄養状態」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

野本では、「閉じこもり傾向」、「低栄養状態」、「口腔機能の低下」、「認知機能の低下」のリスク該当者が市全体より高くなっている。

図表1-12-11 圏域別にみたリスク項目別指標の比較（市全体を100とした場合）



1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

